

MOT/Phone+



Android版

～新レイアウト～



ユーザマニュアル

第1.02版

2025/06/27

株式会社バルテック

- 注意事項..... [8](#)
- 用語集..... [9](#)

アプリのインストール

- アプリをインストールする..... [10](#)
- アプリを起動する..... [11](#)

<許可設定>

- ログ取得の許可について..... [17](#)
- 省電力モードから除外する許可について..... [18](#)
- MOT/Phone+アプリの通知の許可について..... [20](#)
- 電話・マイクへのアクセス許可について..... [21](#)
- Bluetooth機器利用の許可について..... [22](#)

アカウント設定

- アカウントの設定画面..... [23](#)

<アカウントの設定方法>

- 二次元コードを読み取り、アカウントの設定を行う..... [24](#)
- アカウント情報を入力し、グローバルアカウントの設定を行う..... [28](#)
- アカウント情報を入力し、ローカルアカウントの設定を行う..... [30](#)
- 「MOT/HG」のアカウント設定を行う..... [32](#)

推奨設定

- プッシュ通知着信の設定を行う..... [34](#)
- 音声コーデックを設定する..... [35](#)
- プロトコルを設定する..... [37](#)

電話帳設定

- 「共通電話帳」の設定を行う..... [38](#)

設定内容を有効にする

- 設定反映のため、アプリ終了/再起動を行う..... [40](#)
- 動作状態の確認..... [41](#)

電話をかける

- ダイヤル画面の説明..... [42](#)
- 発信画面の説明..... [43](#)
- ダイヤル入力して電話をかける..... [44](#)
- ワンタッチから電話をかける..... [46](#)
- 履歴から電話をかける..... [47](#)
- 共通電話帳から電話をかける..... [48](#)
- 通話中画面の説明..... [51](#)

電話を受ける

- 電話を受ける..... [54](#)
- 着信画面の説明..... [57](#)

保留

- 保留・保留解除する..... [58](#)
- 保留・取り次ぎ転送をする..... [59](#)
- パーク保留・取り次ぎ転送をする..... [66](#)

社員で利用できる「共通電話帳」を利用する

- 「共通電話帳」を手動で更新する..... [69](#)
- 「共通電話帳」を自動で更新する..... [70](#)
- 「共通電話帳」で連絡先を検索する..... [71](#)
- 「共通電話帳」の連絡先から電話をかける..... [72](#)

履歴画面

- 通話履歴画面の説明..... [75](#)
- 通話履歴から発信する..... [77](#)
- 通話履歴を削除する..... [80](#)
- 内線通話の履歴のみを表示する..... [82](#)

着信拒否設定

- 着信拒否の処理を選択する..... [83](#)
 - 【PBXで処理】着信拒否の設定を行う..... [84](#)
 - 着信拒否時間の自動解除設定メニューを表示する..... [87](#)
 - 着信拒否設定を一定時間後に自動解除する設定を行う..... [88](#)
 - 着信拒否時間の設定を変更する..... [90](#)
 - 【端末で処理】着信拒否の設定を行う..... [83](#)
- 特定番号の着信を拒否する設定を行う..... [95](#)

送受話音量

- 音量を調整する..... [96](#)

ホーム画面

- 画面テーマを選択する..... [97](#)
- ホーム画面の説明..... [98](#)
- ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する..... [100](#)
- ホーム画面のメニューボタンの配置を変更する..... [104](#)
- 新着お知らせ通知機能..... [105](#)
- ホーム画面にワンタッチボタンを追加する..... [106](#)
 - 「留守番電話」のワンタッチを登録する..... [109](#)
 - 「転送機能」のワンタッチを登録する..... [123](#)
 - 「代理応答」のワンタッチを登録する..... [128](#)
 - よく利用する連絡先のワンタッチを登録する..... [131](#)
 - 「着信拒否設定」のワンタッチを登録する..... [134](#)
 - 「外線着信拒否設定」のワンタッチを登録する..... [137](#)
- 登録したワンタッチを編集・削除する..... [140](#)

発信に関する設定

- 発信時に、発番号を選択可能にする..... [141](#)
- 発信時に、携帯からの発信を選択可能にする..... [142](#)
- 直前に発信した番号をダイヤル画面に表示する..... [143](#)
- 番号の先頭に特定の番号を付けて発信する(プレフィックス発信)..... [144](#)
- 番号の先頭に特定の番号を付けて携帯から発信する(プレフィックス発信)..... [145](#)
- MOT/Phone+以外の通話アプリから発信する..... [146](#)
- 発信アプリの設定を初期値に戻す..... [147](#)

着信に関する設定

- MOT/Phone+通話中に、携帯着信への割り込み着信を受ける..... [149](#)
- 着信時の呼び出し時間を設定する..... [153](#)
- 通話中の着信・着信拒否の履歴を残す..... [154](#)
- 着信画面の[拒否]ボタンを非表示にする..... [155](#)
- 着信の際、操作を行わず自動で応答する..... [157](#)
- 着信画面に、着信した自局番号を表示する..... [158](#)

着信音設定

- 着信した番号ごとに着信音を変更する..... [159](#)
- 内線・外線着信音を設定する..... [160](#)
- 連絡先ごとに着信音を変更する..... [161](#)

通話に関する設定

- 通話中の画面をロックし、スマホ画面を耳に当てた際の誤操作を防ぐ..... [162](#)
- 通話中、メニュー操作を無効にする..... [163](#)
- 通話終了後、ホーム画面を表示せず、もとの画面に戻る..... [164](#)
- 通話切断時、通話終了音を鳴らす..... [165](#)

Android端末の連絡先をMOT/Phoneで利用する

- Android端末の連絡先をMOT/Phone+の電話帳で利用する..... [166](#)
- 電話帳「連絡先」画面の説明..... [169](#)
- 連絡先一覧から電話をかける..... [171](#)
- 連絡先を新規作成・編集・削除する..... [175](#)
- 連絡先を検索する..... [180](#)
- 連絡先をエクスポート・インポートする..... [185](#)
- Googleアカウントと連絡先を同期する..... [190](#)
- MOT/Phone+以外の電話帳アプリで連絡先を編集する..... [193](#)

セカンダリ利用に関する設定

- 複数のアカウント(セカンダリアカウント)を利用する..... [194](#)

チャット機能(MOT/Cha)

MOT/Cha初期設定

- MOT/Cha機能を利用する..... [197](#)
- MOT/Cha機能を有効にする..... [198](#)
- チャットサーバを指定する..... [199](#)
- 表示するチャットアカウントを選択する..... [200](#)
- MOT/Cha利用登録を行う(PBX認証)..... [201](#)
- MOT/Cha利用登録を行う(MOT/HG認証)..... [203](#)
- ホーム画面に「MOT/Cha」メニューを表示する..... [204](#)

MOT/Cha基本操作

- MOT/Chaのプロフィールを編集する..... [206](#)
- マイコンタクト(チャット相手)を追加・削除する..... [208](#)
- グループを作成する..... [210](#)
- グループへメンバーを招待する..... [211](#)
- 招待されているグループへ参加する..... [213](#)
- グループから脱退する..... [214](#)

- グループの編集・削除を行う【オーナー権限】 [215](#)
- グループのオーナーを変更する【オーナー権限】 [217](#)
- チャットをする [218](#)
- グループにチャットをする [226](#)
- グループチャットで引用返信する [228](#)
- トーク画面を表示する [230](#)

- MOT/FAX機能 [234](#)

- 別サービスのチャット受信機能 [243](#)

別途サービス: 出退勤機能

- 出退勤機能の設定を行う [245](#)
- 出退勤の打刻画面 [246](#)
- 地図を表示し、位置情報を保存する [247](#)
- 勤務報告書を表示する [248](#)
- 勤務報告書の詳細を表示する [249](#)
- 出勤・退勤時刻を編集・削除する [250](#)
- 「有休・特別休暇申請」の申請を行う [252](#)

別途サービス: MOTインカム機能

- MOTインカムの初期設定を行う [257](#)
- MOTインカムの画面説明 [265](#)
- ミュート解除方法を設定する [267](#)
- インカム制御対応のヘッドセット利用時の設定を行う [269](#)
- グループを作成する【グループ権限】 [271](#)
- インカム通話を開始する [274](#)
- インカム通話を終了する [283](#)
- インカム通話にメンバーを招待する/参加する【招待権限】 [284](#)
- インカム通話に参加しているメンバーを切断する【切断権限】 [288](#)

スマートロック解錠機能.....	290
エントランス解錠機能	295

外部サービス設定

• 外部サービス設定.....	301
• 外部サービス設定(社内通知設定).....	302
• 外部サービス設定(二次元コード設定).....	304
• 外部サービス設定(MOT経費精算設定).....	307
• 外部サービス設定(外部URL設定).....	309
• 「PHONE APPLI PEOPLE」と連携する.....	311

その他設定

• Bluetoothヘッドセットを利用する.....	313
• ログ送信機能を設定する.....	316
• ログを送信する.....	317
• 通話品質が低下した場合、警告音またはメッセージで通知する.....	318
• Wi-Fi圏外時に、バイブレーションまたはメッセージで通知する.....	319
• エコーキャンセラを無効にする.....	320
• 番号登録に失敗した理由を表示する.....	321
• 発信が失敗した理由を表示する.....	322
• エクスポート・インポート機能を利用する.....	323
• 各機能の通知をオフにする.....	326
• 通知オフの状態、MOT/Phone+の着信のみ可能にする.....	328
• MOT/Phone+アプリのバージョン確認、アンインストールをする.....	330
• 仕様.....	332
• 注意事項.....	333
• 改訂履歴.....	334

注意事項

本マニュアル内の注意事項を記載しております。

注意事項

- 対応機種:MOT/PBX (M-V3,S-V2,L-V1,L-V2,L-V3)、MOT/PRO、MOT/TEL
- LINEのようなVoIPアプリがインストールしてあると、MOT/Phone+で通話する時に音が聞こえないなどの問題が生じる場合があります。この場合、他のVoIPアプリを終了させるかアンインストールしてください。
- MOT/Phone+アプリからは、緊急通報番号に発信することができません。緊急通報番号に発信する際は、Android端末の携帯電話から発信してください。
※緊急通報番号:110(警察機関)、118(海上保安機関)、119(消防機関)

用語集

本マニュアル内で使われている用語を解説しています。

■用語集

用語	説明
プッシュ通知	着信・FAXの受信などを画面上に表示します。
ダイアログ	画面に一時的に表示するウィンドウです。
デフォルト	最初から設定されている初期値の状態を指します。
パーク保留	MOT/Phone+をインストールした他者の電話機と、保留を共有できます。
自己保留	自分の電話機のみで保留を行います。
ログ	スマートフォンもしくはMOT/PBXに記録される履歴や情報を指します。
鳴動	着信音、バイブのことを指します。
転送	・不在転送 着信があった場合に、コールせずに、あらかじめ決められた電話へ転送する機能です。
	・不応答転送 着信があった場合に、あらかじめ決めたコール数内に応答がなければあらかじめ決められた別の電話へ転送する機能です。

アプリを
インストールする

アプリをインストールする

Playストアを起動し、MOT/Phone+をGoogle Playからインストールします。

①



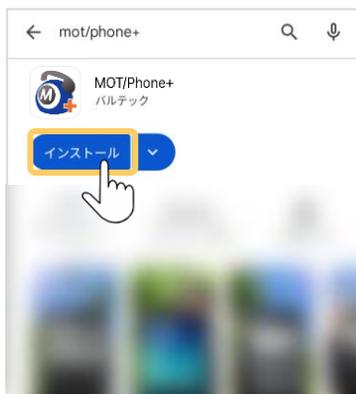
①Playストアをタップして起動

②



②「mot/phone+」と入力し、検索

③



③MOT/Phone+アプリの[インストール]をタップ

インストール完了後、[開く]をタップして起動

注意事項

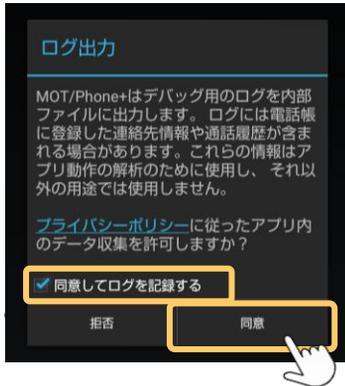
LINEのようなVoIPアプリがインストールしてあると、MOT/Phone+で通話する時に音が聞こえないなどの問題が生じる場合があります。この場合、他のVoIPアプリを終了させるかアンインストールしてください。

インストール後にアプリを起動すると、端末への権限許可を行うためダイアログが表示されます。アプリの権限を「許可」してください。

※AndroidOSや端末によって、メッセージの表示順や表示内容が異なる場合がございます。

■ログ取得の許可をします

①



- ①「**同意してログを記録する**」にチェックを入れ、**[同意]**を選択します。

※ログを記録することを、推奨の設定としております。

※「許可しない」を選択してしまった場合の再設定方法は、[「ログ取得の許可について」](#)ページをご参照ください。

②



- ②お知らせを「あとで」見るか、「今すぐ」見るか選択します。
ここでは「**あとで**」を選択し、
アプリの初期起動終了後に、お知らせをご確認することをおすすめします。

※「今すぐ」を選択した場合、お知らせ画面に遷移します。
その場合は、お知らせサイトを閉じて、
MOT/Phone+アプリの画面に戻ってください。

▶次ページへ続く

アプリを
インストールする

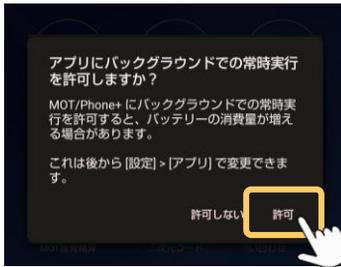
アプリを起動する

■省電力モードから除外する許可をします

③ [OK]を選択します。

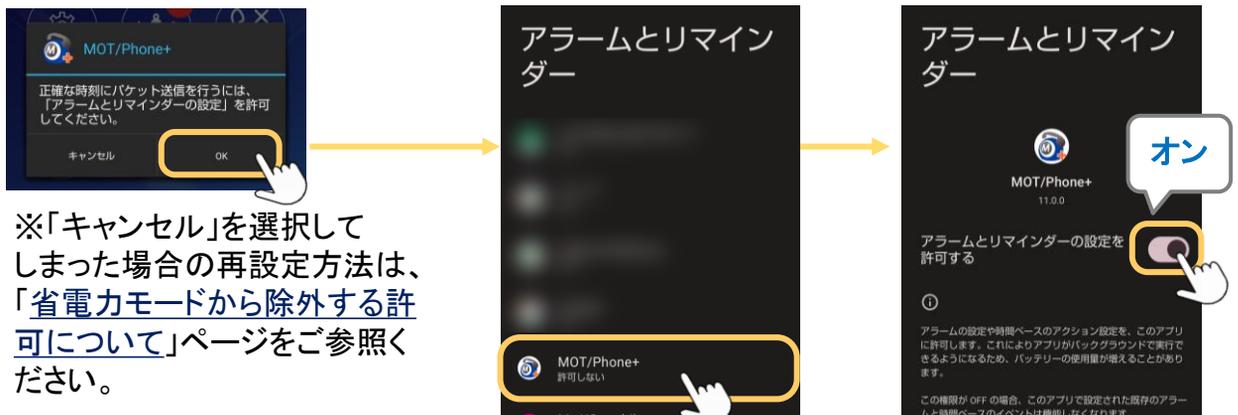


④ [許可]を選択します。



※Android OS14以降

「許可しない」を選択した場合、以下のダイアログが表示されます。「許可」した場合は、アラームとリマインダーの権限は自動で許可されます。その後のダイアログが表示しません。



※「キャンセル」を選択してしまった場合の再設定方法は、「[省電力モードから除外する許可について](#)」ページをご参照ください。

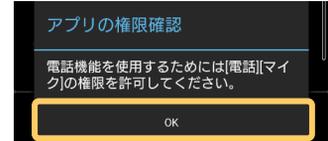
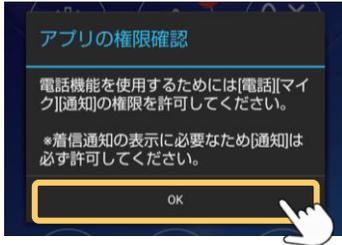
※Android OS10以降

「許可しない」を選択してしまった場合の再設定方法は、「[省電力モードから除外する許可について](#)」ページをご参照ください。

▶次ページへ続く

■MOT/Phone+アプリの通知許可、電話・マイクへのアクセス許可をします

⑤ [OK]を選択します。

※Android OS10～12
以下を表示

⑥ [アプリの使用時のみ]を選択します。

注意事項

「許可しない」を選択した場合、保留転送時に正常に動作しない場合がございますので、必ず「アプリの使用時のみ」を選択してください



⑦ [許可]を選択します。

注意事項

「許可しない」を選択した場合、電話着信が受けられません。必ず「許可」を選択してください。



※「許可しない」を選択してしまった場合の再設定方法は、「[MOT/Phone+アプリの通知の許可について](#)」ページをご参照ください。

⑧ [許可]を選択します。

※「許可しない」を選択してしまった場合の再設定方法は、「[電話、マイクへのアクセス許可について](#)」ページをご参照ください。

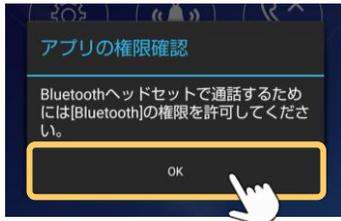


▶次ページへ続く

■Bluetooth機器利用を許可をします

※Android OS12以降、以下を表示

⑨ [OK]を選択します。



⑨ [OK]を選択します。

⑩ Bluetooth機器を利用してMOT/Phone通話を行う場合は、[許可]を選択します。



⑩ Bluetooth機器を利用してMOT/Phone通話を行う場合は、[許可]を選択します。

※「許可しない」を選択した場合の再設定方法は、「[Bluetooth機器利用の許可について](#)」ページをご参照ください。

■全画面通知を許可をします

※Android OS14以降、以下を表示

⑪ [OK]を選択します。



⑪ [OK]を選択します。

⑫ 表示される全通知画面で許可します。



⑫ 表示される全通知画面で許可します。

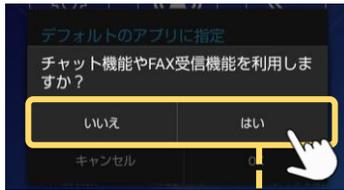
許可後、全通知画面から、MOT/Phone+アプリ画面に戻ります。

※許可しなかった場合、許可状態になるまで、MOT/Phone+起動時に⑪のダイアログを表示し続けます。

▶次ページへ続く

■チャット機能・FAX機能を許可をします

⑮

⑮チャット機能を利用する場合は、**[はい]**を選択します。**はい**を選択した場合

⑯



⑯ **[はい]**を選択した場合、左図のチャット設定画面を表示します。
ご利用になるチャットサーバを選択し、**[保存]**を選択してください。
新規導入のお客様は「サーバ2」のまま進めてください。

既存のお客様は、ご利用のサーバを選択してください。

※あとから[選択サーバを変更](#)することも可能です。

▶次ページへ続く

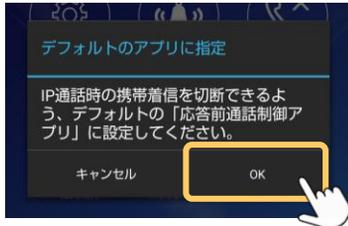
アプリを
インストールする

アプリを起動する

■IP通話中の携帯電話割り込みを拒否する設定をします

※Android OS10以降、
以下を表示

①7 [OK]を選択します。



①8 MOT/Phone+を選択し、[デフォルトに設定]を選択します。



※「許可しない」を選択した場合の再設定方法は、
「[通話中、携帯着信があった場合に通話が中断しないための許可について](#)」ページをご参照ください。

各ダイアログで、「許可しない」を選択した場合

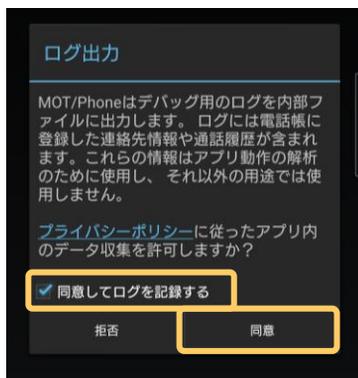
- ・Android OS 10 : アプリ起動の都度、許可していないダイアログが表示されます。
- ・Android OS 11以降 : 「許可しない」を二度選択すると、アプリ起動時に表示されなくなります。
(OSや端末によって「許可しない」を一度選択すると、表示されない場合もございます)
その場合、端末の「設定」で、許可する設定を行ってください(詳細は、[P16～P21](#)参照)。

アプリを
インストールする

ログ取得の許可について

MOT/Phone+アプリインストール後の初回起動時に表示されるダイアログです。
アプリの「設定」画面でも設定が行えます。

■ログ取得の許可

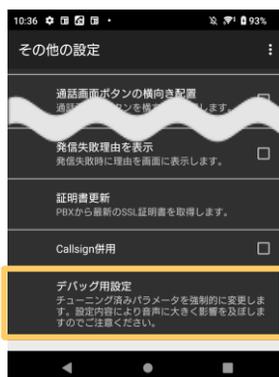
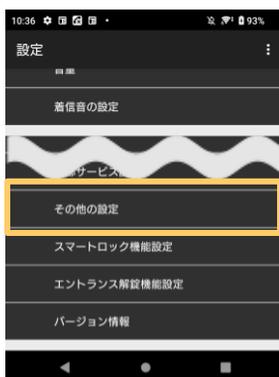


「**同意してログを記録する**」にチェックを入れて、**[同意]**を選択することで、ログの記録を開始します。

※ログ取得の許可をしておくことで、アプリ動作で不具合が発生した際に、原因究明のために記録ログを確認することができます。
そのため、ログ取得を許可することを推奨としております。
(アプリ内部にログを保存するため、スマホのストレージを消費します。消費データ量については通話数などによって異なります。)

※ダイアログが表示されなくなった場合は、MOT/Phone+アプリの設定画面で設定変更が可能です。

MOT/Phone+アプリの「設定」> その他の設定 > デバッグ用設定 > **ログ出力**にチェック



デバッグ用設定

「ログ出力」にチェック

記録したログは、不具合発生時に、弊社サポートスタッフよりログ送信をお願いすることがございます。
ログ送信の詳細は「[ログを送信する](#)」ページをご参照ください。

アプリを
インストールする

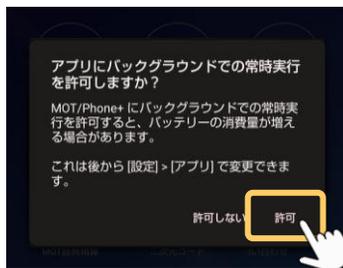
省電力モードから除外する許可について

MOT/Phone+アプリインストール後の初回起動時に表示されるダイアログです。
端末の「設定」画面でも設定が行えます。

■省電力モードから除外する許可



通知ダイアログの[OK]ボタンを押すと、MOT/Phone+のバッテリー使用量最適化を無効にするためのダイアログが表示されますので、「許可」を選択してください。



スリープ中にも着信を受けるために、バッテリー使用量の最適化を行わないようにします。バッテリー使用量の最適化を無効にすると、端末の「設定」画面の「バッテリー」または「省電力機能」の項目内で、MOT/Phone+アプリは、「最適化しないアプリ」に登録されます。

<以下、Android OS10~13の場合>

※ダイアログが表示されなくなった場合は、端末の設定画面で設定変更が可能です。

端末やOSによって、「電池」または「バッテリー」どちらかの表現になっております。

端末の設定 > アプリと通知(または、アプリ) > 特別なアプリアクセス > 電池の最適化 > MOT/Phone+ > オフ(最適化しない)

端末の設定 > アプリと通知(または、アプリ) > MOT/Phone+ > バッテリー > バッテリーの使用状況 > 制限なし(最適化しない)



※表示されるダイアログの文面や、端末の設定画面の項目は、端末によって異なります。左記は一例となります。

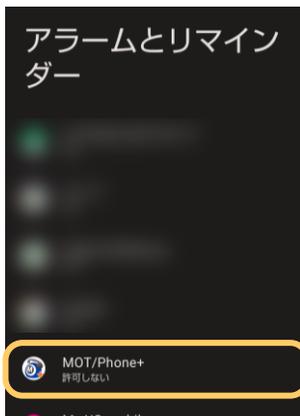
▶次ページへ続く

アプリを
インストールする

省電力モードから除外する許可について

<以下、Android OS14以降の場合>

端末の設定 > アプリと通知(または、アプリ) > 特別なアプリアクセス > アラームとリマイダー > MOT/Phone+ > オン(許可)



MOT/Phone+を選択



オン

※表示されるダイアログの文面や、端末の設定画面の項目は、端末によって異なります。
上記は一例となります。

注意事項

AndroidOSの仕様変更に伴い、Android OS13までは自動で付与されていた権限(アラームとリマイダーの設定)が、Android OS14以降の端末では自動で付与されない場合がございます。電話機能などを正常動作するためにアラームとリマイダーの権限を必ず許可にしてください。

アプリを
インストールする

MOT/Phone+アプリの通知の許可 について

MOT/Phone+アプリインストール後の初回起動時に表示されるダイアログです。
端末の「設定」画面でも設定が行えます。

■MOT/Phone+の通知の許可



<Android OS13以降の場合のみ、表示>

MOT/Phone+アプリの通知を許可するためのダイアログが表示されますので、「許可」を選択してください。

通知を許可しないと、着信しません。

電話機能を利用するために、本アプリの通知を許可してください。



※ダイアログが表示されなくなった場合は、端末の設定画面で設定変更が可能です。

端末の「設定」> アプリ > MOT/Phone+ > 通知 > 「MOT/Phone+のすべての通知」を「オン」



オン

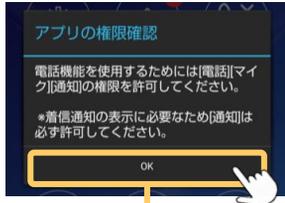
※表示されるダイアログの文面や、
端末の設定画面の項目は、端末によって
異なります。左記は一例となります。

アプリを
インストールする

電話・マイクへのアクセス許可について

MOT/Phone+アプリインストール後の初回起動時に表示されるダイアログです。
端末の「設定」画面でも設定が行えます。

■電話・マイクの許可



MOT/Phone+の電話と音声を有効にするためのダイアログが表示されますので、どちらも「許可」を選択してください。



マイクへのアクセスを許可しないと、自分の声が相手に聞こえません。
電話機能を利用するために、アプリ権限を許可します。
電話と音声を許可すると、端末の「設定」画面の「アプリ」項目内で、MOT/Phone+アプリのマイクと電話が許可された状態になります。

※ダイアログが表示されなくなった場合は、端末の設定画面で設定変更が可能です。

端末の「設定」> アプリ > MOT/Phone+ > 権限 > 「マイク」・「電話」> 「許可」を選択



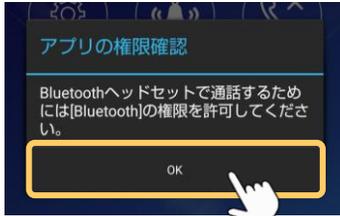
※表示されるダイアログの文面や、端末の設定画面の項目は、端末によって異なります。
上記は一例となります。

アプリを
インストールする

Bluetooth機器利用の許可について

MOT/Phone+アプリインストール後の初回起動時に表示されるダイアログです。
端末の「設定」画面でも設定が行えます。

■Bluetoothの権限の許可



<Android OS12以降の場合のみ、表示>

通知ダイアログの[OK]ボタンを押すと、付近デバイスをMOT/Phone+に許可するためのダイアログが表示されます。

本設定を行っていない場合、MOT/Phone+でBluetooth機器を利用した通話が行えません。
Bluetooth機器をご利用になる際は、「許可」を選択してください。



※ダイアログが表示されなくなった場合は、端末の設定画面で設定変更が可能です。

端末の設定 > アプリ > MOT/Phone+ > 権限 > 付近のデバイス > 「許可」を選択



※表示されるダイアログの文面や、端末の設定画面の項目は、端末によって異なります。
上記は一例となります。

アカウントの設定画面

アプリのインストール、および初回起動時の設定が済んだら、アカウント設定を行ってください。

アカウント設定の方法は、以下2通りございます。

①「二次元コード読取」

MOT/HG画面に表示されるアカウント設定用の二次元コードを読み取り、設定する。

※MOT/HGをご利用のお客様のみ対象です。

➤ P24「[二次元コードを読み取り、アカウントの設定を行う](#)」へ

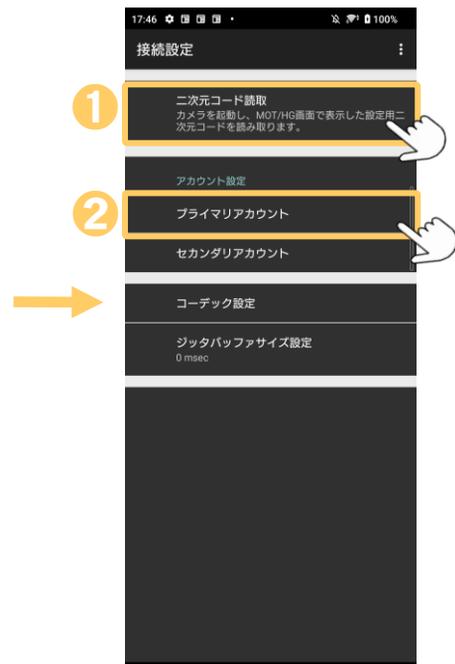
②「設定」>「接続設定」>「プライマリアカウント」>アカウント情報を入力し、設定する。

➤ グローバル、ローカルアカウントのそれぞれの設定ページへ

➤ P28「[グローバルアカウントの設定を行う](#)」へ

➤ P30「[ローカルアカウントの設定を行う](#)」へ

「設定」> 接続設定 > 二次元コード読取 or プライマリアカウント



注意事項

「接続設定」内で設定を変更した後は、設定を反映させるために、アプリの再起動が必要です。

二次元コードを読み取り、 アカウントの設定を行う

※「MOT/HG」をお申込みの方のみ、対象です。

設定用の二次元コードを読み込むことで、アカウントの設定が可能です。
アカウント情報の入力の手間がなく、簡単にアカウントの設定を行うことができます。

■事前準備として、MOT/HGにログインし、設定用の二次元コードを表示してください。

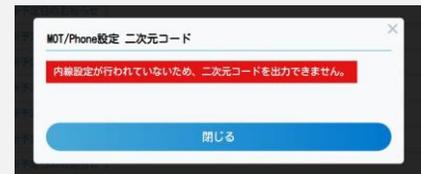
※本機能をご利用いただくには、MOT/HGで、内線番号情報を設定している必要があります。
また、MOT/Phone+アプリはVer.10.2.3以降でご利用ください。

MOT/HGにログイン > 画面右上のユーザー名をクリック > MOT/Phone設定 をクリック



MOT/HGにログインしているユーザーの
アカウント設定用二次元コードを表示します。

※MOT/HG側で、対象ユーザーの内線情報が未設定
の場合、右のようなメッセージが出て、二次元コードは
表示されません。



※MOT/HGのご利用がない場合は、アカウント情報を入力し、設定を行ってください。

グローバル、ローカルアカウントのそれぞれの設定ページをご参照ください。

P28「グローバルアカウントの設定を行う」、P30「ローカルアカウントの設定を行う」

注意事項

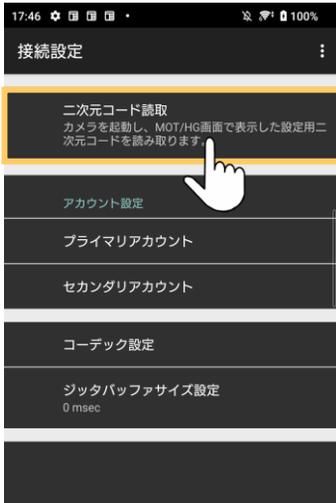
- 二次元コード読み取りで設定が行えるのは、MOT/HG側で設定されているグローバルアカウント、およびローカルアカウントの内線アカウント情報(内線番号・パスワード・サーバーアドレス)と、「MOT/HG設定」のアカウント情報、「MOTインカム」のアカウント情報(※ご利用の場合のみ)です。
※MOT/TEL(クラウド)の場合は、「テナントコード」も内線アカウント情報に含みます。
※MOT/HG側で、プライマリ・セカンダリどちらも設定がある場合、どちらも対象に設定します。
- MOT/Phone+アプリに、既に内線アカウント情報が入力されている状態で二次元コードを読み取った場合、情報は上書きされます。
- 二次元コード読み取ると、「電話帳設定」で「MOT/HG電話帳」が自動で設定されます。

▶次ページへ続く

二次元コードを読み取り、 アカウントの設定を行う

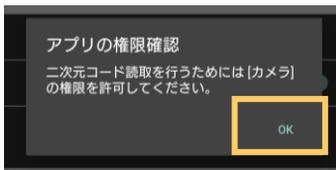
「設定」> 接続設定 > 二次元コード読取

①



① **二次元コード読取**を選択します。

②



② カメラの権限許可を求めるメッセージが表示されたら、**「OK」**を選択し、許可をします。

※許可しない場合、二次元コードの読み取りが行えません。



許可後、再度**「二次元コード読取」**をタップしてください。



▶ 次ページへ続く

二次元コードを読み取り、 アカウントの設定を行う

③



③カメラが起動するので、MOT/HG画面で表示するMOT/Phone設定の二次元コードを読み取ります。

④



④「設定しました」のメッセージが表示されたら、読み取り完了です。「OK」をクリックし、画面を閉じてください。

MOT/Phone+アプリを終了し、再起動することで、アカウント設定が反映し、内線が利用できるようになります。

二次元コードの読み取りにより、内線アカウントと、MOT/HG(MOT/Cloud)アカウントが自動で入力された状態になります。

以下の設定が自動で行われます。

P28:「[グローバルアカウントの設定を行う](#)」

P30:「[ローカルアカウントの設定を行う](#)」

P32:「[MOT/HGのアカウント設定を行う](#)」

▶次ページへ続く

二次元コードを読み取り、 アカウントの設定を行う

■MOT/Phone+のアプリ終了や再起動方法、および設定した内線が正しく動作しているかの確認は、以下のページをご参照ください。

P40:「[設定反映のため、アプリ終了/再起動を行う](#)」ページ

P41:「[動作状態の確認](#)」ページ

グローバルアカウントの設定を行う

アカウント情報を入力し、アカウントの設定を行う方法です。
グローバルアカウントをご利用の方は、グローバルアカウントの設定を行ってください。

「設定」> 接続設定 > プライマリアカウント > グローバルアカウント設定



① **プライマリアカウント**をタップします。



② **グローバルアカウント設定**をタップし、
グローバルアカウントのアカウント情報を入力する
画面を表示します。

チェックあり
の状態

※「テナントコード」

MOT/TEL(クラウド版)利用時のみ、テナントコードの入力
が必要です。
PBXシリーズをご利用の場合は、何も入力しません。

▶次ページへ続く

グローバルアカウントの設定を行う

③

グローバルアカウント設定

内線番号
301

パスワード

サーバーアドレス

ポート番号
5060 (通常時)

プロトコル(HTTP)
HTTP

ポート番号(HTTP)
18080

③グローバルアカウント設定画面で、**内線番号、パスワード、サーバーアドレス**を入力してください。

注意事項

パスワードを3回間違えると、パスワードロックがかかります。

<パスワードロックの解除方法について>

パスワードを3回間違えると、パスワードロックがかかりますが、3分経過すると、自動で解除されますので、再度入力をお試しください。

※自動解除は、PBXシリーズVer6.14.0以降のお客様が対象です。

※ MOT/TEL(クラウド版)をご利用のお客様は、パスワードロックはかかりません。

ローカルアカウントの設定を行う

アカウント情報を入力し、アカウントの設定を行う方法です。
ローカルアカウントをご利用の方は、ローカルアカウントの設定を行ってください。

「設定」> 接続設定 > プライマリアカウント > ローカルアカウント設定



① **プライマリアカウント**をタップします。



② **ローカルアドレス利用**にチェックを入れ、**ローカルアカウント設定**をタップし、ローカルアカウントのアカウント情報を入力する画面を表示します。

▶ 次ページへ続く

ローカルアカウントの設定を行う



③ローカルアカウント設定画面で、**内線番号、パスワード、サーバーアドレス**を入力してください。

④以下は、必要に応じてご利用ください。

①プロトコル・ポート番号(HTTP)

PBX電話帳へのアクセスをHTTPもしくはHTTPSで行います。プロトコルを変更することで自動的にポート番号(HTTP)の値も変更されます。

②スリープ無効の設定

ローカルアカウント利用時MOT/Phoneダイヤルパッドを最前面表示すると端末がスリープしなくなる設定です。(電池消費大)

③Wi-Fi接続強制利用

Wi-Fi接続が利用可能な環境下の場合、強制的にローカルアカウントを利用します。

※STUN利用かつ、ルータ経由でMOT/PBXのWAN側アドレスにアクセスできる場合に、グローバルアカウントが優先的に動作するため、これを社内無線LAN利用時には行わないための設定となります。

本設定を利用すると、公衆Wi-Fi網での利用が出来なくなりますのでご注意ください。

※ポート番号の設定は変更しません。

注意事項

パスワードを3回間違えると、パスワードロックがかかります。

<パスワードロックの解除方法について>

パスワードを3回間違えると、パスワードロックがかかりますが、3分経過すると、自動で解除されますので、再度入力をお試しください。

※自動解除は、PBXシリーズVer6.14.0以降のお客様が対象です。

「MOT/HG」のアカウント設定を行う

※「MOT/HG」をお申込みの方のみ、対象です。

必要に応じて、MOT/HG(またはMOT/Cloud)のアカウント設定を行ってください。

「設定」> MOT/HG設定



①「設定」画面のMOT/HG設定をタップします。

- MOT/HGのアカウント設定は、以下をご利用になる場合に必要です。
- ・共通電話帳の「[MOT/HG電話帳](#)」
 - ・MOT/Chaの「[MOT/HGアカウント認証](#)」
 - ・別途お申込みのサービス「[MOT勤怠管理](#)」
 - ・別途お申込みのサービス「[スマートロック](#)」
 - ・別途お申込みのサービス「[MOTインカム](#)」



②MOT/HGのアカウント情報(契約顧客コード、ログインID、パスワード)を入力してください。

「MOT/HGと連携する」項目にチェックをしてください。

※[二次元コード読取](#)でアカウント設定済の場合、MOT/HGのアカウント情報は自動で設定されますが、「MOT/HGと連携する」のチェックは自動設定されないため、チェックが必要です。

▶次ページへ続く

「MOT/HG」のアカウント設定を行う

③



③入力後、自動的に認証が行われます。

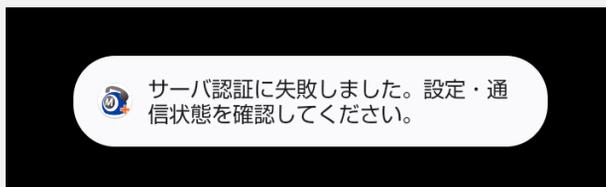
「認証成功」の表示が出たら、設定完了です。

認証後は、MOT/Phone+アプリを再起動してください。

再起動をしないと、設定が正しく反映しない場合がございます。

※認証失敗の場合

以下のメッセージが表示された場合は、契約顧客コード、ユーザID、パスワードのいずれかが間違っている可能性がありますので、再度入力をご確認ください。



プッシュ通知着信の設定を行う

MOT/Phone+をお使いの際は、プッシュ着信の設定を有効にします。
MOT/Phone+の推奨利用は、プッシュ着信機能オンでの利用です。

「設定」> 着信動作設定 >
プッシュ着信機能、プッシュ着信時に起動、プッシュ着信時のSIP着信拒否



①プッシュ着信の3項目

通常は、プッシュ通知の仕組みを使った着信を利用するため、初期値のまま、**3項目にチェック**をつけてください。

プッシュ着信の設定を有効にすることで、アプリが起動していない状態でも自動で起動/着信し、バッテリー消費を抑えます。

注意事項

- 本機能をご利用の際は、**本体の日付と時刻を自動設定する**ようにしてください。
- スマートフォン本体の設定の「システム」「日付と時刻」より「日付と時刻を自動設定」にチェックを入れます。
※PUSH着信は本体とサーバの時刻がずれていると着信しないため、スマートフォン側の時刻も自動設定するようになる必要があります。
- PUSH着信機能をご利用頂く事で、電池消費量が減る半面、サーバ 経由の着信となるため、
- ご利用しない場合に比べて着信鳴動するまでの時間が遅くなる場合がございますのでご注意ください。
- ご利用端末の空きメモリーが少ないと、着信できなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 「Google Play開発者サービス」アプリケーション がインストールされている必要があります。

音声コーデックを設定する

MOT/Phone+アプリの通話時に利用する音声コーデックを設定します。

「設定」> 接続設定 > コーデック設定



①コーデック設定をタップします。



②音声通話する時のコーデックを設定します。

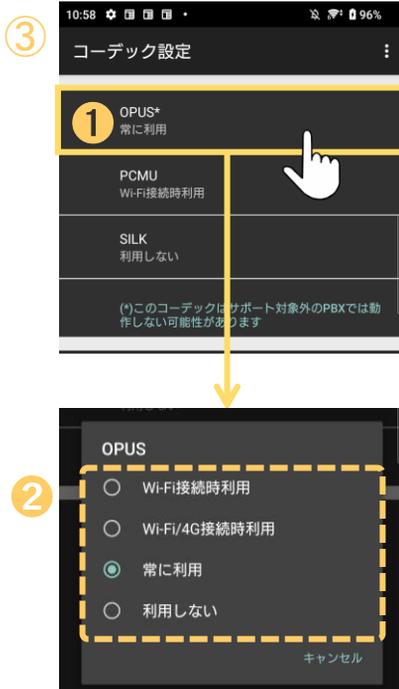
推奨値の**OPUS**を「常に利用」に設定してください。
※初期値のまま

注意事項

上記の推奨値は、すべてのお客様に該当するわけではありません。
設定変更後にコーデックエラーで利用できなくなった場合は、元の設定にお戻しください。

▶次ページへ続く

音声コーデックを設定する



③コーデックを変更する場合は、以下の操作方法で変更を行ってください。

①コーデックをタップします。

②以下から選択します。

1. Wi-Fi接続時利用…Wi-Fiに接続した時だけそのコーデックを利用します。
2. Wi-Fi/4G接続時利用…Wi-Fi/4Gに接続した時だけそのコーデックを利用します。
3. 常に利用…常にそのコーデックを利用します。
4. 利用しない…そのコーデックは利用しません。

<OPUS以外のコーデック>

PCMU …社内無線LANを利用する時の推奨コーデックで、SIP電話機等もこのコーデックを使用しています。

SILK …4Gなどモバイルデータ通信を利用する時の推奨コーデックで、AMRNBと比較して音質は良く、PBX側でも回線側での多少のパケットロス補てんができるように対応しております。

プロトコルを設定する

MOT/Phone+の通話で使用する通信プロトコルを選択する設定項目です。

「設定」> 接続設定 > プライマリアカウント(セカンダリアカウント) > プロトコル



① **プロトコル**をタップします。



② 通常は、推奨値の「**UDP**」を選択してください。

「共通電話帳」の設定を行う

「共通電話帳」は、MOT/PBX、またはMOT/HGの電話帳のいずれかと同期し、利用することができます。

「設定」> 共通電話帳設定 > 電話帳の選択



① **共通電話帳設定**をタップし、社員で共有して利用する電話帳を選択します。

② 電話帳をどちらか選択します。

電話帳は「MOT/HG電話帳」が推奨です。

■ MOT/HG

※「MOT/HG」をお申込みの方がご利用いただけます。

MOT/HG電話帳をご利用いただくには、**「MOT/HG」のアカウント設定**が必要です。

・「MOT/HG」の電話帳情報を取得して利用します。

初期値は「MOT/PBX」ですが、「**二次元コード読取**」でアカウント設定情報を読み取った場合、自動で「MOT/HG」が選択された状態になります。



■ PBX

PBXシリーズをのPBXを設置いただいている方がご利用いただける電話帳です。

※MOT/TEL(クラウド版)は、MOT/PBX電話帳を使用できません。

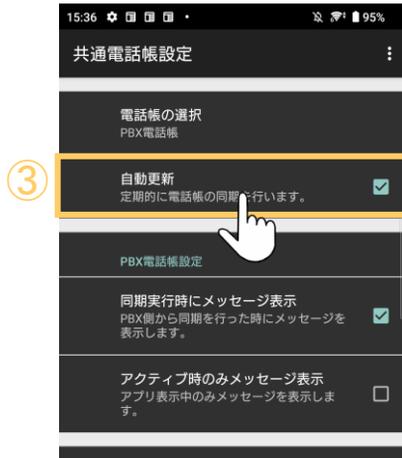
・MOT/PBXユーザ画面の電話帳情報を取得して利用します。

・SIMの種類によって、PBX電話帳が取得できない場合がございます。



▶ 次ページへ続く

「共通電話帳」の設定を行う



- ③ **自動で更新する**項目は初期値がオフです。チェックをつけると、電話帳を自動で更新します。
※自動更新の処理は、1日に1回行います。

更新は、手動でも行えます。

※詳細は、「[共通電話帳を手動で更新する](#)」ページをご参照ください。

■「PBX電話帳」を選択している場合、以下の設定が行えます。



- ① チェックをつけていると、PBX側からの同期が完了時に、「[MOT/Phone]+ PBX電話帳との同期が完了しました。」のメッセージを画面上に表示します。

- ② チェックをつけていると、MOT/Phone+画面を表示しているときのみ、①のメッセージを画面上に表示します。

設定反映のため、 アプリ終了/再起動を行う

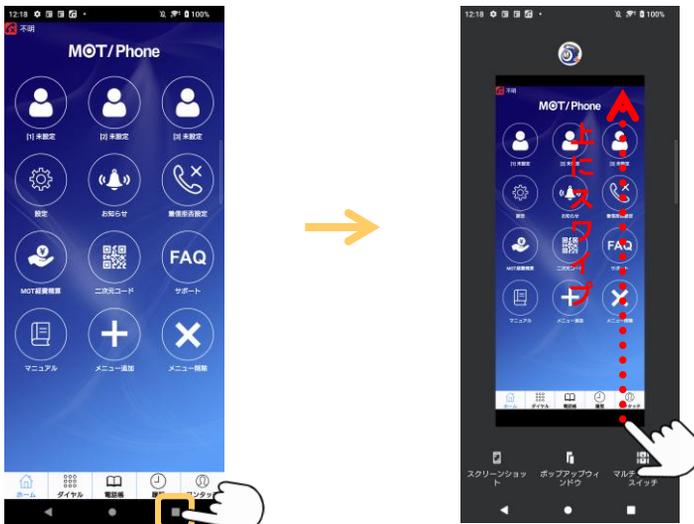
設定内容の反映

「接続設定」画面での設定が完了したら、設定を反映するためMOT/Phone+を一旦終了し、その後MOT/Phone+を再起動すると、設定が反映されます。

アプリの終了

アプリの終了方法は、2通りございます。

①上にスワイプして終了



ホーム画面下のナビゲーションバーで■(端末によって異なる)をタップし、起動中アプリを一覧表示します。

MOT/Phone+アプリ画面の下部から上方向にスワイプして、アプリを終了します。

②設定画面右上の■で終了

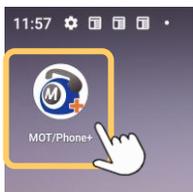


画面右上の■をタップ後、表示されるサブメニューの「アプリ終了」を選択し、アプリを終了します。

※■は、設定画面のみ表示(ホーム画面は表示なし)

アプリの再起動

ホーム画面上のMOT/Phone+アイコンをタップすると起動します。



※ホーム画面にアイコンが表示されていない場合は、各端末毎のアプリアイコン等よりインストールソフト一覧を表示し、アイコンをホーム画面へ移動させます。

※方法は各端末毎の操作方法をご参照ください。

再起動後、正しく接続されているか、次ページで動作状態をご確認ください。

動作状態の確認

各設定後、正しく接続されているか状態の確認をしてください。

※インターネットが接続された状態でご確認ください。

正常

サーバ登録が成功し、発着信する準備ができると、緑色のアイコンが表示されます。

 グローバルアカウント

 ローカルアカウント



MOT/Phone

「登録成功」の状態では、MOT/Phone+を正常に利用できます。

異常

ネットワーク接続異常やパスワードエラーなど何らかの問題が発生すると、赤やオレンジのアイコンが表示されます。



MOT/Phone

注意事項

セカンダリアカウントも利用している場合、右側にセカンダリアカウントのアイコンと内線番号を表示します。



設定を反映させるためにMOT/Phone+を再起動した際は、サーバ登録が成功しているかご確認ください。

ダイヤル画面の説明

ダイヤル画面から発信を行うことができます。

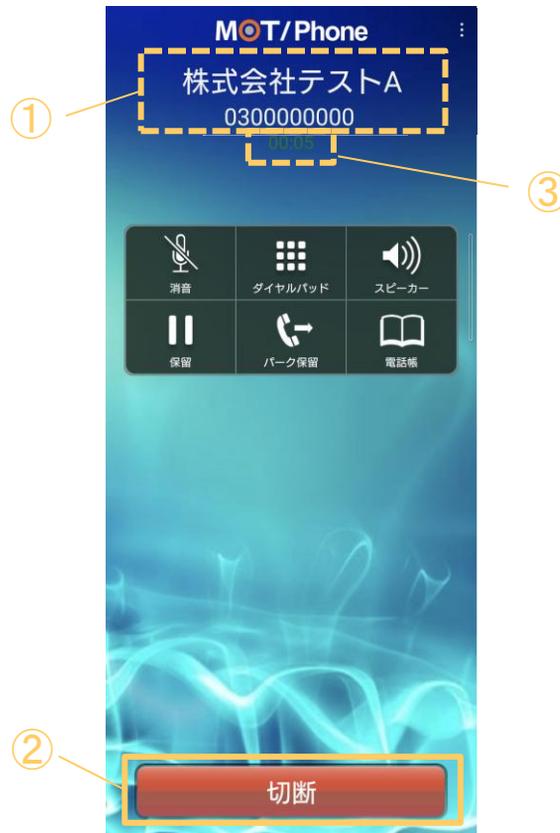


		説明			説明
①	電話番号表示	ダイヤルした番号を表示します。タップすると番号を編集することができます。	③	発信ボタン	①で表示した番号に発信します。長押しするとリダイヤルします。
②	削除	ボタンをタップすると①で表示された番号を1桁削除します。長押しすると全て削除します。	④	ダイヤルパッド	タップして電話番号を入力します。 <u>1~9はワンタッチキーを割り当てることができます。</u> (長押ししてワンタッチ発信)

発信画面の説明

電話発信後は、以下の画面表示に切り替わります。

<発信中/通話中の画面>



	説明
①	ダイヤル先の番号を表示します。 (電話帳に登録している場合は、登録名を表示)
②	発信中に[切断]ボタンをタップすると、発信を中止します。 通話中に[切断]ボタンをタップすると、通話が終了します。
③	相手が電話に応答すると通話を開始し、通話相手との通話時間を表示します。

ダイヤル入力して電話をかける

ダイヤル画面から内線、外線の電話発信をすることができます。

ダイヤル入力して発信する



① **[ダイヤル]**をタップして、ダイヤル画面を表示し、相手先の電話番号を入力します

② 画面上部に、入力した番号が表示されます。

※MOT/PBXシリーズをご利用のユーザー様は、市外局番なしで発信可能です。

※MOT/TEL(プラチナプラン・プレミアムBプランの場合、セカンダリ利用時)をご利用のユーザー様は、市外局番をつけて発信する必要があります。

ダイヤル削除



×をタップ:一文字削除
×を長押し:すべて削除

③ **[発信]**ボタンをタップすると発信します。



【リダイヤル発信】

[発信]ボタンを長押しすると、前回発信先へリダイヤルします。

▶次ページへ続く

ダイヤル入力して電話をかける

発信番号を選択して発信する

- ※「[発信番号選択設定](#)」にて、発信番号を複数登録している場合のみ、**[発信]**ボタンをタップ後、「**発信番号を選択**」画面が表示されます。
「**発信番号を選択**」画面で、相手に表示する発信番号をタップすると発信します。



相手に表示する
発信番号を選択

注意事項

MOT/Phone+アプリからは、緊急通報番号に発信することができません。
※緊急通報番号:110(警察機関)、118(海上保安機関)、119(消防機関)

ワンタッチから電話をかける

ワンタッチで発信することができます。

「ワンタッチ」で発信する



①[ダイヤル]をタップして、ダイヤル画面を表示します。

②ダイヤル画面で、ワンタッチ番号[1]～[9]を長押しします。

※「ワンタッチ」を利用する場合は、あらかじめワンタッチの登録が必要です。

- ・ワンタッチは、[1]～[9]まで9個の登録が可能です。
- ・ワンタッチは、ホーム画面からも発信可能です。
- ・ワンタッチ登録の方法は、「よく利用する連絡先のワンタッチを登録する」ページをご参照ください。



③画面上部に、該当のワンタッチ番号に登録されている番号を表示します。

④[発信]ボタンをタップすると発信します。

履歴から電話をかける

履歴から発信することができます。

「履歴」から電話をかける相手を選択し、発信する



①[履歴]をタップして、履歴画面を表示します。

②電話をかける相手の履歴をタップします。



③[発信する]をタップすると、選択した相手に発信します。

※通話履歴については、「[通話履歴から発信する](#)」ページをご参照ください。

共通電話帳から電話をかける

共通電話帳から発信することができます。
「共通電話帳」は、社員で共有して利用する電話帳です。

「電話帳」から電話をかける相手を選択し、発信する

①[電話帳]をタップして、電話帳画面を表示します。

②電話をかける相手を選択します。

③[発信する]をタップすると、発信します。



※発信の際、「発信オプション」で番号の頭に184をつける
非通知発信などを選択することも可能です。
詳細は、「[「共通電話帳」の連絡先から電話をかける](#)」ページ
をご参照ください。

連絡先から電話をかける

「連絡先」は、Android端末の連絡先です。

MOT/Phone+アプリでAndroid端末の連絡先を利用する許可が必要になります。

「連絡先」から電話をかける相手を選択し、発信する



①「電話帳」をタップして、電話帳画面を表示します。

②画面上部の[連絡先]タブをタップして、連絡先画面を表示します。

※「連絡先」を利用する場合は、あらかじめ以下の設定が必要です。

①「設定」>「標準連絡先の設定」で「標準連絡先の表示」にチェックをします。

②連絡先のアクセス許可をします。

アクセス許可をしていない場合は、[連絡先]を表示できません。

※ ①、②の詳細は、

「[Android端末の連絡先をMOT/Phone+で利用する](#)」ページをご参照ください。

③電話をかける相手を選択します。

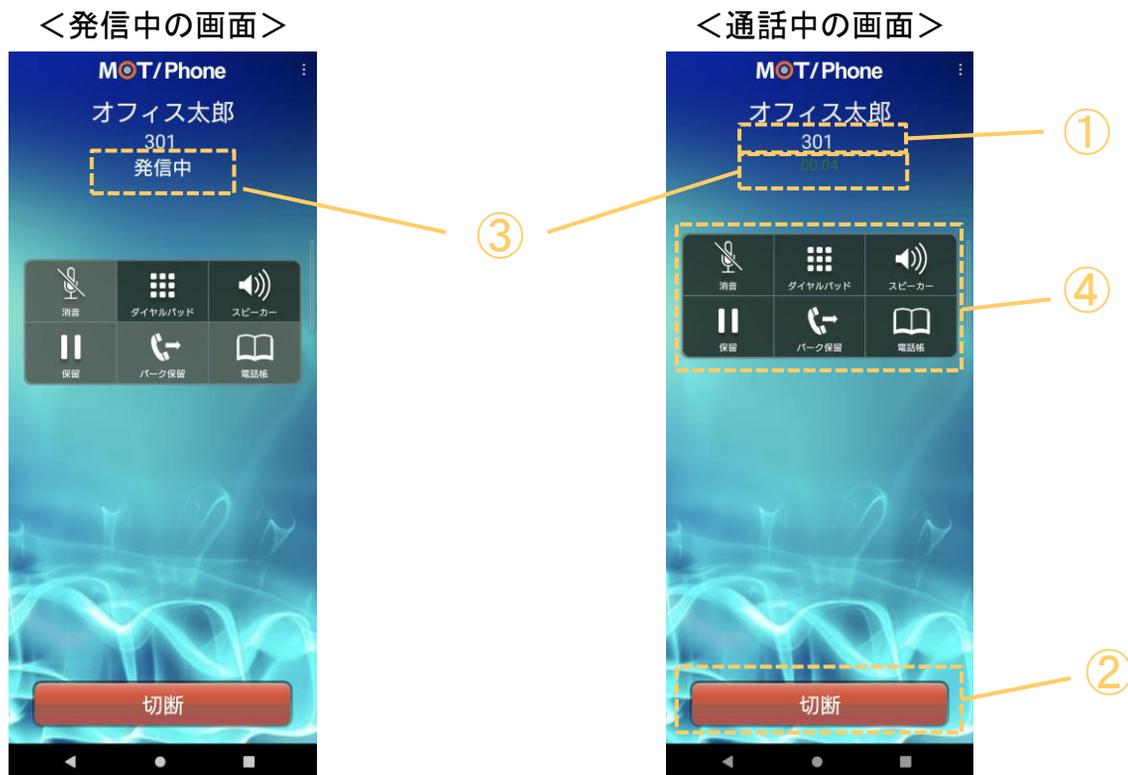


④[発信する]をタップすると、発信します。



通話中画面の説明

通話中にスピーカ、自己保留、通話履歴・電話帳の表示など操作を行う事が可能です。



	説明
①	ダイヤル先の番号を表示します。 (電話帳に登録している場合は、登録名を表示)
②	発信中に[切断]ボタンをタップすると、発信を中止します。 通話中に[切断]ボタンをタップすると、通話が終了します。
③	発信中:「発信中」と表示します。 通話中:相手が電話に応答すると、通話相手との通話時間を表示します。
④	通話中になると、以下ボタンの操作が行えるようになります。  : 送話音のミュート/解除を行います。  : 通話保留(自己保留)を行います。 ※「 保留・保留解除する 」ページをご参照ください。  : ダイヤルパッドを表示します。  : パーク保留ボタンを表示します。  : 音声をスピーカで聞きます。  : 電話帳を表示します。

発信時のステータス表示

発信時の切断画面において、相手先の状態に応じてステータスを表示します。

①発信側切断時

通話終了



②相手側が話し中の場合

通話中



③発信先の番号がない場合

相手番号なし



一時的に利用不可



プッシュ信号を送る(DTMF)

MOT/Phone+は、プッシュ信号の送信に対応しております。
通話中にダイヤルパッドをタップすることで、プッシュ信号を相手に送ることができます。

プッシュ信号を送る

<プッシュ信号(DTMF)とは>

ダイヤルを押すたびに「ピ、ポ、パ」音を発し、
音声回線での数字入力をするのに用いられているものです。
例えば、音声ガイダンスで、「発信音の後に、番号を入力してください。」「ピッ」の音のあとに入力する際に、プッシュ信号が用いられます。



①通話中にダイヤルパッドアイコンをタップすると、ダイヤルパッドが開きます。

②ダイヤルパッド上で、番号をタップします。

③Android端末の[戻る]ボタンで、元の画面に戻ります。

[切断]ボタンで、通話を切断します。

電話を受ける (Android OS10、11)

Android OS10、11の端末で着信した場合は、画面に着信通知が表示されます。通知内のボタンをタップすることで応答・拒否を行うことができます。

電話を受ける



- ①着信すると、画面上部に着信通知の画面が表示されます。
着信通知の画面には、相手の番号(+電話帳に登録がある場合は名称)を表示します。

[**応答**]ボタンをタップし、応答します。

※[**拒否**]ボタンをタップすると着信を拒否します。



- ②通話後、[**切断**]ボタンをタップし、切断します。

注意事項

着信画面の表示が正常に動作しない場合は、端末側の設定で着信通知がオフになっている可能性があるため、通知の設定をご確認ください。
※詳細は「[各機能の通知をオフにする](#)」ページをご参照ください。

電話を受ける

電話を受ける(Android OS12、13)

Android OS12、13の端末で着信した場合は、画面に着信通知が表示されます。通知内のボタンをタップすることで応答・拒否を行うことができます。

電話を受ける



- ①着信すると、画面上部に着信通知の画面が表示されます。
着信通知の画面には、相手の番号(+電話帳に登録がある場合は名称)を表示します。



- ② をタップすると、着信通知の画面を表示展開し、[拒否]ボタンと[応答]ボタンを表示します。



- ③[**応答**]ボタンをタップし、応答します。
※[拒否]ボタンをタップすると着信を拒否します。

- ④通話後、[**切断**]ボタンをタップし、切断します。

注意事項

着信画面の表示が正常に動作しない場合は、端末側の設定で着信通知がオフになっている可能性があるため、通知の設定をご確認ください。
※詳細は「[各機能の通知をオフにする](#)」ページをご参照ください。

電話を受ける(Android OS14以降)

Android OS14以降の端末で着信した場合は、画面に着信通知が表示されます。通知内のボタンをタップすることで応答・拒否を行うことができます。

電話を受ける

①



- ①着信すると、画面上部に着信通知の画面が表示されます。
着信通知の画面には、相手の番号(+電話帳に登録がある場合は名称)を表示します。

②



- ②[応答]ボタンをタップし、応答します。
※[拒否]ボタンをタップすると着信を拒否します。



- ※画面がロック状態で着信した場合は、
①の表示はなく、②の着信画面を表示します。

③

- ③通話後、[切断]ボタンをタップし、切断します。

注意事項

着信画面の表示が正常に動作しない場合は、端末側の設定で着信通知がオフになっている可能性があるため、通知の設定をご確認ください。
※詳細は「[各機能の通知をオフにする](#)」ページをご参照ください。

▶次ページへ続く

着信画面の説明

電話帳もしくはPBXのCTI機能で登録されている名称を着信時に表示します。
また、設定により自局番号を表示する事が出来ます。

<電話帳に登録されている場合>



① 電話をかけてきた相手の番号

② 電話をかけてきた相手の名称

電話番号に関連付けられた相手名称は、以下の優先度で表示します。
※事前にMOT/Phone+の電話帳画面を更新し、最新情報を表示した状態にしておいてください。

- (1)PHONE APPLIで登録されている顧客名称 ※PHONE APPLI連携利用の場合
- (2)MOT/PBXのCTI機能で登録されている顧客名称
- (3)スマートフォン本体の電話帳に登録されている名称
- (4)MOT/Phone+の共通電話帳に登録されている名称

③ 自局番号

着信番号を表示する設定を有効にしている場合、着信した自身の外線番号を表示します。「着信番号を表示する」設定方法は、
[「着信画面に、着信した自局番号を表示する」](#)ページをご参照ください。
※自局番号を電話帳に登録している場合、登録名称を表示します。

保留する

保留・保留解除する

通話中に保留することができます。保留には、自分の電話機のみで保留する「自己保留」と、他の電話機と共有できる「パーク保留」があります。

通話を保留する

転送操作を行う事により、他の方へ通話を引き継ぐ事が可能です。



①

- ①通話中に、[保留]をタップすると、保留状態となり、相手には保留音が流れます。

保留を解除する



②

- ②保留中に、[保留]をタップすると、保留を解除し、通話中に戻ります。

保留する

保留・取り次ぎ転送をする
(転送相手の内線番号をダイヤル)

通話中の会話を保留し、転送をすることができます。

通話を保留し、入力した内線番号に転送する

①



①通話中に、[保留]をタップし、保留します。

②



②[ダイヤルパッド]をタップし、ダイヤルパッドを表示します。

③



③ダイヤルパッドで、転送相手の内線番号を入力後、[転送]をタップします。

▶次ページへ続く

保留する

保留・取り次ぎ転送をする (転送相手の内線番号をダイヤル)

④



④相手が応答し、通話中の状態になると、**[転送実行]**が表示されます。

[転送実行]をタップすると、転送を実行します。

※相手が応答しなかった場合については「[取り次ぎ転送をキャンセルする](#)」ページをご参照ください。

保留する

保留・取り次ぎ転送をする
(電話帳から取り次ぎ先を参照)

通話中の会話を保留し、電話帳から転送相手を選択して転送をすることができます。

通話を保留し、電話帳から選択した内線に転送する

①



①通話中に、[保留]をタップし、保留します。

②

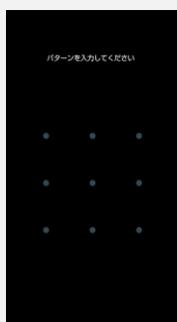


②[電話帳]をタップし、電話帳を表示します。

※ロック画面で着信を受けた通話を保留した場合

②の【電話帳】をタップ後、ロック画面が表示されます。

ロック画面を解除すると、次ページ③の電話帳画面を表示します。



▶次ページへ続く

保留する

保留・取り次ぎ転送をする (電話帳から取り次ぎ先を参照)

③



③共通電話帳の画面から、転送相手を選択します。

※「連絡先」も表示している場合は、画面上部の「共通」をタップして共通電話帳を表示してから、③の動作を行ってください。



④



④[OK]をタップします。

⑤



⑤相手が応答し、通話中の状態になると、**[転送実行]**が表示されます。

[転送実行]をタップすると、転送を実行します。

※相手が応答しなかった場合については「[取り次ぎ転送をキャンセルする](#)」ページをご参照ください。

保留する

保留・取り次ぎ転送をする
(通話履歴から取り次ぎ先を参照)

通話中の会話を保留し、通話履歴から転送相手を選択して転送をすることができます。

通話を保留し、通話履歴から選択した内線に転送する

①



①通話中に、[保留]をタップし、保留します。

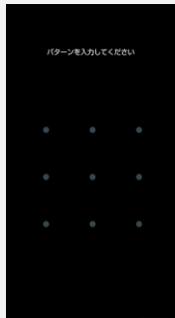
②



②画面右上  をタップし、表示するメニューから「履歴」を選択します。

※ロック画面で着信を受けた通話を保留した場合

②の【通話履歴】をタップ後、ロック画面が表示されます。
ロック画面を解除すると、次ページ③の履歴画面を表示します。



次ページ③の
履歴画面へ

▶次ページへ続く

保留・取り次ぎ転送をする (通話履歴から取り次ぎ先を参照)

保留する



③通話履歴の画面から、転送相手を選択します。



④[OK]をタップします。



⑤相手が応答し、通話中の状態になると、**[転送実行]**が表示されます。

[転送実行]をタップすると、転送を実行します。

※相手が応答しなかった場合については「[取り次ぎ転送をキャンセルする](#)」ページをご参照ください。

取り次ぎ転送をキャンセルする

転送相手が電話に出ない場合など、転送を実行せず通話に戻ります。

転送を実行しない



- ①通話を保留後、ダイヤルパッド画面で転送相手の内線番号を入力し、**[転送]**をタップして転送相手を呼び出します。

※電話帳、通話履歴から転送する際は、転送する相手を選択し、呼び出します。



- ②転送相手が応答しなかった場合は、**[転送停止]**をタップして、④の保留中の画面に戻ります。



- ③相手が応答した場合、表示する2つのボタンから動作を選択することができます。
- ・**[転送実行]**をタップすると転送を実行します。
 - ・**[転送停止]**をタップすると転送を実行せず、④の保留中の画面に戻ります。



- ④**[保留]**をタップすると、保留を解除し、通話中の状態に戻ります。

保留する

パーク保留・取り次ぎ転送をする

通話中の会話をパーク保留し、転送することができます。
パーク保留とは、複数の電話機で保留ボタンを共有できる機能です。

通話をパーク保留する



①通話中に、[パーク保留]をタップします。



②画面下部にパーク保留ボタン(1~6のボタン)が現れます。
(もう一度、[パーク保留]をタップすると元の画面に戻ります)
1~6の空いているパーク保留ボタンをタップし、そのボタンに保留します。
保留状態になったボタンは、オレンジに点灯します。
通話相手には保留音が聞こえている状態です。



③ダイヤル画面に戻ります。
パーク保留状態になると、ダイヤル画面下部に[パーク]ボタンが表示されます。
パーク保留状態で、取り次ぎたい相手に上項②でタップしたパーク保留ボタンの番号(1~6)を伝えます。

▶次ページへ続く

パーク保留・取り次ぎ転送をする

通話中の会話をパーク保留し、転送することができます。
パーク保留とは、複数の電話機で保留ボタンを共有できる機能です。

パーク保留に応答する（パーク保留の電話を取る方法）

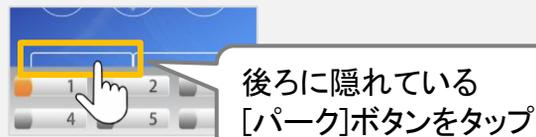


- ①ダイヤル画面下部に表示されている
[パーク]ボタンをタップします。



- ②画面下部にパーク保留ボタン（1～6のボタン）が
現れます。
オレンジのランプが点灯しているパーク保留ボ
タン（伝えられたパーク保留ボタン1～6）をタップ
します。

※1～6のパーク保留ボタンを選択せず、元の画面に
戻す場合は、もう一度、[パーク保留]をタップします。



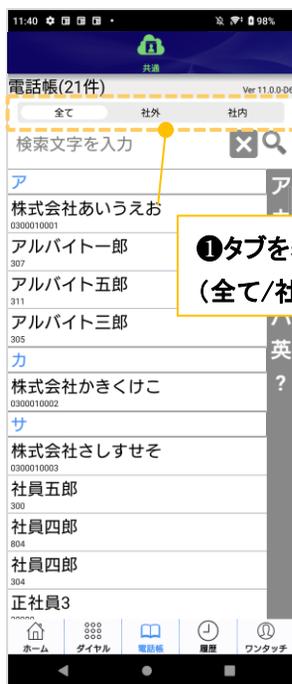
- ③パーク保留中の相手との通話を開始します。

社員で共有
できる電話帳

「共通電話帳」画面の説明

電話帳画面では、「電話帳の設定」で選択した「PBX電話帳」「MOT/HG電話帳」どちらかの電話帳情報を表示します。
ここでは、2つの電話帳の画面差異について説明いたします。

「電話帳」をタップ > [電話帳]画面



< MOT/HG電話帳 >



< PBX電話帳 >

① MOT/HG電話帳の場合、3つのタブで表示を切り替えることができます。
(PBX電話帳の場合、タブ表示はありません)

タブ	説明
全て	電話帳を全て表示します。
社外	MOT/HGの電話帳で、「社外」区分として登録しているものと、「FAX」区分で登録している連絡先は、「社外」として表示します。
社内	MOT/HGの電話帳で、「社内」区分として登録しているもののみ表示します。



 社内の内線番号を登録する場合は「内線」、取引先などお客様の連絡先を登録する場合は「外線」、のように分けて登録すると、「社内」「社外」タブで切り替えて表示することができ、便利に利用することができます。

社員で共有
できる電話帳

「共通電話帳」を手動で更新する

共通電話帳の自動更新をしていない、または自動更新時間を待たずに、端末側に編集内容を更新をしたい場合は、その都度手動で更新してください。

「電話帳」 > [電話帳]タブ

①



①画面下部の「電話帳」をタップして、共通電話帳画面を表示します。

②



②共通電話帳画面を下方方向に引っ張り(Pull-to-Refresh)、指を離すと、指を離すと、更新処理が実行されます。

更新処理後、最新の情報を表示します。

※電話帳の件数が多い場合、更新処理に数分かかる場合がございます。

※または、電話帳画面右上の☰をタップし、メニューから「一覧更新」をタップすると、上記と同様の更新処理が行えます。



「共通電話帳」を自動で更新する

共通電話帳の自動取得設定を行うことで、MOT/PBXやMOT/HGの共通電話帳の情報を自動的に更新します。

「設定」> 電話帳の設定 > 電話帳の選択 > 自動更新

①



①[自動更新] にチェックをつけると、電話帳の情報を自動的に取得し、共通電話帳の画面に反映します。

※自動更新の処理は、1日に1回行います。

注意事項

- MOT/PBX電話帳を自動更新する際、プライマリアカウントで接続しているMOT/PBXの電話帳データを更新します。セカンダリのアカウントが接続されているMOT/PBXのデータを更新したい場合は、手動での更新、もしくはプライマリとセカンダリのアカウントの設定を入れ替えてご利用ください。
- アプリを完全に終了している場合、自動更新機能が正常に動作しない場合がございます。

「共通電話帳」で連絡先を検索する

電話帳画面の[共通電話帳]メニューを選択すると、共通電話帳の一覧を表示します。

「共通電話帳」から、連絡先を検索する



①連絡先一覧

共通電話帳に登録した連絡先一覧を表示します。
連絡先はフリガナの順に並べられます。
フリガナのない連絡先は末尾にまとめて配置します。

②索引

選択した索引の文字で始まる連絡先の先頭まで一覧を自動的にスクロールします。

③連絡先の検索項目

連絡先の電話番号、名前、フリガナ、メモ欄の情報で検索し、表示する連絡先を絞り込みます。
検索文字を入力して検索ボタン  を押すと、一致する情報を持つ連絡先のみを表示します。

社員で共有
できる電話帳

「共通電話帳」の連絡先から 電話をかける

連絡先を選択することで、連絡先の電話番号に対して発信を行います。

「共通電話帳」から、連絡先を選択し、電話をかける

①



①「共通電話帳」画面から、電話をかける相手の連絡先を選択します。

②



②[OK]をタップすると、発信します。

※プレフィックス発信をする場合は、以下の動作を行ってから、[OK]をタップしてください。

プレフィックス発信をする

※番号の先頭に(184)、(186)どちらかをつけて発信する「プレフィックス発信」を行う場合は、「発信オプション」をタップし、(184)、(186)から選択後、[OK]をタップして発信します。



①番号非通知発信(184)

184を付けて発信します。元番号が184付きの場合はそのまま発信します。
元番号が186付きの場合はそれを削除し、184を付与して発信します。

②番号通知発信(186)

186を付けて発信します。元番号が186付きの場合はそのまま発信します。
元番号が184付きの場合はそれを削除し、186を付与して発信します。

①

②



▶次ページへ続く

社員で共有
できる電話帳

「共通電話帳」の連絡先から 電話をかける

発番号を選択して発信する

※「[発番号選択設定](#)」にて、発番号を複数登録している場合のみ、[発信する]をタップ後、「発信番号を選択」画面が表示されます。
相手に発信する番号をタップして発信します。



相手に表示する
発番号を選択

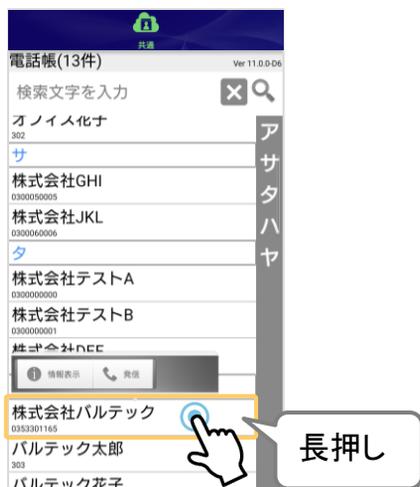
社員で共有
できる電話帳

「共通電話帳」の連絡先情報を表示する

連絡先を長押しすると、メニューがポップアップし、連絡先の情報を表示します。

「共通電話帳」に登録されている連絡先の情報を表示する

①



①「共通電話帳」画面で、情報を確認する**連絡先**を**長押し**してメニューをポップアップ表示します。



②



②メニューから、「**情報表示**」を選択します。

③



③「情報表示」画面を表示します。

①**電話番号を長押し**すると、詳細情報を表示します。

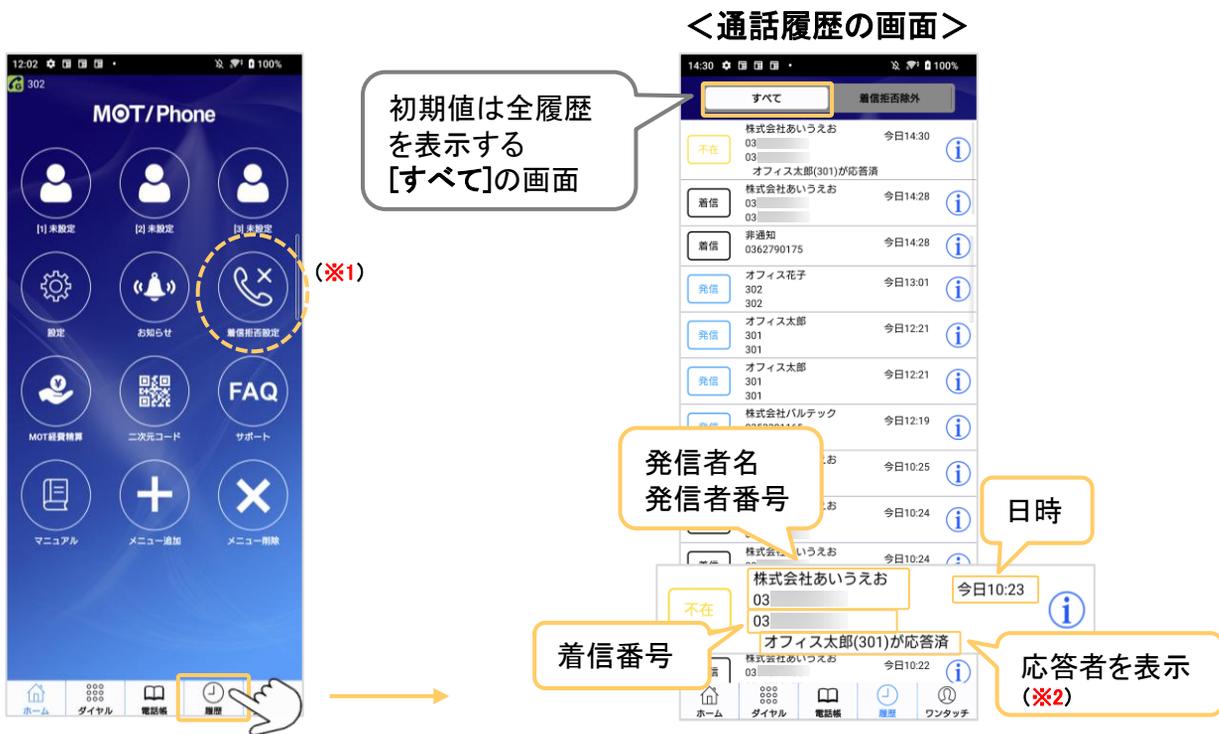


②電話番号の右にあるメモの絵をタップすると、コピーすることができます。



通話履歴画面の説明

画面下部の[履歴]をタップすることで、通話履歴の画面を表示します。



発信	発信履歴を表示します。
着信	着信履歴を表示します。
不在	不在着信履歴を表示します。
拒否	<p>「着信拒否を履歴に残す」をオンにしている場合、以下の着信拒否履歴を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「着信拒否の処理:端末で処理」の場合で、ホーム画面の「着信拒否設定」(※1)で設定している先からの着信を拒否、または「ワンタッチボタンの着信拒否」の履歴を表示します。 ・特定番号からの着信拒否の履歴を表示します。 <p>※着信時に[拒否]ボタン押下での着信拒否、「着信拒否の処理:PBXで処理」の場合で、ホーム画面の「着信拒否設定」(※1)で設定している先からの着信拒否は、履歴に表示されません。</p>

- ・ 通話履歴の最大表示件数は500件です。
- ・ 発信者が番号を通知していない着信は、「非通知」と表示されます。
- ・ グループ着信の場合、他の内線が応答したときは、「XXXが応答済」と表示されます(※2)。
※通信状態によって、「XXXが応答済」が表示されない場合がございます。
- ・ 電話番号が連絡先や共通電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。

※保留転送を利用した場合、転送先への発信履歴は残りません。

※アプリを初期化しても通話履歴は残ります。履歴も削除したい場合は「設定」>「通話履歴設定」>「[通話履歴全削除](#)」にて削除を行ってください。

▶次ページへ続く

通話履歴画面の説明

画面下部の[履歴]をタップすることで、通話履歴の画面を表示します。

履歴画面 > [着信拒否除外]画面

着信拒否した番号を表示したくない場合は、履歴画面の[着信拒否除外]を選択すると、着信拒否履歴を除外した履歴画面を表示します。



履歴画面の更新

履歴画面を下方方向に引っ張る(Pull-to-Restore)と、最新の情報に更新します。



通話履歴から発信する

履歴から、電話をかけることができます。
履歴画面は、画面下部の[履歴] をタップして開きます。

履歴画面



①「履歴」画面で、発信する連絡先を選択してタップすると、発信ダイアログを表示します。



②[発信する]をタップすると、発信します。

※プレフィックス発信をする場合は、以下の動作を行ってから、[発信する]をタップしてください。

プレフィックス発信をする

※番号の先頭に(184)、(186)どちらかを付けて発信する「プレフィックス発信」を行う場合は、「発信オプション」をタップし、(184)、(186)から選択後、[OK]をタップして発信します。



①番号非通知発信(184)

184を付けて発信します。元番号が184付きの場合はそのまま発信します。
元番号が186付きの場合はそれを削除し、184を付与して発信します。

②番号通知発信(186)

186を付けて発信します。元番号が186付きの場合はそのまま発信します。
元番号が184付きの場合はそれを削除し、186を付与して発信します。



▶次ページへ続く

通話履歴から発信する

発信番号を選択して発信する

※「**発信番号選択設定**」にて、発信番号を複数登録している場合のみ、[発信する]をタップ後、「**発信番号を選択**」画面が表示されます。
相手に発信する番号をタップして発信します。



相手に表示する
発信番号を選択

通話履歴のメニュー説明

履歴を長押しすると、メニューがポップアップします。

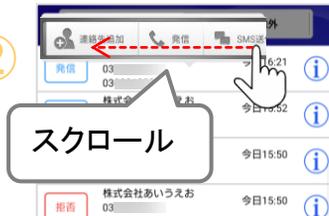
履歴画面

①



①情報を確認したい**連絡先を長押し**して、メニューをポップアップ表示します。

②



②ポップアップメニューは、横にスクロールすると、全メニューの確認が可能です。



メニュー名	説明
①連絡先表示/ 連絡先追加	■電話帳>「連絡先」に登録がある場合、「連絡先表示」連絡先の情報(名前・フリガナ・電話番号)を表示します。
	■電話帳>「連絡先」に登録がない場合、「連絡先追加」Android端末の「連絡先」に新規登録/既存連絡先を修正、どちらかが行えます。
②発信	発信画面を表示します。
③SMS発信	番号が携帯電話番号として連絡先に登録されている場合に表示します。SMSを送信するためのアプリを起動します。
④削除	指定のログ、または同じ番号との通話履歴を全削除します。
⑤電話番号コピー	クリップボードにコピーします。

通話履歴を削除する

履歴を指定して削除することができます。
その際に、同じ番号との通話履歴をすべて削除することもできます。

履歴画面 > 削除

①



①情報を確認したい**連絡先を長押し**して、メニューをポップアップ表示し、メニューから**[削除]**を選択します。



②



②**[削除]**をタップすると、該当の履歴を削除します。

※「同一番号の通話履歴を全削除」にチェックをつけて、**[削除]**をタップした場合、番号と通話種別が一致する全ての履歴を削除します。

※すべての履歴を一括で削除したい場合は、
次ページの「[履歴をすべて削除する](#)」をご参照ください。

通話履歴をすべて削除する

表示中の通話種別の履歴をすべて削除します。

「設定」> 通話履歴設定 > 通話履歴全削除

①



①設定画面で、「**通話履歴設定**」を選択します。

②



②「**通話履歴全削除**」を選択します。

③



③[OK]をタップし、履歴を全削除します。

内線通話の履歴のみを表示する

履歴画面に、内線番号の履歴のみを表示することができます。

「設定」> 通話履歴設定 > 内線履歴のみ表示



①「**内線履歴のみ表示**」にチェックをします。

②「**内線番号桁数**」に、内線番号として判断する番号の桁数を入力します。
「内線履歴のみ表示」する設定にした場合、本項目で設定した桁数以下の数値を「内線番号」として認識し、履歴画面に表示します。



③画面右上の  から「**アプリ終了**」を選択してアプリを終了後、再起動します。



③画面下部の[履歴]をタップし、履歴画面を表示すると、設定した桁数以下の番号を内線番号として判断し、その履歴のみ表示します。

着信拒否設定

着信拒否の処理を選択する

着信拒否の処理を、「PBXで処理」「端末で処理」どちらで行うか選択します。

「設定」> 着信動作設定 > 着信拒否設定 > 着信拒否の処理

①



①「**着信拒否の処理**」をタップし、着信拒否の処理をどちらで行うか選択します。選択によって、表示する着信拒否設定メニューが異なるため、利用する機能に応じて選択してください。

■「**PBXで処理**」を選択すると、以下設定が行えます。

- ・自動解除設定
- ・着信拒否設定(すべて/内線/外線/非通知を拒否)

※「**PBXで処理**」は、MOT/PBX(v6.12.0以降)で利用可能です。

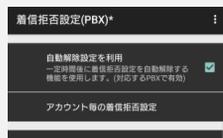
■「**端末で処理**」を選択すると、以下設定が行えます。

- ・アカウント毎の外線着信拒否設定
- ・着信を受け付けない(発信専用)
- ・非通知拒否

※「着信拒否の処理」で選択を変更した場合、設定済の着信拒否設定は初期化されます。

■「**PBXで処理**」を選択した場合

「**着信拒否設定(PBX)**」メニューを表示



■「**端末で処理**」を選択した場合

「**着信拒否設定(端末)**」メニューを表示



着信拒否の設定を行う

※「[着信拒否の処理](#)」で、「PBXで処理」を選択している場合に利用可能です。
すべて拒否、内線拒否、外線拒否、非通知拒否の設定が行えます。
端末ごとに、手動で着信拒否の設定を行う場合に、本機能をご利用ください。

ホーム画面の「着信拒否設定」

①



①ホーム画面の「着信拒否設定」をタップし、
着信拒否設定の画面を表示します。

※設定＞着信動作設定＞着信拒否設定＞
＞着信拒否設定(PBX)＞「[アカウント毎の着信拒否設定](#)」
を選択した場合も、同じ画面を表示することができます。



②

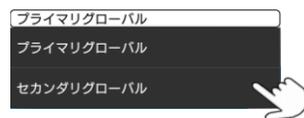


②拒否する対象の着信にチェックをします。

- ・すべて拒否 (この場合、発信専用になります)
- ・内線を拒否
- ・外線を拒否
- ・非通知を拒否

※**アカウント項目**・・・着信拒否設定の対象アカウントを表示します。
アカウントを併用利用している場合は、各アカウントに対して設定が必要です。

- ①ローカルアカウント/グローバルアカウントを併用利用している場合、
そのとき有効になっているアカウントに自動的に切り替わります。
有効になっているタイミングで、各アカウントへ設定を行ってください。
- ②プライマリ/セカンダリアカウントを併用利用している場合、
着信拒否設定の対象となるアカウントを手動で切り替えて、
各アカウントへ設定を行ってください。



▶次ページへ続く

着信拒否の設定を行う

③



③チェック後、自動で「着信拒否設定」への発信画面を開きます。

これで、着信拒否の設定は完了です。

着信拒否設定を確認する

②



①設定後に、「着信拒否設定」画面を表示し、チェックがついているかご確認ください。チェックがついていたら、着信拒否の設定は正常に行われています。

- 本設定で着信拒否した場合、履歴タブに着信履歴は残りません。
- 「外線のみ拒否」と「非通知のみ拒否」の両方にチェックするなど、複数選択も可能です。

②画面左上の ← で、ホーム画面に戻ることができます。

▶次ページへ続く

着信拒否の設定を行う

着信拒否設定を解除する



「着信拒否設定」画面を表示し、チェックを外してください。

チェックを外すと、着信拒否設定を解除する発信画面が開き、設定解除およびチェックが外れます。

チェックを
外す

注意事項

※「着信拒否設定」の画面を表示した際に、ネットワーク接続が不安定などの問題で、PBXから現在の設定情報が正しく取得できない場合に、以下のようなメッセージが表示されます。

この場合、画面上に表示したチェック有無の状態が、正しくない可能性がありますので、この画面での設定は行わず、画面を一旦閉じて、ネットワーク接続が安定した環境で開き直したうえで、改めて設定を行ってください。



チェック有無の状態が、
正しくない可能性があります

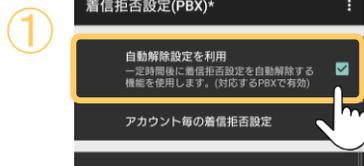
着信拒否設定
「PBXで処理」着信拒否の自動解除設定メニューを
表示する

※「[着信拒否の処理](#)」で、「PBXで処理」を選択している場合に利用可能です。
着信拒否の自動解除設定が行える設定メニューを表示することができます。

設定 > 電話設定 > 4.着信動作設定 > 着信拒否設定 > 着信拒否設定 (PBX)
> 自動解除設定を利用

「[自動解除設定を利用](#)」を有効にすることで、以下が利用可能となります。

- ① [着信拒否設定を一定時間後に自動解除する設定を行う](#)
設定した着信拒否の解除時間をタイマーで設定することができます。
- ② [着信拒否時間の設定を変更する](#)
MOT/PBXのユーザ画面で設定した着信拒否時間を、スマートフォン端末側で設定変更することができます。



①「[自動解除設定を利用](#)」にチェックをつけます。

※本機能は、MOT/PBX(v6.12.0以降)で利用可能です。

「着信拒否設定」画面



「自動解除設定を利用」にチェックをつけると、「着信拒否設定」の画面に、左図の設定メニューが表示されます。

- ①着信拒否設定の「[自動解除](#)」項目
- ②着信拒否時間の設定変更をする
[[着信拒否詳細設定](#)]ボタン

着信拒否設定
「PBXで処理」着信拒否設定を一定時間後に
自動解除する設定を行う

※「[着信拒否の処理](#)」で、「PBXで処理」を選択している場合に利用可能です。
着信拒否設定の自動解除時間を設定することができます。

着信拒否設定を自動解除する

着信拒否を設定する際、自動解除の時間を設定することができます。
会議や移動中など、一定の時間を着信拒否の状態にする際、自動解除時間を設定することで、
解除忘れを防ぐことができます。

設定 > 着信動作設定 > 着信拒否設定 > 着信拒否設定 (PBX) > 「[自動解除設定を利用](#)」に
チェックをつけている場合、本機能の利用が可能です。

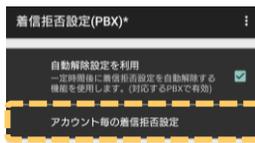
※本機能は、MOT/PBX (v6.12.0以降) で利用可能です。

①



① ホーム画面の「着信拒否設定」をタップします。

※設定 > 着信動作設定 > 着信拒否設定
> 着信拒否設定 (PBX) > 「[アカウント毎の着信拒否設定](#)」
を選択した場合も、同じ画面を表示することができます。



②



② 「[自動解除](#)」項目で、時間をタップし、
着信拒否の設定を自動解除する時間を選択します。

■ 指定なし

自動解除設定は無効の状態です。

■ 30分～720分後

自動解除する時間帯を設定します。

30分から720分まで、30分間隔で設定が可能です。

選択した時間が経過したら、自動で着信拒否設定が
解除されます。

▶ 次ページへ続く

着信拒否設定を一定時間後に
自動解除する設定を行う

自動解除する時間を設定後、着信拒否の対象を選択します。



③着信拒否の対象をチェックします。

チェック後、自動で「着信拒否設定」への発信画面が開きます。

これで、着信拒否の自動解除設定は完了です。

※②と③の図の設定の場合、「60分後」に、「すべて拒否」の着信拒否設定を自動で解除します。

自動解除の設定を取り消す

💡 会議が予想より早く終わったなどで、自動解除の設定を外して着信を受けられる状態に手動で戻したい場合は、**自動解除「指定なし」を選択した状態で着信拒否対象のチェックを外してください。**

※自動解除時間が設定されている状態でチェックを外すと、設定時間経過後に着信拒否状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

注意事項

※自動解除設定は、複数の着信拒否設定をしている場合、すべての着信拒否設定を対象とします（特定番号の拒否設定、着信拒否時間の設定は除く）。

※自動解除設定の反映タイミングは以下です。

- ・着信拒否の開始: 即時反映
- ・着信拒否の自動解除: **5分間隔**で処理が行われます。

例) 11:32に、「30分後」に着信拒否を解除する設定を行った場合、
11:32から着信拒否が開始、「12:05」に自動解除します。

※自動解除の設定は、「着信拒否設定を自動解除する時間を選択」→「着信拒否を設定(チェック)」の順番で行ってください。**順番が逆の場合は動作しませんのでご注意ください。**

※自動解除の設定を不要とする、通常の着信拒否設定を行う場合は、

自動解除が「指定なし」になっていることをご確認のうえ、着信拒否設定を行ってください。

着信拒否設定
「PBXで処理」

着信拒否時間の設定を変更する

※「[着信拒否の処理](#)」で、「PBXで処理」を選択している場合に利用可能です。
着信拒否時間の設定を変更することができます。

着信を拒否する時間を変更する

MOT/PBXのユーザ画面側で、内線ごとに着信可能な曜日や時間帯の設定が行えますが、アプリ側でも、その設定を変更することができます。

※本機能は、MOT/PBXのユーザ画面側にある「[着信拒否時間の設定](#)」>「[アプリからの設定変更を許可](#)」を有効にしている場合に限り、利用可能です。
詳細は、別紙の「[MOT/PBXユーザ画面マニュアル](#)」を参照してください。

設定 > 着信動作設定 > 着信拒否設定 > 着信拒否設定 (PBX) > 「[自動解除設定を利用](#)」にチェックをつけている場合、本機能の利用が可能です。

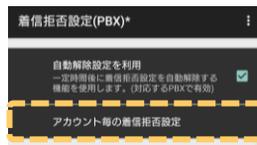
※本機能は、MOT/PBX(v6.12.0以降)で利用可能です。

①



①ホーム画面の「着信拒否設定」をタップします。

※設定 > 着信動作設定 > 着信拒否設定
> 着信拒否設定 (PBX) > 「[アカウント毎の着信拒否設定](#)」
を選択した場合も、同じ画面を表示することができます。



②

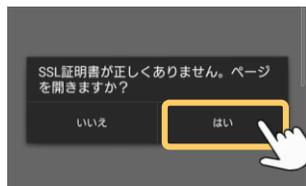


②[[着信拒否詳細設定](#)]ボタンをタップします。

▶次ページへ続く

着信拒否時間の設定を変更する

※初回のみ、
下記の画面が表示されます。



「はい」をタップ

③



③「着信拒否時間の設定」画面を表示します。
着信可能とする時間帯や曜日を設定し、[変更]を
タップします。

■「着信拒否時間の設定」画面の詳細

項目	説明
現在の設定	<p>■有効 本機能を利用する場合に選択します。 「着信可能時間」「曜日」で設定した曜日の時間帯に着信します。 ※設定を有効にした場合、設定後に訪れる着信可能時間の「開始時間」または「終了時間」のタイミングで、設定が適用されます。</p> <p>■無効 本機能を利用しない場合に選択します。 設定した「着信可能時間」「曜日」は無効とし、通常通り着信します。 ※ただし、「時間内着信拒否」項目は、「無効」の対象外です。 有効/無効に関わらず、チェックがある場合は、対象の着信を拒否します。 ※設定を無効に切り替えた場合、処理は5分単位の間隔で処理が行われます。 (例:*時5分、10分、15分・・・55分) 即時反映ではございませんのでご注意ください。</p>
着信可能時間	<p>着信を可能とする時間帯を選択してください。 ※日を跨ぐ設定は行えません。開始時間 < 終了時間となるように設定してください。</p>
曜日	<p>着信を可能とする曜日を選択してください。</p>
時間内着信拒否	<p>「着信可能時間」、「曜日」項目で設定した着信可能時間内で、着信を拒否したい対象がある場合に選択してください。 例)「月～金曜日」の「09:00～18:00」を着信可能時間とするが、その着信可能時間の間、 「外線着信は 受けないようにしたい」場合 ⇒「外線」にチェックを付けます。 ※本項目は、「現在の設定」項目の有効/無効は対象外です。無効の場合でも、「時間内着信拒否」でチェックをつけている対象の着信を拒否します。</p>

▶次ページへ続く

着信拒否時間の設定を変更する

④



- ④[変更]をタップ後、
「保存しました」のメッセージ表示で、設定完了です。

※着信拒否時間になると、
「着信拒否設定」画面で自動でチェックがつきます。



注意事項

※前提条件として、本機能が未設定の場合は、通常通り、すべての時間帯に着信します。
本機能で設定した場合は、「曜日」「着信可能時間」で設定した着信可能時間外は、すべての着信を受け付けない「着信拒否時間」となります。

※本機能と、「[着信拒否設定を一定時間後に自動解除する設定](#)」を併用して利用する場合、自動解除設定が優先されます。

例)本機能の着信可能時間が「09:00-17:30」の場合

■パターン1: 着信可能時間内に解除時間を設定

- ①10:00に、「60分後に着信拒否解除」の設定をする。
- ②10:00-11:00の間は着信拒否をし、それ以外の「09:00-17:30」の時間は着信を受けます。

■パターン2: 解除時間が、着信可能時間の開始/終了時間を跨ぐ

- ①17:00に、「60分後に着信拒否解除」の設定をする。
- ②17:00-18:00の間は着信拒否をし、それ以降の時間に着信拒否を開始します。

※本機能と、「[着信拒否の設定を行う](#)」(自動解除を「指定なし」で利用する場合)を併用して利用する場合、本機能の着信可能時間の終了時間まで、設定が有効となります。

例)本機能の着信可能時間が「09:00-17:30」、時間内着信拒否が「非通知拒否」の場合、

- ①「着信拒否の設定」にて自動解除「指定なし」の状態ですべての着信拒否にチェックをつける
- ②-17:30までは「外線を拒否」と、時間内着信拒否の「非通知拒否」が有効な状態です。17:30以降は着信可能時間外となり、すべての着信を拒否します。

着信拒否設定 「端末で処理」

着信拒否の設定を行う

※「[着信拒否の処理](#)」で、「[端末で処理](#)」を選択している場合に利用可能です。
着信拒否の設定を、以下の手順で設定することができます。



設定 > .着信動作設定 > 着信拒否設定 > 着信拒否設定(端末)



「着信拒否設定(端末)」メニューでは、以下の着信拒否設定が行えます。

- ・外線着信を拒否
- ・全ての着信を拒否
- ・非通知のみ着信を拒否

いずれかの着信拒否の設定を行うことができます。

外線着信を拒否する

①



①外線からの着信を拒否するアカウントにチェックをします。

全アカウントで外線からの着信を拒否したい場合は、全ての項目にチェックをします。

チェックをつける/外して、設定変更した場合はアプリを再起動してください。

※ワンタッチ機能からもアカウント毎の外線着信拒否設定ができます。

「[外線着信拒否設定](#)」のワンタッチ登録ページをご参照ください。

※ホーム画面の「着信拒否設定」でも、同じ設定が行えます。



▶次ページへ続く

着信拒否設定
「端末で処理」

着信拒否の設定を行う

全ての着信を拒否する

②



- ②「**着信を受付けない(発信専用)**」にチェックをつけると、全ての着信を受け付けない状態(発信専用モード)になります。
チェックをつける/外して、設定変更した場合はアプリを再起動してください。

発信専用モードの動作

- 発信専用モード中に着信が来た場合、プッシュ着信利用時は着信拒否履歴として保存されます。
- 着信を受け付けない状態にすることで、着信に必要な状態を維持する必要が無いため、消費電力量を抑えることが可能です。



画面上部に着信拒否アイコンが表示されたことをご確認ください。

※隠れて表示されない場合は、通知をご確認ください。

- 発信専用モードのオン/オフ切り替えは、ワンタッチキーへ登録してご利用頂く事が出来ます。
「[着信拒否設定](#)」の[ワンタッチ登録](#)ページをご参照ください。
- 発信専用モードでご利用の際は、「[着信拒否を履歴に残す](#)」をオンにしないと着信拒否の履歴が残りません。

非通知着信を拒否する

③



- ③「**非通知拒否**」にチェックをつけると、非通知番号からの着信を拒否する状態になります。
チェックをつける/外して、設定変更した場合はアプリを再起動してください。

特定番号の着信を拒否する設定を行う

特定の番号からの着信や、指定した自局番号への着信を拒否することができます。

「設定」> 着信動作設定 > 着信拒否設定 > 特定の番号からの着信拒否設定

※本メニューは、「[着信拒否の処理](#)」で、「PBXで処理」「端末で処理」どちらを選択していても利用可能な共通メニューです。

①



①「拒否対象1」～「拒否対象9」の各項目に、最大9個まで着信拒否先の登録が行えます。

項目名	説明
①拒否対象 (1～9)	拒否対象を、以下2つから選択します。 ・発信者番号(相手番号)、 ・着信自局番号(外線番号)、
②拒否する番号 (1～9)	拒否対象の番号を入力します。

以下、3通りの拒否設定が行えます。

■ 指定した相手からの着信を拒否する

- ①「拒否対象」で「**発信者番号(相手番号)**」を選択し、
- ②「拒否する番号」に**着信拒否したい相手番号**を入力します。

■ 指定した自身の内線グループからの着信を拒否する

- ①「拒否対象」で「**発信者番号(相手番号)**」を選択し、
- ②「拒否する番号」に**着信拒否したい内線グループ番号**を入力します。

例) 受付の電話を受けるグループに属しているが、受付からの電話は受けたくない場合、その内線グループを入力する

■ 指定した自身の着信番号への着信を拒否する

- ①「拒否対象」で「**着信自局番号(外線番号)**」を選択し、
- ②「拒否する番号」に**着信拒否したい自局外線番号**を入力します。

<拒否設定画面>



①どちらか選択



②拒否番号を入力

音量を調整する

送受話音量の変更、MOT/Phone+利用時のバイブ設定が可能です。

「設定」> 音量



- ① 音量を調整する画面を表示します。
変更したい音量のスライダーバーを調整し、適切な音量を設定します。

音量調整について

MOT/Phone+は、以下の音量調整が可能です。

1. 送話音量の変更 -12dbから±16dbの範囲で調整します。
2. 受話音量の変更 0.0～10.0の範囲で調整します。
3. 受話音量の変更 通話中に本体音量調整ボタンで±16dbの範囲で調整します。

※通話中の音量調整は、画面が黒くなっている状態では動作しないため、装置近接センサーが作動していない状態でご利用ください。

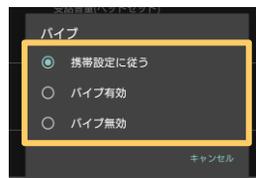
送話音量設定の注意事項

送話音量(マイク)を大きくすると音割れやエコーの原因となる場合がありますのでご注意ください。

「設定」> 音量 > バイブ



- ② 端末で設定しているバイブ動作とは別のバイブ動作をしたい場合に変更します。



バイブ設定の注意事項

端末、OSによっては、「携帯設定に従う」「バイブ有効」を選択している場合でも、スリープ時に着信すると、バイブが鳴動しないことがあります。

画面テーマを選択する

MOT/Phone+アプリのホーム画面は、種類を選択することができます。

「設定」> 表示設定 > 画面テーマ選択



画面テーマの初期値は[新レイアウト]です。
初期値のまま[新レイアウト]をご利用ください。

※[旧レイアウト]、[スマートメニュー]は、v11.0.0以降、以降、機能追加・不具合修正の対応を行いません。そのため、初期値の[新レイアウト]をそのままご利用ください。

<画面イメージ>

[新レイアウト]



[旧レイアウト]



[スマートメニュー]



注意事項

v11.0.0以降、「旧レイアウト」と「スマートメニュー」は機能追加・不具合修正の対応を行いません。そのため、「旧レイアウト」と「スマートメニュー」をご利用の方は、「新レイアウト」への変更をお願いいたします。

ホーム画面の説明

MOT/Phone+を起動した際のホーム画面の説明です。

■ダイアル画面



メニュー名	説明
①設定	MOT/Phone+アプリの設定画面を表示します。
②お知らせ	弊社のお知らせサイトへ移動します。 詳細は、「 新着お知らせ通知機能 」ページをご参照ください。
③よくあるお問合わせ	弊社FAQサイトへ移動します。
④マニュアル	弊社マニュアルサイトへ移動します。
⑤着信拒否設定	着信拒否の設定画面を表示します。 詳細は、「 着信拒否の設定を行う 」ページをご参照ください。
⑥未登録	初期で3つのワンタッチ用のボタンが表示されています。 ワンタッチの登録 を行うことで、未登録ボタンに割り付けられます。
⑦メニュー追加 メニュー削除	各サービスのメニューボタンを、ホーム画面へ表示/非表示にする設定が行えます。 詳細は、「 ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する 」ページをご参照ください。

▶次ページへ続く

ホーム画面の説明

MOT/Phone+を起動した際のホーム画面の説明です。



⑧ホーム画面下部メニュー

メニュー名	説明
ホーム	ホーム画面を表示します。
ダイヤル	番号をダイヤルする ダイヤル画面 を表示します。
電話帳	電話帳の画面を表示します。
履歴	履歴の画面 を表示します。
ワンタッチ	ワンタッチの登録が行える画面 を表示します。

ホーム画面のメニューボタンを 追加/削除する

ホーム画面

ホーム画面に表示する各サービスのメニューボタンを選択することができます。



以下の各サービスメニューのボタンをホーム画面に表示/非表示にする設定が行えます。

■各サービス

メニュー名	説明
出退勤 ※2	別サービス「MOT勤怠管理」の打刻画面を表示します。
MOT/HG ※2	別サービス「MOT/HG」画面を表示します。
スケジュール ※2	別サービス「MOT/HG」(MOT/Cloud)の「スケジュール」画面を表示します。
MOT/Cha ※3	「MOT/Cha」画面を表示します。
MOT名刺	別アプリ「MOT名刺」を起動します。 ※MOT名刺アプリをインストールする必要があります。
スマートロック	別途、設定したドア情報を表示します。
エントランス解錠	別途、設定した解錠対象を表示します。
外部URL設定 ※1	設定した外部サイトURLを表示します。 ※ <u>「外部URL設定」が未設定の場合、メニュー名は空欄です。</u>
社内通知 ※1	別サービス「MOT通知サーバ」の通知一覧を表示します。
ワンタッチボタン [4]未設定～[9]未設定	設定したワンタッチ先に発信します。 ※ワンタッチが未設定の場合、メニュー名は[4]～[9]未設定のままです。
MOTインカム ※4	別サービス「MOTインカム」画面を表示します。
MOT経費精算 ※1	別サービス「MOT経費精算」画面を表示します。
二次元コード ※1	別サービス「入退場ゲート」の解錠用二次元コードを表示します。



※1：別途「外部サービス設定」が必要です。詳細は、「[外部サービス設定](#)」ページをご参照ください。

※2：[MOT/HG](#)(または、[MOT/Cloud](#))の[アカウント設定](#)が必要です。

※3：MOT/Chaの設定が必要です。詳細は、「[MOT/Cha機能を利用する](#)」ページをご参照ください。

※4：「MOTインカム」のお申込みが必要です。詳細は、「[MOTインカム](#)」ページをご参照ください。

▶「メニュー追加」は次ページへ

ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する

ホーム画面に表示するメニューボタンを追加することができます。

ホーム画面のメニューを追加する



① ホーム画面の「**メニュー追加**」をタップします。



② 表示されるメニュー追加画面から、追加したいメニューを選択します。



③ 画面左上の◀ で、ホーム画面に戻ります。

※ 選択したメニューは、メニュー追加画面から表示が消えている状態です



④ ホーム画面に、選択したメニューが追加で表示されます。

▶ 「メニュー削除」は次ページへ

ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する

ホーム画面に表示するメニューボタンを削除(非表示に)することができます。

ホーム画面のメニューを削除する



①ホーム画面の「**メニュー削除**」をタップします。



②削除可能なメニューに **削除** のしるしが表示されます。

削除したいメニューをタップします。



③「削除しますか?」のメッセージが表示されるので、「**削除**」を選択してください。

▶次ページへ続く

ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する

ホーム画面



- ④ ホーム画面から、選択したメニューボタンが削除されます(非表示になります)。



- ⑤ **戻る**のしるしがある「**メニュー削除**」をタップすると、**削除**のしるしが消えて、通常のホーム画面に戻ります。



削除のしるしが消えます。

削除したメニューは、
[メニュー追加]にて、再度表示させることが可能です。

ホーム画面のメニューボタンの配置を変更する

ホーム画面に表示するメニューボタンは、ドラッグ&ドロップで、配置を変更することができます。

ホーム画面のメニューの配置を変更する



①配置を変更したいメニューボタンを長押しします。

長押しをしたまま、移動したい先にメニューを移動させてください。



②移動先で、長押しを離してください。

▶次ページへ続く

新着お知らせ通知機能

お知らせ通知のダイアログは、表示する/表示しないを設定することができます。

「設定」> 表示設定 > お知らせ表示

①



①「お知らせ表示」

「チェックあり」の場合、弊社からお知らせがあったときに新着お知らせありダイアログを表示します。

「チェックなし」にすると、ダイアログは表示されません。
(初期値:チェックあり)

オンの場合



ポップアップで「**今すぐ**」をタップするとお知らせページに移動し、確認できます。

「**後で**」を選択するとポップアップを閉じます。確認したいときに、画面左上の「お知らせ」をタップして確認します。

オフの場合



お知らせページへ



画面上部のロゴ左側にあるお知らせアイコンをタップすると、お知らせが確認できます。

新しいお知らせがある場合、該当アイコンに「N」マークが表示されます。

ホーム画面にワンタッチボタンを追加する

ホーム画面

ホーム画面にワンタッチボタンを追加することができます。
よく使う発信先などを追加することで、ワンクリックで発信画面を表示できます。

ホーム画面にワンタッチボタンを追加する

①



①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップします。

②



②画面右上の編集をタップし、画面を編集モードにします。

③



③ワンタッチは、[1]～[9]まで登録することができます。
「未設定」と表示されているところは、ワンタッチが未登録の空き番号です。

ワンタッチを登録する番号の行をタップします。
※左図では、[1]への登録を例としています。

▶次ページへ続く

ホーム画面にワンタッチボタンを追加する

ホーム画面



③ ワンタッチに登録するボタンの種類を選択し、画面右上の[保存]をタップします。

■ワンタッチ機能①

メニュー名	説明
留守録設定	留守番電話の開始/終了/再生ボタンを登録できます。
転送設定	不在転送ボタン、不応答転送ボタン、話中転送ボタン、圏外転送ボタンを登録できます。
代理応答	全着信の代理応答ボタン、外線着信の代理応答ボタン、内線着信の代理応答ボタンを登録できます。 ※代理応答とは、離席中の方の着信を、別の電話端末から代理で応答する機能です。
手動設定	よく利用する連絡先など、ワンタッチで発信したい番号と名称を入力し、登録できます。

■ワンタッチ機能②

ワンタッチ機能	説明
着信拒否設定	発信専用モードにします。
外線着信拒否設定	アカウント毎に外線からの着信を拒否します。

※「着信拒否設定」と「外線着信拒否設定」は、「着信拒否の処理」で、「端末で処理」を選択している場合、利用可能です。「PBXで処理」を選択している場合は、「着信拒否設定」と「外線着信拒否設定」は利用不可のため、非表示です。



④ ワンタッチ画面の一覧に、登録したワンタッチが表示されます。

▶次ページへ続く

ホーム画面にワンタッチボタンを追加する



⑤登録したワンタッチボタンは、[1]～[3]の場合、ホーム画面に初期値で用意のある「未登録」ボタンに割り付けられます。

割り付けられたワンタッチをタップすると、ワンタッチ先に発信します。

[4]～[9]に登録したワンタッチボタンをホーム画面に表示する

「メニュー追加」>「登録したワンタッチを選択」で、ホーム画面に表示することができます。



①ホーム画面の「メニュー追加」をタップします。



②[1]～[9]が、ワンタッチボタンです。
（初期値は、[1]～[3] はホーム画面に表示した状態）
ホーム画面に表示するワンタッチの番号をタップします。

※左図では、[4]にワンタッチを登録している場合を例としています。



③ホーム画面に戻ると、選択したワンタッチボタンが表示されていることが確認できます。

ホーム画面から非表示にしたい場合は、初期でホーム画面に表示されている[1]～[3]も含め、「メニュー削除」で非表示にすることができます。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する

留守番電話の開始/終了/再生を行うワンタッチの登録方法です。

「留守番電話」は、ダイヤル操作で、留守電の開始・終了・再生を設定することができます。

各ダイヤル番号をワンタッチに登録することで、簡単に留守電の開始・終了・再生が行えます。

※MOT/TEL(プラチナ・プレミアムプラン除く)をご利用の方は、設定が異なりますのでご注意ください
(「留守録電話」を解除するワンタッチキーのみ同じ)。

設定詳細は「[「留守番電話」のワンタッチキーを登録するMOT/TELの場合](#)」ページへ

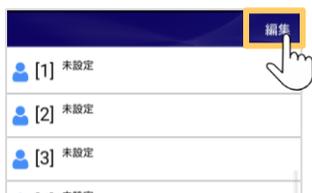
※以下、ワンタッチ1~3に、留守録の開始・終了・再生のワンタッチ作成を例とした手順です。

「留守番電話」を開始するワンタッチボタンを登録する

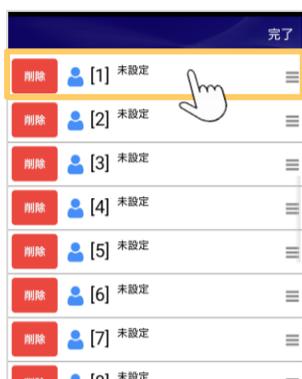
①



①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面左上の編集をタップします。



②



②まずは、[1]に、留守番電話を開始するボタンを登録します。

[1]未設定の行をタップします。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する



③留守番電話開始ボタンの設定をします。

①「留守録設定」を選択します。

②「開始」を選択します。

③留守番電話を開始する対象番号を入力します。

③グループ番号への着信に対して留守番電話を開始するワンタッチを作成する場合

「メッセージ保存先の内線番号」+「**グループ番号」を入力します。

例)メッセージ保存先の内線番号が「301」、留守電対象のグループ番号が「500」の場合



301**500と入力します。

※MOT/TEL(プラチナ・プレミアムプラン除く)は、別設定



④設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する



⑤[1]に、留守番電話を開始するボタンが登録されていることが確認できます。

「留守番電話」を解除するワンタッチボタンを登録する



⑥次に、[2]に、留守番電話を解除するボタンを登録します。

画面左上の**編集**をタップし、[2]未設定の行をタップします。



▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する



⑦留守番電話解除ボタンの設定をします。

①「留守録設定」を選択します。

②「解除」を選択します。

③留守番電話を解除する対象番号を入力します。

③グループ番号への着信に対して留守番電話を解除するワンタッチを作成する場合

留守番電話開始で作成した対象のグループ番号を入力

※「メッセージ保存先の内線番号」は、入力不要

例) 留守番電話開始で、「301**500」と入力した場合、解除では、解除対象のグループ番号「**500」を入力



**500と入力します。

※MOT/TEL(プラチナ・プレミアムプラン除く)は、別設定



⑧設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する

⑨



⑨[2]に、留守番電話を解除するボタンが登録されていることが確認できます。

「留守番電話」を再生するワンタッチボタンを登録する

⑩



⑩次に、[3]に、留守番電話を再生するボタンを登録します。

画面左上の**編集**をタップし、[3]未設定の行をタップします。



「留守番電話」のワンタッチを登録する



⑪留守番電話再生ボタンの設定をします。

①「留守録設定」を選択します。

②「再生」を選択します。

③未入力の場合、留守番電話の再生コマンドは、「92+自身の内線番号」がセットされます。

※自身の内線番号以外を設定する場合は、対象の内線番号をご入力ください。

以下、グループ番号を設定する例をご参照ください。

③グループ番号への着信に対して留守番電話を再生するワンタッチを作成する場合

留守番電話開始で作成した対象のグループ番号を入力
※「メッセージ保存先の内線番号」は、入力不要

例) 留守番電話開始で、「301**500」と入力した場合、解除では、解除対象のグループ番号「500」を入力



※MOT/TEL(プラチナ・プレミアムプラン除く)は、別設定



⑫設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

ホーム画面 「留守番電話」のワンタッチを登録する

13



⑬[3]に、留守番電話を再生するボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、留守番電話のワンタッチボタン作成が完了です。

- [1]留守番電話の開始ボタン
- [2]留守番電話の終了ボタン
- [3]留守番電話の再生ボタン

ワンタッチで留守番電話の開始/解除/再生をする

留守録開始/留守録解除/留守録再生のワンタッチボタンをタップすると、発信画面に切り替わり、各動作のコマンドへ発信後、設定が行われます。

※下図は、[1]留守番電話の開始ボタンをタップした場合を例としています。



ホーム画面の
各ワンタッチボタンをタップ



[発信する]をタップ



発信画面に切り替わります。

※あらかじめ、留守番電話開始のボタンには「*2191」が入っているため、「*2191」+「設定した番号」に発信します。

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)

ホーム画面

※MOT/TEL(プラチナ・プレミアムプラン除く)の場合は、以下を設定してください。

「留守番電話」を開始するワンタッチボタンを登録する

①



①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面左上の編集をタップします。

②



②まずは、[1]に、留守番電話を開始するボタンを登録します。

[1]未設定の行をタップします。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)



③MOT/TEL用の留守番電話開始ボタンの設定をします。

- ①「手動設定」を選択します。
- ②留守番を開始する対象番号を入力します。

②グループ番号への着信に対して留守番電話を開始するワンタッチを作成する場合

*21+*91+「メッセージ保存先の内線番号」+
「**グループ番号」を入力します。

例)メッセージ保存先の内線番号が「301」、
留守電対象のグループ番号が「500」の場合



*21*91301**500と入力します。

- ③ワンタッチボタンの表示名を入力します。
(例:留守番電話開始)



- ④設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、
ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)

⑤



⑤[1]に、留守番電話を開始するボタンが登録されていることが確認できます。

「留守番電話」を解除するワンタッチボタンを登録する

⑥



⑥次に、[2]に、留守番電話を解除するボタンを登録します。

画面左上の**編集**をタップし、[2]未設定の行をタップします。



▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)

ホーム画面



⑦留守番電話解除ボタンの設定をします。

- ①「留守番設定」を選択します。
- ②「解除」を選択します。
- ③留守番を解除する対象番号を入力します。

③グループ番号への着信に対して留守番電話を解除するワンタッチを作成する場合

留守番電話開始で作成した対象のグループ番号を入力

※「メッセージ保存先の内線番号」は、入力不要

例) 留守番電話開始で、「*21*91301**500」と入力した場合、解除では、解除対象のグループ番号「**500」を入力



⑧設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。



▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)

ホーム画面

⑨



⑨[2]に、留守番電話を解除するボタンが登録されていることが確認できます。

「留守番電話」を再生するワンタッチボタンを登録する

⑩



⑩次に、[3]に、留守番電話を再生するボタンを登録します。

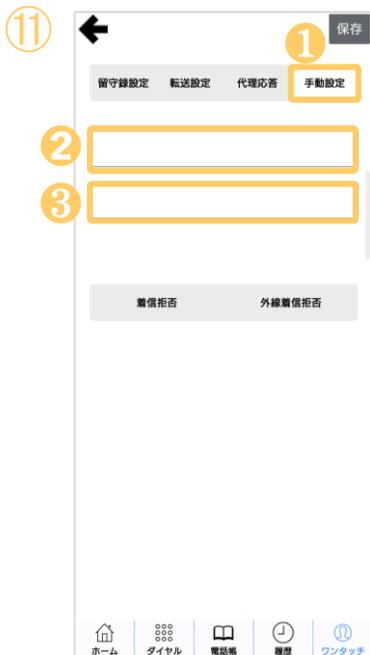
画面左上の**編集**をタップし、[3]未設定の行をタップします。



▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)

ホーム画面



⑪留守番電話再生ボタンの設定をします。

①「手動設定」を選択します。

②留守番を再生する対象番号を入力します。

②グループ番号への着信に対して留守番電話を再生するワンタッチを作成する場合

*592+「メッセージ保存先の内線番号」を入力します。

例)メッセージ保存先の内線番号が「301」の場合



③ワンタッチボタンの表示名を入力します。
(例:留守番電話再生)



⑫設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「留守番電話」のワンタッチを登録する (MOT/TELの場合)

ホーム画面

⑬



⑬[3]に、留守番電話を再生するボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、MOT/TEL用の留守番電話のワンタッチボタン作成が完了です。

- [1]留守番電話の開始ボタン
- [2]留守番電話の終了ボタン
- [3]留守番電話の再生ボタン

操作方法:ワンタッチで留守番電話の開始/解除/再生をする

留守録開始/留守録解除/留守録再生のワンタッチボタンをタップすると、発信画面に切り替わり、各動作のコマンドへ発信後、設定が行われます。

※下図は、[1]留守番電話の開始ボタンをタップした場合を例としています。



ホーム画面の
各ワンタッチボタンをタップ



[発信する]をタップ



発信画面に切り替わります。

「転送機能」のワンタッチを登録する

自身の内線着信に対して、不在・不応答・圏外・話中転送機能の開始/終了を行うワンタッチの登録方法です。

「転送機能」は、ダイヤル操作で、転送動作を設定することができます。各ダイヤル番号をワンタッチに登録することで、簡単に転送の開始・終了が行えます。

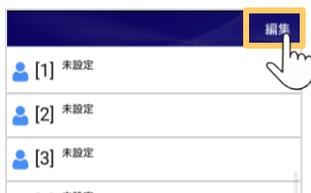
※以下、ワンタッチ1、2に、転送の開始・終了のワンタッチ作成を例とした手順です。

「転送機能」を開始するワンタッチボタンを登録する

①



①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面左上の編集をタップします。



②



②まずは、[1]に、転送を開始するボタンを登録します。

[1]未設定の行をタップします。

▶次ページへ続く

「転送機能」のワンタッチを登録する



③ 転送開始ボタンの設定をします。

① 「転送設定」を選択します。

② 転送の種類を選択します。

- ・ **不在転送**: 着信があった際、コールせずに、あらかじめ決められた電話へ転送します。
- ・ **不応答転送**: 着信があった際、あらかじめ決めたコール数内に応答しなかった場合に、あらかじめ決められた別の電話へ転送します。
- ・ **話中転送**: 自身が通話中に別の方から着信があった際、あらかじめ決めた端末へ電話を転送します。
- ・ **圏外転送**: 自身が圏外の際に、別の電話へ転送します。

③ 「転送番号設定」を選択します。

④ 転送先の番号を入力します。

例) 「090-0000-0000」に転送させる場合



④ 設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「転送機能」のワンタッチを登録する

⑤



⑤[1]に、転送を開始するボタンが登録されていることが確認できます。

「転送機能」を解除するワンタッチボタンを登録する

⑥



⑥次に、[2]に、転送を解除するボタンを登録します。

画面左上の**編集**をタップし、[2]未設定の行をタップします。



▶次ページへ続く

「転送機能」のワンタッチを登録する



⑦留守番電話解除ボタンの設定をします。

- ①「転送設定」を選択します。
- ②解除する転送の種類を選択します。
- ③「解除」を選択します。



⑧設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「転送機能」のワンタッチを登録する

⑨



⑨[2]に、転送を解除するボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、転送のワンタッチボタン作成が完了です。

[1]転送の開始ボタン

[2]転送の解除ボタン

操作方法:ワンタッチで転送を開始/解除する

転送開始/転送解除のワンタッチボタンをタップすると、発信画面に切り替わり、各動作のコマンドへ発信後、設定が行われます。

※下図は、[1]転送の開始ボタンをタップした場合を例としています。



ホーム画面の
各ワンタッチボタンをタップ



[発信する]をタップ



発信画面に切り替わります。

「代理応答」のワンタッチを登録する

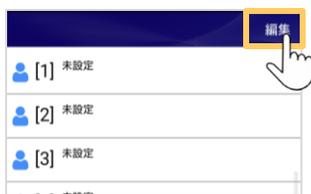
ワンタッチ「代理応答」の登録方法です。
離席中の方の電話が着信した際、代理で応答することができます。

「代理応答」のワンタッチボタンを登録する

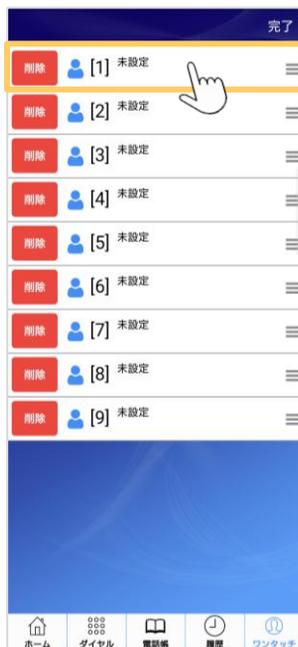
①



①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、
画面左上の編集をタップします。



②



②[1]未設定の行をタップします。

※代理応答のワンタッチボタンを、ワンタッチ[1]に作成する
例とします。

▶次ページへ続く

「代理応答」のワンタッチを登録する



③代理応答ボタンの設定をします。

①「代理応答」を選択します。

②代理応答の対象を選択します。

- ・代理応答(全て): 全着信を対象に、代理応答します。※1
- ・代理応答(外線): 外線着信を対象に、代理応答します。
- ・代理応答(内線): 内線着信を対象に、代理応答します。

※1: ピックアップグループに関係なく、内線/外線全てを対象に、代理応答します。

MOT/TEL(プラチナ・プレミアムプラン除く)をご利用の方は、[代理応答(全て)]はご利用いただけません。右図のように、[手動設定]にて、登録先番号「*30」での別途登録を行ってください。

[手動設定]の詳細は、[よく利用する連絡先のワンタッチを登録する](#)ページをご参照ください。

※MOTシリーズのPBX設置利用の方で、同一ピックアップグループ内でのみ内線/外線を代理応答したい場合は、同じく「*30」で別途登録を行ってください。



④設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

▶次ページへ続く

「代理応答」のワンタッチを登録する

⑤



⑤[1]に、代理応答をするボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、代理応答のワンタッチボタン作成が完了です。
[1]代理応答(全て)のボタン

操作方法:ワンタッチで代理応答する

代理応答のワンタッチボタンをタップすると、発信画面に切り替わり、代理応答用のコマンドへ発信後、代わりに応答して通話中となります。

※離席中の方の電話が着信している際に、以下の処理を行うことで、代わりに応答することができます。



ホーム画面の
ワンタッチボタン
をタップ

[発信する]をタップ

代理応答を行う
コマンド「*3」への
発信画面に切り替わる

代理応答が実行され、
通話中になる

よく利用する連絡先のワンタッチを登録する

ワンタッチ「手動設定」の登録方法です。

よく利用する連絡先を登録することで、ワンタッチで発信することができます。

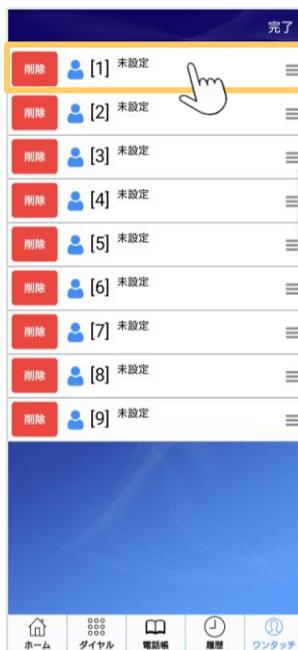
「よく利用する連絡先」のワンタッチボタンを登録する

①



- ①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面左上の編集をタップします。

②



- ②[1]未設定の行をタップします。

※手動登録のワンタッチボタンを、ワンタッチ[1]に作成する例とします。

▶次ページへ続く

よく利用する連絡先のワンタッチを登録する



③作成するワンタッチボタンの設定をします。

- ①発信先の番号を入力します。
- ②発信先の名称を入力します。



④設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。



⑤[1]に、設定した発信先のボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、ワンタッチボタン作成が完了です。

▶次ページへ続く

よく利用する連絡先のワンタッチを登録する

ホーム画面

操作方法:ワンタッチで発信する

発信先を登録したワンタッチボタンをタップすると、発信画面に切り替わり、相手先に発信します。



ホーム画面のワンタッチボタンをタップ



[発信する]をタップ



発信画面に切り替わります。

「着信拒否設定」のワンタッチを登録する

着信拒否の設定を行うワンタッチを登録します。

着信拒否設定を行うと、全ての着信を拒否し、発信専用モードとなります。

「着信拒否設定」のワンタッチボタンを登録する

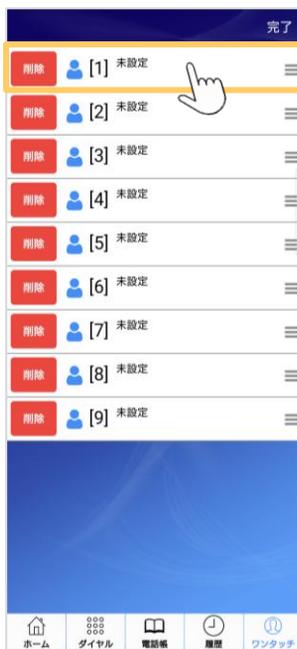
①



- ①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面左上の編集をタップします。



②



- ②[1]未設定の行をタップします。

※着信拒否のワンタッチボタンを、ワンタッチ[1]に作成する例とします。

▶次ページへ続く

「着信拒否設定」のワンタッチを登録する

③



③「着信拒否」をタップします。

※「[着信拒否の処理](#)」で、「[端末で処理](#)」を選択している場合のみ、「着信拒否設定」が表示されます。

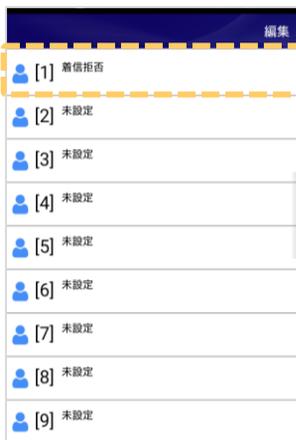
④



④設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

⑤



⑤[1]に、設定した着信拒否のボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、着信拒否のワンタッチボタン作成が完了です。

▶次ページへ続く

「着信拒否設定」のワンタッチを登録する

ホーム画面

操作方法:ワンタッチで「着信拒否設定」を設定/解除する

ワンタッチボタンをタップすると、着信拒否の状態になります。
もう一度タップすると、着信拒否の状態を解除します。



ホーム画面の「着信拒否」のワンタッチボタンをタップ

着信拒否の状態になり、ワンタッチボタンは「着信拒否解除」に切り替わります。



着信拒否の状態になると、画面上部に着信拒否アイコンが表示されます。

※隠れて表示されない場合は、通知でご確認ください。

着信拒否のワンタッチは、1つのワンタッチを切り替えて、設定/解除を行います。

着信拒否の状態を解除する場合は、

「着信拒否解除」ボタンをタップすると解除され、ワンタッチボタンは「着信拒否」に戻ります。

※本操作は、設定＞着信動作設定＞着信拒否設定＞着信拒否設定(端末)＞着信を受付けない(発信専用)の項目にチェックをつけて発信専用モードにする動作とイコールです。

「外線着信拒否設定」のワンタッチを登録する

ホーム画面

外線着信を拒否する設定を行うワンタッチを登録します。
アカウント毎に外線からの着信を拒否する設定も可能です。

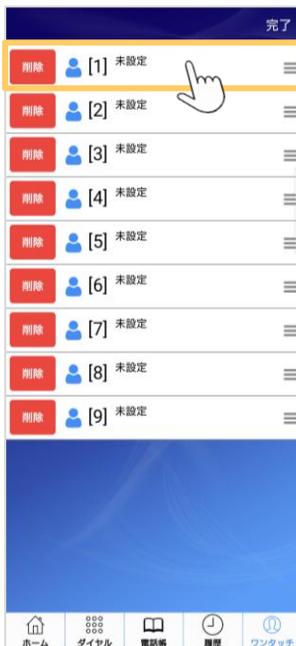
「外線着信拒否設定」のワンタッチキーを登録する

①



①ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面左上の編集をタップします。

②



②[1]未設定の行をタップします。

※外線着信拒否のワンタッチボタンを、ワンタッチ[1]に作成する例とします。

▶次ページへ続く

「外線着信拒否設定」のワンタッチを登録する

③



③「外線着信拒否」をタップし、外線着信拒否をする対象のアカウントを選択します。

※「[着信拒否の処理](#)」で、「[端末で処理](#)」を選択している場合のみ、「外線着信拒否設定」が表示されます。

④



④設定後、画面右上の[保存]をタップします。

保存後、画面左上の◀をタップして、ワンタッチ画面一覧に戻ります。

⑤



⑤[1]に、設定した外線着信拒否のボタンが登録されていることが確認できます。

以上で、外線着信拒否のワンタッチボタン作成が完了です。

▶次ページへ続く

「外線着信拒否設定」のワンタッチを登録する

ホーム画面

操作方法:ワンタッチで「外線着信拒否設定」を設定/解除する

ワンタッチボタンをタップすると、外線着信拒否の状態になります。
もう一度タップすると、外線着信拒否の状態を解除します。



ホーム画面の「外線着信拒否」のワンタッチボタンをタップ

外線着信拒否の状態になり、ワンタッチボタンは「外線着信拒否解除」に切り替わります。



着信拒否の状態になると、画面上部に着信拒否アイコンが表示されます。

※隠れて表示されない場合は、通知でご確認ください。

外線着信拒否のワンタッチは、1つのワンタッチを切り替えて、設定/解除を行います。

外線着信拒否の状態を解除する場合は、

「着信拒否解除」ボタンをタップすると解除され、ワンタッチボタンは「着信拒否」に戻ります。

※本操作は、設定＞着信動作設定＞着信拒否設定＞着信拒否設定(端末)＞アカウント毎の外線着信拒否設定とイコールの動作です。

登録したワンタッチを編集・削除する

登録したワンタッチを編集・削除することができます。

ワンタッチボタンを編集・削除する



① ホーム画面下メニューの[ワンタッチ]をタップし、画面右上の**編集**をタップします。



② 編集、または削除を行います。

① **編集**: 編集対象のワンタッチをタップし、ワンタッチ登録画面で編集後、画面右上の[保存]をタップします。



② **削除**: 削除対象のワンタッチの **削除** をタップし、削除します。

発信時に、発番号を選択可能にする

MOT/Phone+で発信する際、相手に通知する発番号を選択したい場合に、設定します。複数の外線番号を利用している場合に、利用します。

「設定」> 発信動作設定 > 発番号選択設定 > 発番号選択の利用



①「発番号選択の利用」

初期値は「オフ」です。

複数の外線番号を利用しており、発信時に発番号選択できるようにしたい場合は、チェックをつけて発番号選択の利用を「オン」にします。

②「ダイヤル桁数」

ダイヤル桁数に設定した桁数以上の番号に発信した場合、発番号の選択肢が表示されるようになります。

例)ダイヤル桁数に「5」を選択した場合、

ダイヤル桁数が3桁の内線番号301などに発信する際は、発番号の選択肢が表示されません。

外線発信時のみに発番号を選択したい場合にご活用ください。

③「発番号1～6」

選択する発番号を入力します。

※MOT/PBX側に登録されている番号を入力してください。

<発信時の画面イメージ>

発信する際に、発番号選択ダイアログが表示されます。番号を選択し、発信します。



発信時、
③で入力した番号が
選択肢に表示

発信時に、携帯からの発信を選択可能にする

発信に関する設定

MOT/Phone+ダイヤルパッドから発信する時、携帯発信かMOT/Phone+発信かの選択を行う設定です。

「設定」> 発信動作設定 > 携帯発信設定

①



①「**携帯発信設定**」にチェックを入れると、発信時に、携帯番号を発信する選択ダイアログを表示することができます。

<発信画面>

「携帯発信設定」にチェックを入れると、MOT/Phone+から発信する際に、「MOT/Phone+発信」と「携帯電話発信」どちらで発信するか選択ダイアログが表示されます。



発信



①
②



「携帯電話発信」の選択ダイアログを表示

①MOT/Phone+で発信します。
②携帯番号で発信します。

直前に発信した番号をダイヤル画面に表示する

前回発信した番号を番号入力欄に残す事が出来ます。

「設定」> 発信動作設定 > 発信後番号消去



①「**発信後番号消去**」のチェックを外すと、番号の消去が無効となり、入力した番号が番号入力欄に毎回残ります。

(初期値:チェックあり)

■チェックなしの場合

通話終了後、
前回発信した番号が残ります。



■チェックありの場合(初期値)

通話終了後、前回発信した
番号が消去されます。



※次に発信を行う場合は

⊗ ボタンで番号を消去し、
新たな番号を入力します。

番号の先頭に特定の番号を付けて発信する(プレフィックス発信)

MOT/Phone+発信時にダイヤルした番号の先頭に指定したプレフィックスを付与して発信する事が出来ます。

「設定」> 発信動作設定 > ダイヤルプレフィックスの設定

携帯電話のプレフィックス発信を利用して、FUSIONなどキャリアが提供する携帯電話回線サービスを利用する事も可能です。



①「**ダイヤルプレフィックスの設定**」をタップし、以下の項目で設定します。

①プレフィックスを設定

「プレフィックス」を選択し、先頭に付与する番号を入力します。

②プレフィックス有効桁数を設定

「プレフィックス有効桁数」を選択し、①「プレフィックス」で設定した番号を付与するのが、ダイヤルした番号が何桁以上の場合かを入力します。

ただし、通話履歴にはプレフィックスが付与されていない状態で残ります。(リダイヤル、履歴発信を考慮するために付与していません)

MOT/Phone+発信時のプレフィックスは、設定した条件に合致する、全てのダイヤルに対して自動的に付与されます。



※1: 発信画面にはプレフィックス番号は表示されません。

発信に関する設定

番号の先頭に特定の番号を付けて 携帯から発信する(プレフィックス発信)

携帯発信時にダイヤルした番号の先頭に指定したプレフィックスを付与して発信する事が出来ます。

「設定」> 発信動作設定 > 携帯電話ダイヤルプレフィックス

携帯電話のプレフィックス発信を利用して、FUSIONなどキャリアが提供する携帯電話回線サービスを利用する事も可能です。



①「**携帯発信プレフィックス**」をタップし、携帯発信時に付与するプレフィックスを入力し、[OK]をタップします。

MOT/Phone+発信時に、プレフィックス付きで携帯発信するかどうかを選択するダイアログが表示されます。

※「**携帯発信設定**」にチェックがある場合は、プレフィックス無しの「携帯電話発信」と、プレフィックス付きの「携帯電話発信」から選択することができます。

<携帯発信プレフィックス>



他社アプリ「PHONE APPLI PEOPLE」と連携する場合など、他アプリから発信したい場合に使用します。

「設定」> 標準連絡先設定 > 他のアプリで発信

①



①「他のアプリで発信」にチェックを入れると、MOT/Phoneの履歴・連絡先・共通電話帳・お気に入りからの発信時に、どのアプリで発信するかアプリを選択するダイアログを表示します。

<履歴や電話帳からの発信時>



相手を選択し、発信



発信するアプリの
選択が可能

選択ダイアログ
を表示

※発信アプリの選択時に「常時」を選択した場合、以降、電話帳・履歴からの発信時は、選択したアプリで即時発信します。
発信アプリを初期値に戻す方法は、次ページ「[発信アプリの設定を初期値に戻す](#)」をご参照ください。

発信アプリの設定を初期値に戻す

発信アプリを「常時」選択した場合、以下の設定で、常時選択したアプリを初期化することができます。

「設定」> バージョン情報 > 標準電話アプリ情報表示

前ページ「[他のアプリで発信](#)」を有効にし、発信するアプリ選択時に「常時」を選んだ場合、以降、電話帳・履歴からの発信時は、選択したアプリで即時発信します。発信アプリの常時選択を解除する場合は、本手順にて初期値に戻してください。



①「標準電話アプリ情報表示」をタップします。

※常時選択の発信アプリが「MOT/Phone+」になっており、その設定を解除したい場合は、「アプリケーション情報表示」を選択し、②以降、同様の設定を行ってください。



②「デフォルトで開く」をタップします。

▶次ページへ続く

発信アプリの設定を初期値に戻す

③



③デフォルトをクリアするボタンをタップします。

※本説明の端末では、「デフォルトの設定をクリア」ボタンですが、端末によって初期化のボタン名称は異なります（「設定を消去」、など）。

※端末によって発信アプリの初期化が未対応の場合がございます。



MOT/Phone+通話中に、 携帯電話への割り込み着信を受ける

IP通話中に、SIMカードが持つ一般携帯電話用の番号での着信があった時、IP通話を一旦保留して携帯番号側の通話を行う事が出来ます。

「設定」> 着信動作設定 > IP通話中の一般電話着信

MOT/Phone+通話中の割り込み着信を許可する設定を行います。



①「IP通話中の一般電話着信」を「許可する」に設定すると、IP側の通話を一旦保留にして、一般携帯番号での通話へ切り替えます。
(初期値:拒否する)

※「許可する」に設定後、以下のダイアログが表示された場合は、[OK]を選択し、サイレントモードの利用を許可してください。



②「OK」を選択します。

注意事項

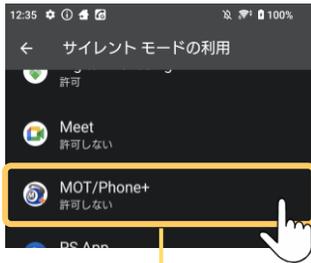
- MOT/Phone+で通話中に、別のMOT/Phone+の着信があった場合、着信の割り込みは行いません。
※ただし、「[着信動作設定 > 話中時着信を履歴に残す](#)」が有効になっている場合は、通話中にあった着信の履歴を残します。
- 携帯電話で通話中に、MOT/Phone+に着信があった場合、着信の割り込みは行いません。

▶次ページへ続く

MOT/Phone+通話中に、 携帯電話への割り込み着信を受ける

着信に関する設定

③



③「MOT/Phone+」を選択します。



③サイレントモードの利用を許可します。

許可したあと、画面を戻ります。

<IP通話中の一般着信許可イメージ>



着信鳴動音をサイレントもしくはバイブレーション設定にしている場合は、PSTN着信した事をお知らせする音「プップ」が鳴ります。

※本機能は、スマートフォンによって対応出来ない機種がございます。

未対応機種は、一般携帯番号の着信を不応答時の動作として扱います。

▶次ページへ続く

MOT/Phone+通話中に、 携帯電話への割り込み着信を受ける

着信に関する設定

<IP通話中の携帯割り込み着信時のイメージ>

①IP通話中



②携帯着信に対して、
応答or拒否を選択



③IP通話中を継続

③通常携帯の
着信を拒否

④通常携帯の
着信に応答

IP通話中に携帯着信

※携帯相手が切断すると
保留解除でIP通信中の
画面へ戻ります

⑥[保留解除]ボタントップで、
IP通話に戻ります。



⑤携帯通話終了時に
[終了]ボタントップ



④携帯通話開始
※IP通話は保留状態



MOT/Phone+通話中の携帯電話への 割り込み着信時のバイブ動作を無効にする

MOT/Phone+で通話中に着信があった際、バイブの動作を無効にしたい場合に、本機能で切り替えることができます。

「設定」> その他の設定 > デバッグ用設定 > 携帯割込動作の切替

①



①「**携帯割込動作の切替**」にチェックをいれて有効にすると、MOT/Phone+で通話中に着信があった際のバイブ動作を無効にします。

また、割込み音が大きすぎる際、本メニューにチェックをつけることで、音量を調整できる場合がございます。

バイブ動作を無効にしたい、または割込音を調整したい場合は、本メニューにチェックをつけて改善されないかお試しください。

「**携帯割込動作の切替**」にチェックをいれて有効にすると、MOT/Phone+で通話中に着信があった際のバイブ動作を無効にします。

また、割込み音が大きすぎる際、本メニューにチェックをつけることで、音量を調整できる場合がございます。

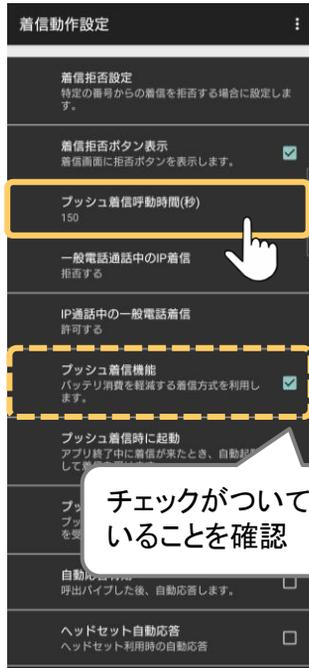
バイブ動作を無効にしたい、または割込音を調整したい場合は、本メニューにチェックをつけて改善されないかお試しください。

着信時の呼び出し時間を設定する

着信の際に、呼び出し時間を変更することができます。指定時間着信に応答しなかった場合は、自動的に着信拒否を行い着信音・バイブを停止します。

「設定」> 着信動作設定 > プッシュ着信呼動時間(秒)

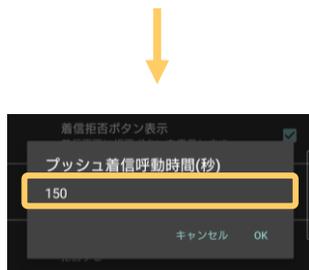
①



①「**プッシュ着信機能**」にチェックがついていることを確認し、「**プッシュ着信呼動時間(秒)**」項目で設定します。(初期値:150秒)

プッシュ着信の際、着信音・バイブの鳴動開始から本項目で指定した秒数が経過しても応答/拒否を行わなかった場合は、自動的に着信を拒否して着信音・バイブを停止し、次の着信を受けられるようになります。

チェックがついていることを確認



通話中の着信・着信拒否の履歴を残す

通話中に着信および着信拒否した時に、着信履歴を保存することが出来ます。

「設定」 > 着信動作設定 > 話中時着信を履歴に残す

①



①「話中時着信を履歴に残す」にチェックをつけると、通話中に着信があった場合、着信履歴に保存します。

※通話中の着信を履歴に残す場合、別途、以下の設定が必要です。

- ・MOT/PBXシリーズをご利用の場合：
PBX側の設定が必要です。
本機能がご利用いただけない場合は、弊社にお問い合わせください。
- ・MOT/TEL(クラウド)をご利用の場合：
MOT/TELユーザー画面の内線番号/仮想内線設定で対象の内線番号を選択し、
「コールウェイティング」を有効にしてください。

「設定」 > 着信動作設定 > 着信拒否を履歴に残す

②



②「着信拒否を履歴に残す」にチェックをつけると、外線着信・非通知着信・指定番号による着信拒否設定、「着信を受付けない(発信専用)」の発信専用モードで利用時、いずれかで着信拒否を行っている時に該当の番号から着信があった場合、着信履歴に保存します。

着信画面の[拒否]ボタンを非表示にする

着信画面にて、[拒否]ボタンを非表示にすることができます。

「設定」> 着信動作設定 > 着信拒否ボタン表示

①



①「**着信拒否ボタン表示**」項目の初期値はチェックありで、着信時に[拒否]ボタンを表示する設定になっています。

[拒否]ボタンを非表示にする場合は、「**着信拒否ボタン表示**」のチェックを外してください。

＜Android OS14以降の場合＞

着信時に、画面上部に表示する画面については、「着信拒否ボタン表示」項目の機能は無効です。チェックあり/なしに関わらず、[拒否]ボタンは表示されます。



＜着信時の画面イメージ＞

[拒否]ボタン表示



チェックあり

[拒否]ボタン非表示



チェックなし

着信画面の[応答]・[拒否]ボタンを横並びにする

着信に関する設定

着信画面にて、[応答][拒否]ボタンを横並びにする設定です。

「設定」> その他の設定 > 通話画面ボタンの横向き配置

①



①「**通話画面ボタンの横向き配置**」項目の初期値はチェックなしで、縦並びです。

[応答][拒否]ボタンを横並びにする場合はチェックをつけてください。

※本体の文字サイズが大きい際に、左図のようにボタン表示が重なる場合がございます。その際は、ボタンを横並びにしてご利用ください。



<着信時の画面イメージ>

チェックなし(縦並び)



※初期値

チェックあり(横並び)



着信の際、操作を行わず自動で応答する

自動応答設定を行うことにより、電話の着信時に、操作を行わなくても自動的に応答、通話開始を行うことができます。

「設定」> 着信動作設定 > 自動応答有効・ヘッドセット自動応答

■ 自動応答の設定

自動応答とは、着信時に、操作を行わなくても呼び出しバイブ後に自動的に応答し、通話を開始できる設定です。

自動応答の設定は、以下2通りございます。



①通常の自動応答を行う場合、「**自動応答有効**」にチェックをつけます。

自動応答有効時の動作

自動応答はバイブ応答した後、即座に他の操作をすることなく通話接続を行います。

着信すると即座に通話中になりますのでご利用の際はご注意ください。

②ヘッドセットを接続時に自動応答を行う場合、「**ヘッドセット自動応答**」にチェックをつけます。

着信に関する設定

着信画面に、着信した自局番号を表示する

本設定を有効にすることで、着信画面で着信した自局番号を表示します。

「設定」> 着信動作設定 > 着信番号を表示

①



①外線着信時に、通話画面および着信通知上に着信した自局番号（電話帳登録されている場合は名称）を表示する場合、「**着信番号を表示**」にチェックをつけます。

複数番号ある場合、どの番号にかかってきた着信か、判断できるようになります。

<通話画面イメージ>

チェックあり



着信した自局番号を表示します。

チェックなし



<着信通知イメージ>

※OSによって異なります

チェックあり



着信した自局番号を表示します。

チェックなし



着信した番号ごとに着信音を変更する

複数の外線番号を設定している場合、指定した外線番号にIP着信したときの鳴動音を、最大6番号まで設定することができます。

「設定」> 着信音設定 > 着信自局番号別着信音



①「**着信自局番号別着信音**」をタップし、着信自局番号別着信音の設定画面を表示します。

②着信自局番号別着信音の設定画面では、以下の項目を設定します。

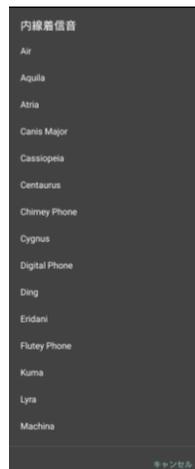
①着信自局番号

着信音を変更する対象の着信自局番号を入力します。



②着信音

指定番号に着信したときの鳴動音を選択します。「着信音」をタップすると、以下の着信音選択画面を表示します。



一覧から着信音を選択します。

内線・外線着信音を設定する

着信時の音を通常の携帯着信と別の音に設定する事ができます。

「設定」> 着信音設定 > 内線着信音・外線着信音

「内線着信音」または「外線着信音」をタップし、着信音の選択ダイアログを表示します。

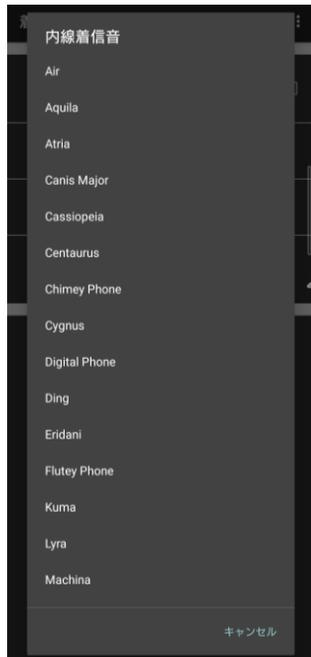


①「内線着信音」をタップし、内線着信時の鳴動音を設定します。

※MOT/PBXのCTI無効時は外線内線の区別不可

②「外線着信音」をタップし、外線着信時の鳴動音を設定します。

※「着信自局番号別着信音」で独自の着信音を設定されている番号の場合はそちらが優先



③着信音の設定をします。

一覧から着信音を選択します。

利用可能な鳴動音

変更出来る鳴動音は、電話端末が対応している音声ファイルを利用するため各端末毎に異なります。選択する着信音によっては繰り返にならない場合がありますので実際に鳴動させてご確認ください。

連絡先ごとに着信音を変更する

携本着信時と同様に、電話帳で設定した着信音を鳴らすことができます。

「設定」> 着信音設定 > 個別着信音を優先利用

①



- ①「**個別着信音を優先利用**」にチェックを入れると、連絡先に登録済みの番号から着信した際、連絡先で設定した着信音を鳴らします。

通話中の画面をロックし、スマホ画面を耳に当てた際の誤操作を防ぐ

通話中、スマホを耳に当てた際に画面を消灯状態にして、メニューボタンや通知領域の誤操作を防ぐ設定を行います。

「設定」> その他の設定 > 通話中画面ロック

①



- ①「**通話中の画面ロック**」にチェックをすると、通話画面で近接センサーが反応したときに画面を消灯状態にし、メニューボタンや通知領域の誤操作を防ぐことができます。

チェックを外すと、通話中の消灯は行わず画面の明度を低くします。

<画面イメージ>

[通常時]



[近接センサー反応時]



チェックなし



チェックあり

通話中、メニュー操作を無効にする

通話中、メニューの操作を無効にすることができます。

「設定」> その他の設定 > 通話中メニュー無効化

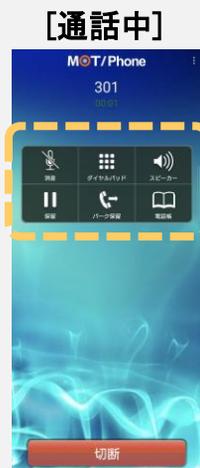
①



①「**通話中メニュー無効化**」項目の初期値はチェックなしです。

通話中、メニューの操作を無効にしたい場合はチェックをつけてください。

<画面イメージ>



タップしても、
操作が無効

チェックをつけると、通話中にメニューを
タップしても、操作が無効になります。

通話終了後、ホーム画面を表示せず、 もとの画面に戻る

通話終了後、MOT/Phone+がスマートフォンのホーム画面に戻らないようにすることができます。着信時は着信前の表示状態に戻ります。

「設定」> その他の設定 > 通話切断後ホーム表示

①



- ①「**通話切断後ホーム表示の設定**」項目では、自身が発信した通話終了後、ホーム画面へ自動的に戻るかどうかの設定を行います。初期値はチェックありです。

設定事例は以下をご参照ください。

着信時

着信に応答した通話終了は、本機能対象外です。着信した通話が終了した場合は、着信前に表示されていた画面状態に戻ります。

<画面イメージ>

チェックあり(初期値)



スマートフォンの
ホーム画面に戻る



チェックなし



本アプリの
ホーム画面に戻る

通話切断時、通話終了音を鳴らす

相手側が通話を切断した時に、通話終了音を3秒間鳴らしてから通話画面を閉じるか、音を鳴らさずに即座に画面を閉じるかを選択できます。

「設定」> その他の設定 > 通話終了音を鳴らす

①



①「通話終了音を鳴らす」にチェックを入れると、通話終了時に通話終了音を3秒間鳴らしてから通話画面を閉じます。

チェックを外すと、通話終了時に即座に通話画面を閉じます。
(初期値: チェックあり)

スマートフォンの連絡先を利用する

Android端末の連絡先を MOT/Phone+の電話帳で利用する

MOT/Phone+で、Android端末の連絡先を利用することができます。

Android端末の連絡先をMOT/Phone+で利用する設定を行う

■Android端末の連絡先をMOT/Phone+で利用するには、あらかじめ以下①、②の設定が必要です。

①「設定」> 標準連絡先の設定 > 「標準連絡先の表示」にチェック

①



①「標準連絡先設定」を選択します。

②



②「標準連絡先の表示」にチェックをつけます。
(初期値: チェックなし)

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

Android端末の連絡先を MOT/Phone+の電話帳で利用する

②端末の「設定」> MOT/Phone+> 許可 > 連絡先 > 「連絡先の権限」を「許可する」



※または、前ページ①の作業でチェックをつけたあと、初めて「電話帳」画面を開いた時のみ表示される以下のダイアログ表示で「許可」をします

(上記②にて、端末の「設定」で許可が済んでいる場合は、ダイアログは表示されません)



連絡先を表示

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

Android端末の連絡先を MOT/Phone+の電話帳で利用する

Android端末の連絡先を利用する

Android端末の連絡先を表示する設定をした場合、
「電話帳」画面に、「連絡先」「電話帳」の2つのタブが表示されます。

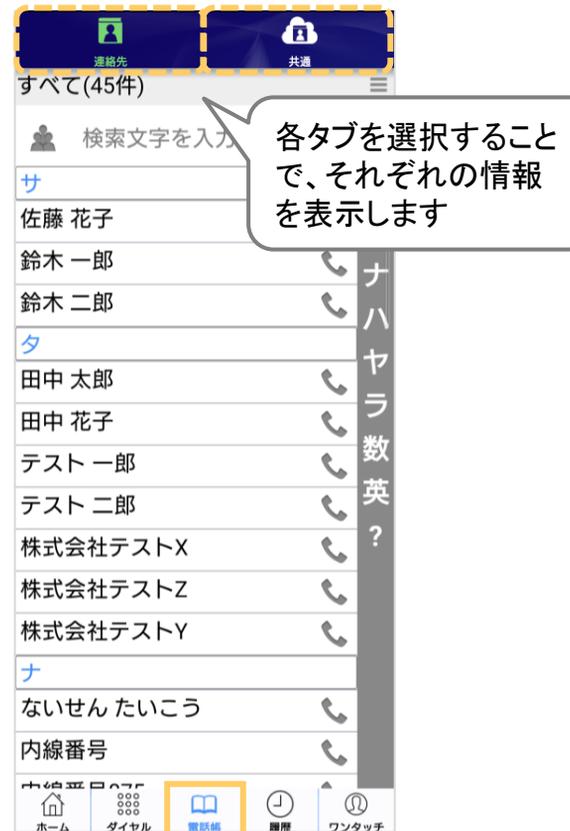
「連絡先」・・・Android端末の連絡先を表示

「電話帳」・・・「共通電話帳」で選択した「PBX電話帳」「MOT/HG電話帳」どちらかの電話帳を表示

■上記の設定をしない場合、
「電話帳」の1つのみ表示



■上記の設定をした場合、
「連絡先」「電話帳」の2つのタブを表示



スマートフォンの連絡先を利用する

電話帳「連絡先」画面の説明

「電話帳」メニューにある[連絡先]タブの画面で、スマートフォンの連絡先を表示することができます。

画面下部の「電話帳」をタップし、[連絡先]タブを開きます。

<電話帳画面>



～連絡先の更新方法～

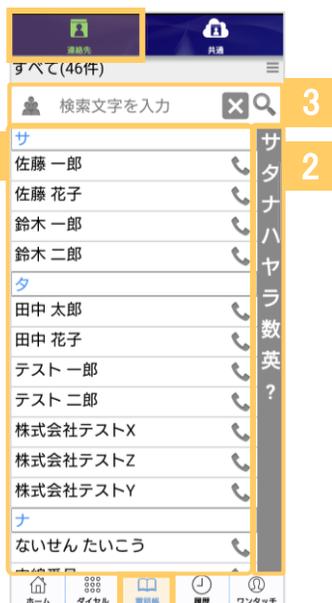


画面を下に引っ張ると、
連絡先情報の更新処理を
行います。

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

電話帳「連絡先」画面の説明



①連絡先一覧

連絡先一覧を表示します。
連絡先はフリガナの順に並べられます。
フリガナのない連絡先は末尾にまとめて配置されます。

②索引

選択した索引の文字で始まる連絡先の先頭まで一覧を自動的にスクロールします。

③検索

連絡先を検索することができます。



④メニュー表示

☰ をタップすると、以下のメニューを表示します。

(1) 一覧更新

連絡先情報を更新します。
※前ページの更新方法と同様の処理です。

(2) 連絡先作成

連絡先の作成画面を表示します。
※「[連絡先を新規作成する](#)」ページ参照

(3) グループ作成

連絡先のグループ作成画面を表示します。
※「[連絡先のグループを作成する](#)」ページ参照

(4) エクスポート

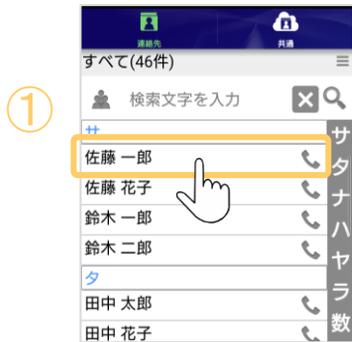
連絡先のエクスポート画面を表示します。
※「[連絡先をエクスポートする](#)」ページ参照

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先一覧から電話をかける

電話番号が登録されている連絡先には、発信アイコンが表示されます。連絡先を選択すると、連絡先の電話番号に対して発信を行います。

連絡先を選択し、電話をかける



①「共通電話帳」画面から、電話をかける相手の連絡先を選択します。



②[発信する]をタップすると、発信します。

プレフィックス発信をする

※番号の先頭に(184)、(186)どちらかをつけて発信する「プレフィックス発信」を行う場合は、「発信オプション」をタップし、(184)、(186)から選択後、[OK]をタップして発信します。



①番号非通知発信(184)

184を付けて発信します。元番号が184付きの場合はそのまま発信します。

元番号が186付きの場合はそれを削除し、184を付与して発信します。

②番号通知発信(186)

186を付けて発信します。元番号が186付きの場合はそのまま発信します。

元番号が184付きの場合はそれを削除し、186を付与して発信します。



プレフィックス
番号を選択

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先一覧から電話をかける

発番号を選択して発信する

※「**発番号選択設定**」にて発番号を複数登録している場合のみ、[発信する]をタップ後、「**発信番号を選択**」画面が表示されます。
相手に発信する番号をタップして発信します。



相手に表示する
発番号を選択

発信先番号を選択して発信する

※電話番号を複数登録している連絡先の場合のみ、「**発信先番号選択**」項目が表示されます。
「**発信先番号選択**」項目をタップし、表示された番号から発信先の番号を選択してから
[発信する]をタップして発信します。



発信先の番号
を選択

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先の詳細情報を表示する

連絡先を長押しすると、操作メニューがポップアップし情報を表示します。画面をスワイプするかタブを選択し、情報種別を切り替えることができます。

連絡先に登録されている連絡先の詳細情報を表示する

①



①情報を確認する**連絡先を長押し**してメニューをポップアップ表示します。

②



②ポップアップメニューから、「**情報表示**」を選択します。



■ポップアップメニューの詳細は、以下をご確認ください。

メニュー名	説明
情報表示	連絡先情報表示画面に移動します。
発信	発信画面を表示します。
SMS発信	番号が携帯電話番号として連絡先に登録されている場合に表示します。SMSを送信するためのアプリを起動します。
削除	連絡先から削除します。

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先の詳細情報を表示する

③



- ③「情報表示」画面を表示します。
アイコンをタップすると、各情報を表示します。



メニュー名	説明
① 電話番号情報	設定された電話番号を一覧表示します。 番号を選択すると、発信ダイアログを表示します。
② SMS送信先情報	携帯番号として登録された電話番号を一覧表示します。 番号を選択するとSMS作成アプリが起動します。
③ メールアドレス情報	設定されたメールアドレスを一覧表示します。 アドレスを選択するとメール作成アプリが起動します。
④ ウェブサイト情報	設定されたウェブサイトを一覧表示します。 URLを選択するとブラウザアプリが起動します。
⑤ 住所情報	設定された住所を一覧表示します。 住所を選択すると地図アプリが起動します。
⑥ 所属(会社・団体)情報	設定された所属(会社・団体)の名称を一覧表示します。 所属を選択すると、住所登録があれば地図を表示、なければ所属名をブラウザで検索します。

※連絡先に未登録の情報は、アイコンが表示されません。

※いずれの項目も、長押しすると表示された情報をクリップボードにコピーすることができます。

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先を新規作成する

連絡先一覧画面右上のメニューボタンを押し、[連絡先作成]メニューを選択すると、新しい連絡先の追加画面を表示します。

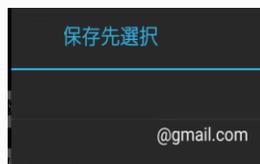
連絡先を新規で作成する



- ①「電話帳」画面＞[連絡先]タブ画面右上のメニューをタップし、[連絡先作成]を選択します。

■ 以下は、表示された場合にご対応ください。
「保存先選択」で連絡先を追加する電話帳のアカウントを選択します。

※電話帳アカウントが1つの場合は表示されません。
また、連絡先一覧でグループ指定していた場合は、そのグループのアカウントが自動的に選択されます。



- ②連絡先の情報を入力し、[設定]をタップすることで、連絡先が新規作成されます。

- ①連絡先名を入力します。
- ②連絡先の画像を登録することができます。タップすると、画像選択画面が表示されるので、登録する画像を選択します。
- ③各項目の+をタップすると、該当項目の入力欄を追加します。

電話アカウントについて

電話帳アカウントが1つもない場合は、連絡先を追加することができません。端末設定の「アカウントと同期」でGoogleアカウントを登録してください。

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先の情報を編集する

連絡先画面で、連絡先の情報を編集することができます。

連絡先を編集する

①



①情報を確認する連絡先を**長押し**してメニューをポップアップ表示します。

②



②ポップアップメニューから、「**情報表示**」を選択します。

③



③連絡先情報の画面右側にある  (編集ボタン) をタップします。

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先の情報を編集する



④連絡先情報画面で編集後、画面左下の[設定]をタップし、編集内容を保存します。

①画像表示部を選択すると、画像選択ダイアログを表示します。選択した画像の一部を切り出して設定します。

➢保存済み画像から選択

端末内の既存画像から選択して設定します。

➢カメラ画像

カメラを起動し、撮影した画像を設定します。

➢画像設定解除

設定済みの画像を削除します。

②各項目の+をタップすると、該当項目の入力欄を追加します。

③各項目の×をタップすると、該当項目の入力欄を削除します。

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先の情報を削除する

連絡先画面で、連絡先を削除することができます。

連絡先を削除する

①



①削除する連絡先を**長押し**してメニューをポップアップ表示します。

②



②ポップアップメニューをスクロールし、「**削除**」を選択します。

③



③「**OK**」を選択し、実行します。

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先の画像を表示する

電話帳画面の連絡先一覧に、各連絡先に設定した画像を表示させることができます。

「設定」> 標準連絡先設定 > 連絡先画像を表示

①



①連絡先画像

「連絡先画像を表示」にチェックをつけると、電話帳画面で連絡先の画像を表示することができます。

<画面イメージ>

「連絡先画像を表示」にチェックをつけた場合、連絡先では、下記のように各連絡先に設定した画像が表示されます。



スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先を検索する

名前、電話番号などで連絡先を検索します。

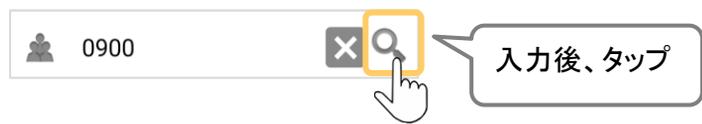
連絡先を検索する

連絡先を、電話番号や名前などの登録情報で絞り込みます。

①



① 検索文字を入力して、検索ボタンをタップします。



②



② 一致する情報を持つ連絡先のみを表示します。検索で確認する情報項目は設定画面で変更できます。

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先をグループ名で検索する

指定のグループに所属する連絡先を検索します。

※連絡先グループの作成については、次ページ「[連絡先グループを作成する](#)」をご参照ください。

グループを絞って、連絡先を表示する



① をタップすると、連絡先グループ一覧を表示します。



② 連絡先グループ一覧から、グループを選択します。



③ 連絡先グループ一覧で選択したグループを選択すると、そのグループに所属する連絡先のみを表示します。

②の画面で「すべて」を選択すると、全表示に戻ります。

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先のグループを作成する

連絡先のグループを作成します。
作成したグループは、連絡先を紐づけることができます。

連絡先のグループを作成する



- ①「電話帳」画面＞[連絡先]タブ画面右上のメニューをタップし、[グループ作成]を選択します。



- ②「グループ作成」画面で、連絡先グループを作成します。

- ①グループを追加するアカウントを選択します。
- ②作成するグループ名を入力します。

入力後、[設定]をタップすると、グループが追加されます。

追加したグループは、グループ選択の画面に表示され、選択できるようになります。

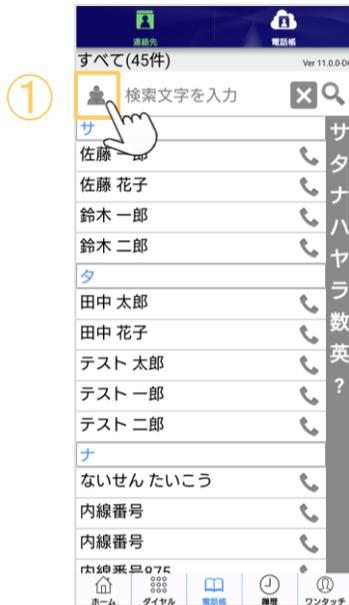


スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先グループ名を編集・削除する

グループ選択ダイアログ内でグループを長押しすると、グループ編集ダイアログが表示されます。グループ名の変更や削除を行うことができます。

連絡先のグループ名を編集する



①  をタップすると、連絡先グループ一覧を表示します。



② グループ名を長押しし、編集ダイアログを表示します。

※以下のグループは編集できません。

- ・[すべて]
- ・[グループなし]
- ・[お気に入り]
- ・Googleアカウントの[Contacts]
- ・Googleアカウントの[Family]
- ・Googleアカウントの[Friends]
- ・Googleアカウントの[Coworker]



③ グループ名を編集後、[設定] をタップします。

▶ 次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先グループ名を編集・削除する

連絡先のグループ名を削除する



①  をタップすると、連絡先グループ一覧を表示します。



② グループ名を長押しし、編集ダイアログを表示します。



③ [削除] をタップし、表示されるメッセージで、[削除]を選択すると、削除処理を行います。



※ [所属連絡先も全て削除] にチェックを入れて削除を行った場合、所属連絡先も削除します。ただし、選択グループ以外のグループにも所属していた場合は削除せずに残します。

スマートフォンの連絡先を利用する

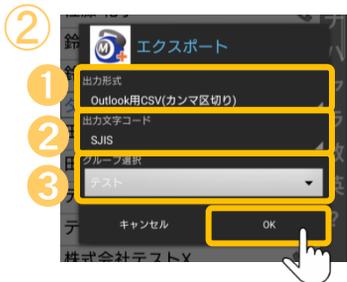
連絡先をエクスポートする

連絡先をVCard形式またはCSV形式のファイルとして端末内に保存することができます。端末に内蔵ストレージもSDカードもない場合は保存できません。

連絡先をエクスポートする



- ①「電話帳」画面＞[連絡先]タブ画面右上のメニューをタップし、[エクスポート]を選択します。



- ②エクスポート画面で以下入力後、[OK]をタップします。

- ①データの出力形式を選択します。

■ Outlook用CSV(カンマ区切り)

Outlookでインポートできる形式のCSVファイルとして出力します。

■ Gmail用CSV(カンマ区切り)

Gmailでインポートできる形式のCSVファイルとして出力します。

■ vCard形式

全ての連絡先を1つのVCardファイルとして出力します。

- ②出力ファイルの文字コードを選択します。

■ SJIS

SJISを使用します。Windows上で使用する場合はこちらを選択します。

■ UTF-8

UTF-8を使用します。

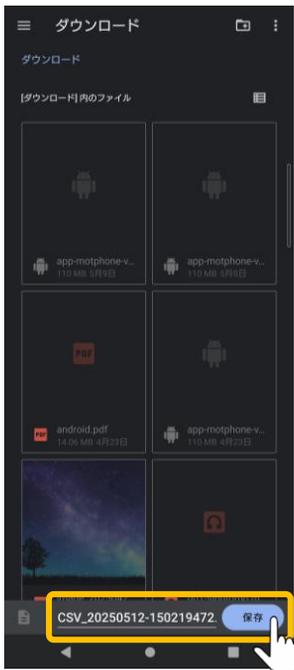
- ③選択したグループ内の連絡先をエクスポートします。検索中の場合は、検索された連絡先をエクスポートします。

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

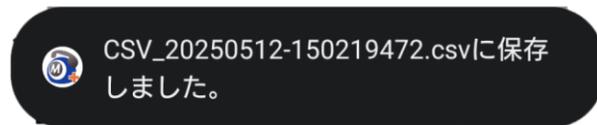
連絡先をエクスポートする

③



- ③[OK]をタップ後に、ダウンロード画面を表示します。
[保存]をクリックすると指定したファイルに保存します。
※ファイル名は変更も可能です。

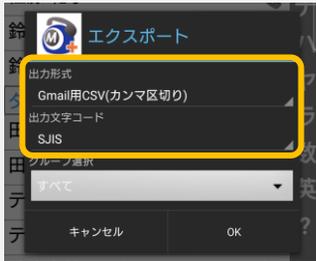
エクスポート後は、以下のようなメッセージが表示されます。



スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先をGmailにインポートする

「Gmail用CSV(カンマ区切り)」や「Vcard形式」でエクスポートした連絡先をGmailにインポートします。連絡先を一度にインポートすることができます。



「電話帳」画面>[連絡先]タブ画面右上>

☰メニュー>[エクスポート]にて、

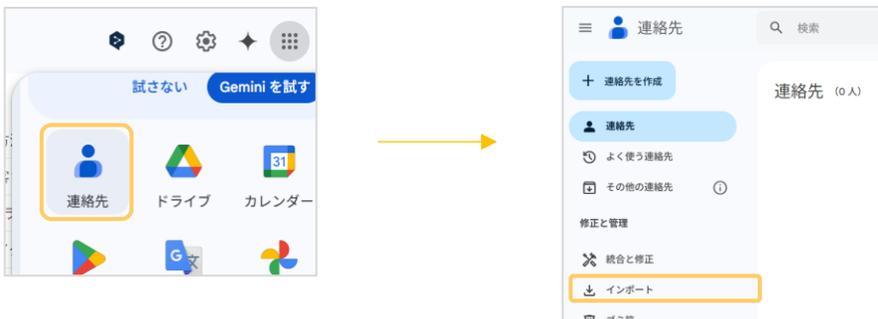
「Gmail用CSV(カンマ区切り)」または「VCard形式」

として連絡先情報を出力したファイルを、インポートします。

■ Gmailにインポートする

※Gmailの使い方については、Googleのヘルプページを参照してください。
USB接続するなどして、CSVファイルをPCから読み取れるようにしてください。

① Gmail画面右上のプルダウンメニューで [連絡先] を選択し、
[インポート] を選択



② [ファイルを選択] でエクスポートしたファイルを選択し、[インポート] を押す

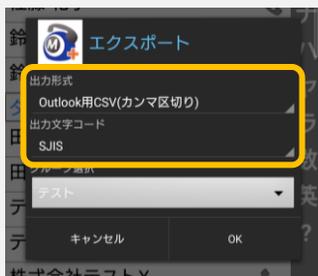


図: Gmail 2025.5.16現在

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先をOutlookにインポートする

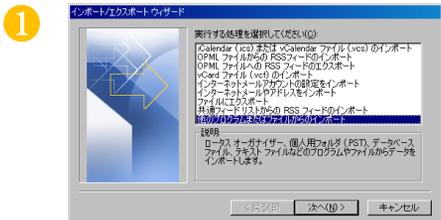
「Outlook用CSV(カンマ区切り)」でエクスポートした連絡先をOutlookにインポートします。連絡先を一度にインポートすることができます。



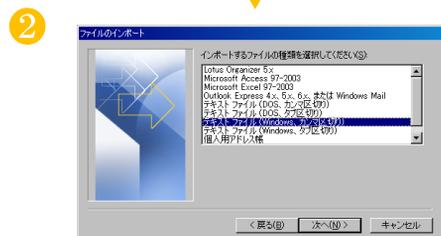
「電話帳」画面>[連絡先]タブ画面右上>
 ≡メニュー>[エクスポート]にて、
 「Outlook用CSV(カンマ区切り)」、「SJIS」として
 連絡先情報を出力したファイルを、インポートします。

■ Outlookにインポートする

Outlookのメニューから[ファイル]>[インポートとエクスポート]を選択し、以下の手順でインポートを行います。USB接続するなどして、CSVファイルをPCから読み取れるようにしてください。



1 「他のプログラムまたはファイルからのインポート」を選択



2 「テキストファイル(Windows、カンマ区切り)」を選択

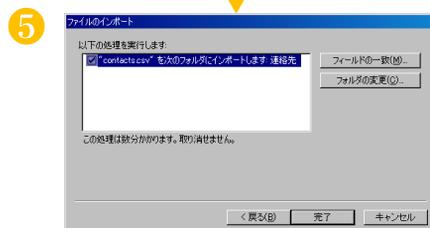
Outlook2007



3 オプションを選択



4 「連絡先」を選択

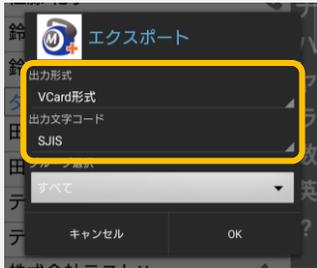


5 「完了」を選択

スマートフォンの連絡先を利用する

連絡先をOutlookに1件ずつインポートする

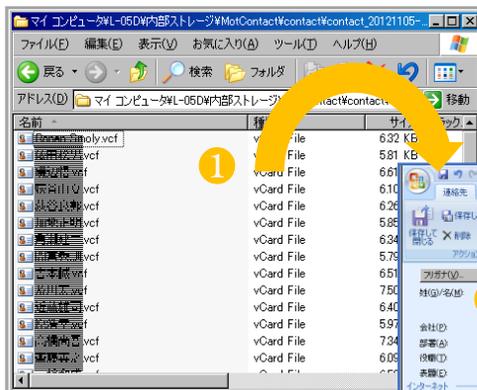
「VCard形式(個別ファイル)」でエクスポートした連絡先を一件ずつ確認しながらOutlookにインポートします(大量のインポートには適しません)。



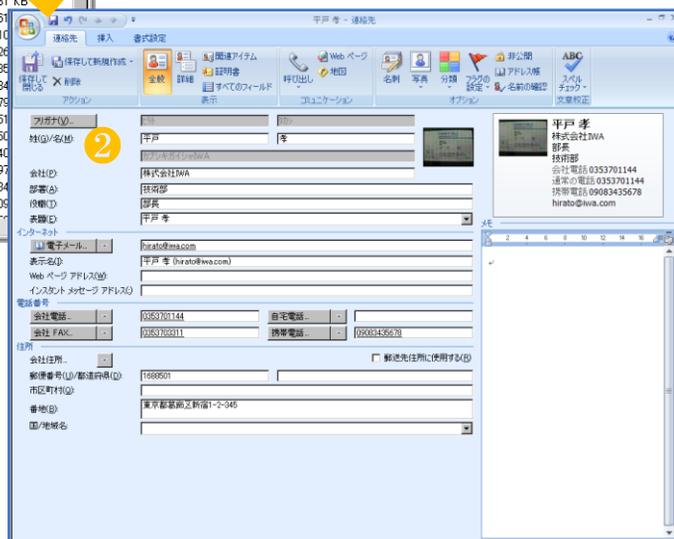
「電話帳」画面>[連絡先]タブ画面右上>
 ≡メニュー>[エクスポート]にて、
 「VCard形式(個別ファイル)」または「SJIS」として
 連絡先情報を出力したファイルを、インポートします。

■ Outlookに1件ずつインポートする

VCardファイルをOutlookにドラッグ&ドロップします。1件ずつ内容の確認・編集を行い、保存します。USB接続するなどして、CSVファイルをPCから読み取れるようにしてください。



①インポートするVCardファイルを選択し、Outlookの連絡先画面上にドロップ



②[保存して閉じる]を選択

図: Outlook2007

Googleアカウントと連絡先を同期する

端末の連絡先を同期させるGoogleアカウントを選択し、同期を実行します。

「設定」> 標準連絡先設定 > Googleアカウントの同期設定 > アカウントと同期の設定

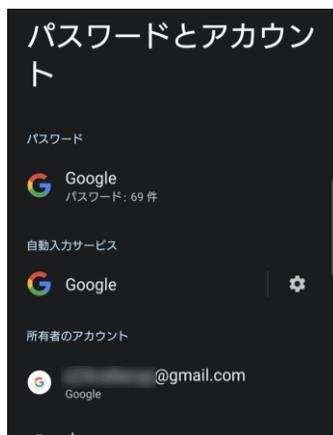
端末の連絡先を同期させるGoogleアカウントを設定します。

①



①「アカウントと同期の設定」をタップすると、端末の設定画面を表示します。

②



②同期させるGoogleアカウントを選択します。

※端末設定メニューの名称・画面は端末によって異なります。

▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

Googleアカウントと連絡先を同期する

「設定」> 標準連絡先設定 > Googleアカウントの同期設定 > Googleアカウントと同期

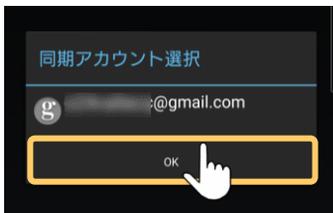
次に、設定したGoogleアカウントの連絡先と手動同期します。

①



①「Googleアカウントと同期」をタップすると、同期アカウント選択の画面を表示します。

②



②手動同期するGoogleアカウントをダイアログから選択後、[OK]をタップします。

同期が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



▶次ページへ続く

スマートフォンの連絡先を利用する

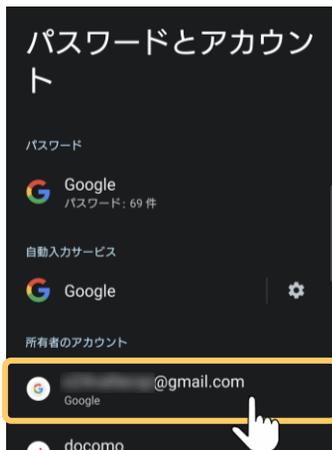
Googleアカウントと連絡先を同期する

設定したGoogleアカウントの連絡先と手動同期する際の注意事項です。

注意事項

Googleアカウントの自動同期機能には、同期が完了しない・同期中に連絡先を編集すると連絡先が消えてしまうという問題があります。
そのため自動同期機能は通常オフにして、必要に応じて手動同期することをお勧めします。

①



①端末の「設定」>「パスワードとアカウント」にて、設定>標準連絡先設定>Googleアカウントの同期設定>[「アカウントと同期の設定」](#)で、同期したGoogleアカウントをタップします。

②



②「アカウントを同期」をタップし、「連絡先」の同期をオフにします。

※端末設定メニューの名称・画面は端末によって異なります。



自動同期をオフ

スマートフォンの連絡先を利用する

MOT/Phone+以外の電話帳アプリで連絡先を編集する

別の電話帳アプリを利用して、連絡先の追加・編集を行うことができます。

「設定」> 標準連絡先設定 > 他のアプリで連絡先を編集

①



①「他のアプリで連絡先を編集」にチェックを入れると、電話帳(Android端末の連絡先)の追加・編集時に、別のアプリを選択するダイアログを表示します。

<電話帳の編集画面>



編集画面を表示



選択ダイアログを表示

編集するアプリの選択が可能です。

複数のアカウント(セカンダリアカウント)を利用する

MOT/Phone+アカウントを複数利用する際に設定します。
「冗長化構成」や「複数グループへの所属」が可能です。

「設定」> 接続設定 > セカンダリアカウント

セカンダリアカウント登録の「ローカルアカウント設定」、もしくは「グローバルアカウント設定」を選択します。



①ローカルアカウント、または
②グローバルアカウントの
アカウント情報を入力します。



①グローバルアカウントの設定

- ①「4G/公衆無線LAN利用」にチェックを入れます。
- ②タップ可能になった「グローバルアカウント設定」をタップします。

②ローカルアカウントの設定

- ①「ローカルアドレス利用」にチェックを入れます。
- ②タップ可能になった「ローカルアカウント設定」をタップします。

③利用する内線番号、パスワードと接続するPBXの
アドレスを入力します。

▶次ページへ続く

複数のアカウント(セカンダリアカウント)を利用する

④



④ 発信用アカウント設定

① 発信選択

発信時に、「プライマリ」「セカンダリ」どちらのアカウントから発信するか選択します。

発信の都度、選択する場合は、「都度選択」を選択します。初期値は「都度選択」です。

・「都度選択」を選択している場合、発信の都度、選択画面を表示します。



・発信の都度、発番号を選択する「[発番号選択の利用](#)」を併用利用する場合、上段で、「プライマリ」「セカンダリ」を選択する画面、下段で、発番号を選択する画面を表示します。



② 登録状態確認

発信時に、①「発信選択」で選択しているアカウントがサーバ登録状態が接続失敗の場合、「ON」にしていると、自動でもう1つのアカウントの状態を確認し、接続成功の場合はそこから発信します。「OFF」の場合は、発信不可のメッセージが表示し、発信が行えません。

※①「発信選択」で「都度選択」を選択している場合は、本項目が「ON」「OFF」どちらでも動作は同じです。発信時に、2アカウントともサーバ登録が成功している場合は、通常通り、選択画面を表示し、1アカウントのみサーバ登録が成功している場合は、成功しているアカウントから発信します。

▶ 次ページへ続く

複数のアカウント(セカンダリアカウント)を利用する

<セカンダリアカウントを利用する際の表示>



①初期設定(アカウント登録)で設定したアカウントのサーバ登録状態と内線番号を表示します。

②セカンダリアカウント登録で設定したアカウントのサーバ登録状態と内線番号を表示します。

①、②ともに、ローカルアカウントとグローバルアカウントを設定している場合は、サーバ登録状態が有効になっているほうの内線番号を表示します。

※①、②両方のアカウントが設定されている場合は①のサーバ登録状態を表示します(ただし、サーバ接続成功の場合)。

①がサーバ接続失敗の場合は、②のサーバ登録状態を表示します。

注意事項

- パークランプの制御は優先的に動作しているアカウントのみで利用可能です。
- 着信履歴にどちらのアカウントで着信したかの表示はされませんのでご注意ください。

MOT/Cha機能を利用する

「MOT/Cha」は、チャット機能です。

「PBXアカウント」を利用する場合と、「MOT/HG (MOT/Cloud) アカウント」を利用する場合の2種類あり、ご利用いただくために各設定が必要です。

MOT/Chaは、ホーム画面の「**MOT/Cha**」メニューをタップしてチャット機能をご利用いただきます。



<運用前の設定>

- ① [「MOT/Cha」機能を有効にする。](#)
- ② [利用するチャットサーバーを選択する。](#)
- ③ [MOT/Chaのアカウント種類を選択する。](#)
- ④ 利用するMOT/Chaアカウントを設定する。
 - ・[PBXのアカウント設定](#)
 - ・[MOT/HGのアカウント設定](#)
- ⑤ [ホーム画面に「MOT/Cha」のメニューボタンを追加する。](#)
- ⑥ [利用するMOT/Chaのプロフィールを編集する。](#)

設定詳細は、各ページをご参照ください。

MOT/Cha機能を有効にする

チャット機能をご利用になる場合に、チャット画面を表示するための設定が必要です。

「設定」> MOT/Cha設定 > MOT/Chaの有効化

①



①「MOT/Cha設定」をタップします。

②



②「MOT/Chaの有効化」にチェックをつけて、MOT/Cha機能を有効にします。

MOT/Cha機能を有効にし、「MOT/Cha設定」画面の各設定を行ってください。

- ・[チャットサーバ選択](#)
- ・[優先表示アカウント](#)

「MOT/Cha設定」画面の各設定後は、画面右上の
メニューから「アプリ終了」を選択し、
 アプリを終了後、再起動してください。

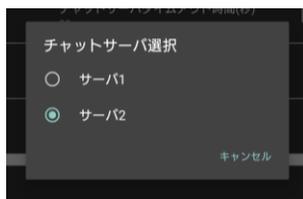


チャットサーバを指定する

ご利用になるチャットサーバを指定してください。
※お客様によって、ご利用のチャットサーバが異なります。

「設定」> MOT/Cha設定 > チャットサーバ選択

①



①「**チャットサーバ選択**」をタップし、開通通知に記載されているチャットサーバを選択します。

以下から選択できます。

- ・サーバ1
- ・サーバ2

初期値は「サーバ2」です。

※**初期起動**のダイアログで、正しいサーバを選択済の場合は、対応不要です。

注意事項

本設定にてチャットサーバの選択が必要な場合は別途弊社からご案内いたします。
ご案内がない場合は初期値の「サーバ2」のままご利用ください。

表示するチャットアカウントを選択する

利用する種類のMOT/Chaを、優先して表示するアカウントとして設定します。
MOT/Chaのアカウントは、「MOT/PBX」と「MOT/HG」の2種類ございます。

「設定」> MOT/Cha設定 > 優先表示アカウント

チャット機能画面を表示する際に、どちらのアカウントのチャット画面を表示するか、設定画面で登録することができます。



①「**優先表示アカウント**」をタップし、利用するMOT/Chaの種類を選択します。



②表示する(利用する)MOT/Chaを選択します。

①SMS/PBX

PBX認証アカウントを利用する際に選択してください。

②MOT/HG

MOT/HG認証アカウントを利用する際に選択してください。

③都度選択

PBX、MOT/HGの2つのアカウントを設定している場合に選択すると、チャット画面を開く際にアカウントの選択ダイアログが都度表示され、表示したいアカウントのチャット画面を選択して開くことが可能になります。

チャット画面を開くと、上記②で選択したアカウントのチャット画面を表示します。

※PBX、MOT/HGの2つのアカウントを利用しており、**③**の「都度選択」を選択していない場合は、チャット画面右上メニューの「**アカウント変更**」をタップで、MOT/Chaアカウントの切り替えが行えます。

MOT/Chaアカウントの切り替えが可能



MOT/Chaの利用登録を行う
(PBX認証)

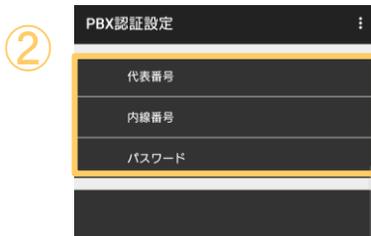
<PBXアカウントをご利用のお客様>

MOT/PBX側で作成したアカウント情報を入力して設定を行います。

「設定」> MOT/Cha設定 > PBX認証設定



①「PBX認証設定」をタップします。



②PBXアカウント情報(代表番号、内線番号、パスワード)を入力します。

※PBXアカウント情報は、MOT/PBXのユーザー設定画面で作成します。

以下が表示されたら認証成功です。



※「優先表示アカウント」は「SMS/PBX」を選択してください。

MOT/Chaの利用登録を行う
(PBX認証)

※または、PBXアカウント情報を未登録の状態^①で、ホーム画面の「MOT/Cha」メニューをタップすると、MOT/ChaのPBXアカウント設定画面を表示します。



1

代表番号 代表番号
内線番号 内線番号
パスワード パスワード

2

PBXアカウント登録

携帯番号の登録

- 1 PBXアカウント情報を入力。
- 2 入力後、[PBXアカウント登録]をタップし、認証。

プロフィール

代表番号 0322221111
内線番号 330

プロフィールを設定してください。

名前 OK

ひとこと ひとこと

言語 日本語

保存

- 3 認証後、プロフィール画面へ移行します。
プロフィール編集の詳細は、[「MOT/Chaのプロフィールを編集する」](#)ページをご参照ください。

注意事項

- 同じ代表番号を登録したMOT/Chaユーザ同士のみチャットが可能です。
- 既に削除されたPBXアカウントでは認証できません。

MOT/Chaの利用登録を行う
(MOT/HG認証)

<MOT/HGアカウントをご利用のお客様>

MOT/HG(MOT/Cloud)のアカウント情報を入力して設定を行います。

「設定」> MOT/HG設定

①



①MOT/HG(またはMOT/Cloud)の**契約顧客コード**、**ユーザID**、**パスワード**を入力してください。

「**MOT/HGと連携する**」項目にチェックをしてくだ。

入力後、以下が表示されたら認証成功です。



※「**優先表示アカウント**」は「**MOT/HG**」を選択してください。

ホーム画面に「MOT/Cha」メニューを表示する

MOT/Cha機能を利用するため、ホーム画面に「MOT/Cha」メニューのボタンを表示します。

「MOT/Cha」メニューを表示する

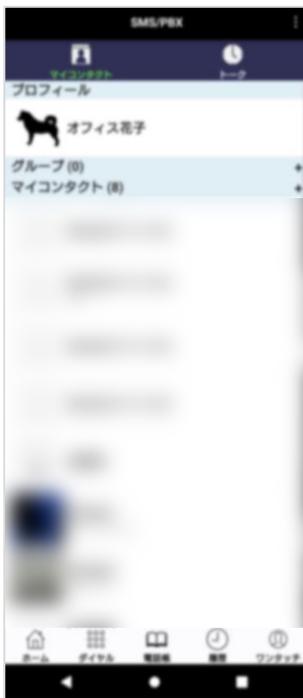
- ① ホーム画面の「メニュー追加」をタップします。
- ② メニュー追加画面から、「MOT/Cha」を選択します。
- ③ 画面左上の◀ で、ホーム画面に戻ります。
- ④ ホーム画面に、「MOT/Cha」メニューが表示されます。

▶次ページへ続く

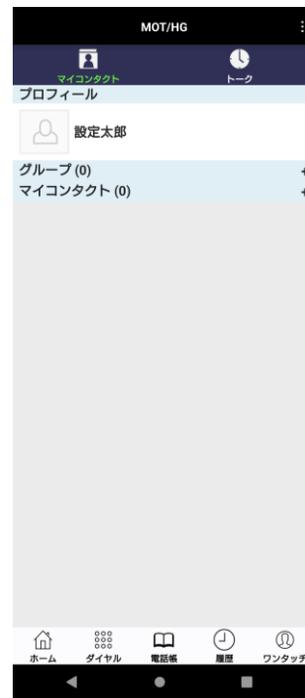
ホーム画面に「MOT/Cha」メニューを
表示する

- ⑤「MOT/Cha」メニューをタップすると、「MOT/Cha」画面を開きます。

<PBXアカウント>



<MOT/HGアカウント>



MOT/Chaのプロフィールを編集する

MOT/Cha利用登録の認証を行った後、ホーム画面の「MOT/Cha」メニューを開き、自分のプロフィールの編集を行ってください。

MOT/Chaのプロフィールを編集する



① MOT/Cha画面の「マイコンタクト」を選択します。

② 「プロフィール」をタップし、プロフィール画面で、自身のプロフィールを編集します。



1. プロフィール画像

他ユーザのマイコンタクトやチャット画面で表示される画像を設定します。

 をタップし、カメラで撮影するか、保存済の画像を選択します。

2. 名前

他ユーザのマイコンタクトやチャット画面で表示される名前を設定します（初期値は“電話番号-内線番号”）。

3. ひとこと

他ユーザのマイコンタクトで表示するひとことメッセージを設定します。

4. 言語

システムから送信される通知メッセージおよび自分が使うスタンプ画像の言語を選択します。

スタンプは日本語、または英語のみになります。他の言語を選択した場合は、日本語のスタンプになります。

注意事項

- 同じ代表番号を登録したMOT/Chaユーザ同士のみチャットが可能です。
- 既に削除されたPBXアカウントでは認証できません。

▶ 次ページへ続く

MOT/Chaのプロフィールを編集する

<MOT/HGアカウント>



1.プロフィール画像

他ユーザのマイコンタクトやチャット画面で表示される画像を設定します。

 をタップし、カメラで撮影するか、保存済の画像を選択します。

2.名前

他ユーザのマイコンタクトやチャット画面で表示される名前を設定します。

3.ひとこと

他ユーザのマイコンタクトで表示するひとことメッセージを設定します。

4.言語

システムから送信される通知メッセージおよび自分が使うスタンプ画像の言語を選択します。

スタンプは日本語、または英語のみになります。他の言語を選択した場合は、日本語のスタンプになります。

MOT/HGアカウントをご利用の場合は、「名前」はMOT/Cha側では編集不可で、MOT/HG(MOT/Cloud)側で登録されている名前が表示されます。「プロフィール画像」「ひとこと」「言語」の編集は可能です。



③編集後、画面下部の[保存] をタップしてください。

マイコンタクト(チャット相手)を追加・削除する

チャット相手の追加・削除が可能です。



「マイコンタクト」画面にある「マイコンタクト」欄に、登録済のチャット相手を表示します。

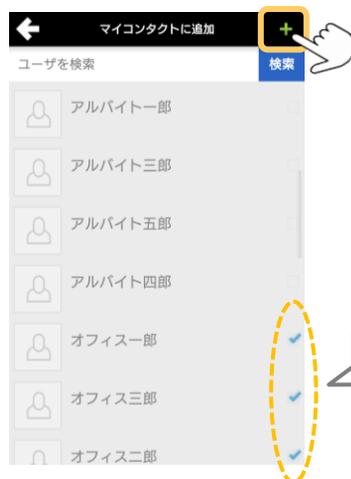
チャット相手を追加する

①



①「マイコンタクト」欄の「+」をタップします。

②



②「マイコンタクトに追加」画面で、チャット相手を追加します。

- ① 追加する相手にチェックをつけます。
- ② チェックをつけたら、+をタップします。

▶次ページへ続く

マイコンタクト(チャット相手)を追加・削除する

③



③チェックをつけたユーザが、チャット相手として「マイコンタクト」に追加されました。

マイコンタクトに追加した時点では、相手には何も通知されません。

■「マイコンタクトに追加」画面に表示されるユーザ

・PBX認証の場合

同一のPBX代表番号を使用しているMOT/Chaユーザがリストアップされます。

・MOT/HG認証の場合

同一の契約顧客コードを使用しているユーザがリストアップされます。

「マイコンタクトに追加」画面の上部の「検索欄」で、名前・フリガナによる検索が可能です。



チャット相手を削除する

①

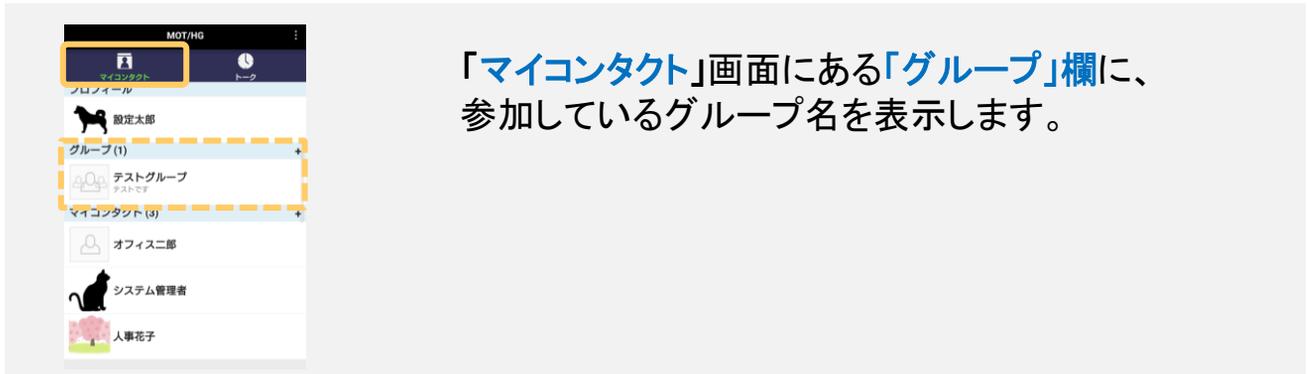


①削除するチャット相手を長押しし、表示される[削除]をタップします。

削除をしても、相手には何も通知されません。

グループを作成する

チャットグループの作成が可能です。
作成したグループを利用して、複数人でチャットを行うことができます。



「マイコンタクト」画面にある「グループ」欄に、
参加しているグループ名を表示します。

グループを追加する



①以下、2通りのどちらかで、グループ作成の画面を表示します。

①画面右上のメニュー をタップして、メニューから「グループ作成」を選択します。

②グループ欄の「+」ボタンをタップします。



②「グループの作成」画面で、作成するグループ内容を入力後、[保存]をタップします。

■「パスワード」項目

グループにパスワードを設定することができます。パスワードを設定したグループは、チャットを開始する際にパスワードの入力が必要になります。

※どなたでもグループ作成が可能です。

※グループの作成者が、そのグループの「オーナー」です。

グループの編集・削除は、オーナー機能となり、オーナーのみ処理を行うことができます。

※オーナーは変更することも可能です。

グループへメンバーを招待する

作成したグループ、または参加中のグループに、メンバーを招待することができます。招待をキャンセルすることも可能です。

グループにメンバーを招待する

グループのオーナー、またはグループに参加中のメンバーが、招待することができます。

- 

①「グループ」欄から、メンバーを招待するグループをタップします。
- 

②[メンバーを招待する] をタップする。
- 

③ユーザー一覧から、招待するユーザにチェックをつけて、画面右上の「+」をタップします。
※「マイコンタクト」に登録済のユーザが招待可能なユーザとして一覧に表示されます。

「+」をタップ後、グループメンバーと、招待したユーザに、招待した旨が通知されます。

▶次ページへ続く

グループへメンバーを招待する

④



④「招待中」欄に、招待したメンバーが表示されます。

招待をキャンセルする

グループのオーナー、またはグループに参加中のメンバーが、招待することができます。

①



①グループオーナーまたは招待した人は、以下の手順で招待をキャンセルすることができます。

②



①「招待中」の欄に表示している招待をキャンセルするユーザを長押しします。

②長押し後に現れる[招待キャンセル]をタップします。

③[OK]をタップすると、該当のユーザへの招待をキャンセルします。



招待をキャンセルすると、グループメンバーと招待をキャンセルしたユーザに通知されます。

招待されているグループへ参加する

グループに招待されると、「NEW」マークが付いたグループが表示され、グループに参加するか、招待を辞退するか選択できます。

グループに参加する

グループに招待されると、「グループ」欄に、「NEW」マークがついたグループが表示されます。

①



①「NEW」マークのついたグループをタップします。

②



②[参加]、[辞退]どちらかを選択します。

①「参加」を選択後、以下のメッセージで「OK」をタップするとグループに参加となり、参加した旨が、グループメンバーに通知されます。

グループに参加します。よろしいですか？

キャンセル

OK

②「辞退」を選択後、以下のメッセージで「OK」をタップすると、グループ招待を辞退します。招待を辞退した場合、グループ一覧から表示が消えます。再度招待された場合は再び表示されるようになります。
※招待を辞退した旨が、グループメンバーに通知されます。

招待を辞退します。よろしいですか？

キャンセル

OK

グループから脱退する

オーナー以外のグループメンバーは、グループから脱退できます。

グループから脱退する

グループの参加者本人が、グループから脱退することができます。

①



①脱退するグループをタップします。

②



②グループ画面右上の  ボタンをタップし、表示されるメッセージで「OK」を選択すると、脱退を実行します。

グループから脱退すると、グループメンバーに通知されます。

- ※  ボタンは、オーナーには表示されません。
- ※脱退したユーザのチャットメッセージは、脱退後も残ります。
- ※オーナーが、参加中のメンバーを削除することも可能です。
メンバー削除方法は「[グループの編集・削除を行う](#)」ページをご参照ください。

注意事項

オーナーは、グループから脱退することができません。
オーナーが脱退したい場合は、オーナーを他のメンバーに変更後に、脱退してください。
オーナー変更方法は「[グループのオーナーを変更する](#)」ページをご参照ください。

グループの編集・削除を行う

※オーナー権限(オーナーのみ作業可能)

オーナーは、グループの編集・削除や、グループメンバーの削除が行えます。

<オーナーとは>

「グループ」欄からグループをタップすると、グループメンバーが一覧で表示されます。

その画面の一番上に、オーナー名が表示されています。

グループ作成時は、グループの作成者が「オーナー」として設定されます。



グループからメンバーを削除する

グループの参加者本人が、グループから脱退することができます。



①以下の手順でメンバーを削除することができます。

- ①削除するメンバーを長押しします。
- ②長押しで現れる[除名]をタップします。

▶次ページへ続く

グループの編集・削除を行う

グループの編集・削除を行う



①編集/削除する対象のグループ画面右上の  ボタンをタップし、グループ編集画面を表示します。

※  はグループのオーナーのみ表示されます。



②以下の手順でグループを編集/削除することができます。

①グループの編集

グループ画像、名前、パスワード、ひとこと、オーナー（詳細は、「[グループのオーナーを変更する](#)」ページをご参照ください）、システムからグループに送信される自動通知メッセージの言語の変更し、**[保存]** をタップすると、編集した内容を保存できます。

②グループの削除

[削除] をタップすると、グループを削除します。

グループのオーナーを変更する

※オーナー権限(オーナーのみ作業可能)

オーナーは、グループのオーナーを変更することができます。

グループのオーナーを変更する



①編集/削除する対象のグループ画面右上の  ボタンをタップし、グループ編集画面を表示します。

※  はグループのオーナーのみ表示されます。



②以下の手順でオーナーを変更することができます。

①「オーナー」をタップすると表示される「オーナー選択」画面から、オーナー権限を譲渡するメンバーを選択します。

②メンバーを選択後、[保存] をタップすることで、編集した内容を保存できます。



③[保存]をタップ後、グループのオーナーが、選択したメンバーに変わっていることをご確認ください。

チャットをする

チャットでは、メッセージ、画像、動画、録音データ、位置情報、スタンプを送ることができます。

チャットを送る

①



①「マイコンタクト」の「マイコンタクト」欄から、チャットを送る相手を選択します。

すでにチャットのやり取りをしたことがある相手の場合は、「トーク」をタップし、履歴の中から、チャットを送る相手を選択する方法もございます。

②



②選択した相手とのチャット画面を表示します。

トーク画面下部の入力欄にメッセージを入力し、**[送信]**をタップすると、メッセージを送信します。

メッセージは途中で改行することも可能です。メッセージ内に含まれたURL、およびIPアドレスには自動的にリンクが張られ、クリックするとブラウザで表示することができます。

▶次ページへ続く

チャットをする



③メッセージ入力欄の左側にある  をタップすると、各メニューを表示します。



1.カメラ

カメラで写真を撮影し、送信します。

2.写真

端末内に保存した写真や画像を送信します。

3.動画

端末内に保存した動画、またはカメラで動画を撮影し、送信します。

30秒以内かつ2Mbyte以内の動画が送信可能です。

4.スタンプ

スタンプ画像を送信します。

5.位置情報

現在地の位置情報を送信します。

位置情報を送信するには、端末の設定で「位置情報サービス」>「位置情報にアクセス」がオンになっている必要があります。

※端末設定メニューの名称は、端末によって異なります。

位置情報の精度

無線ネットワークによる位置情報の取得を有効にしてWi-Fi接続を行うことにより、より正確な位置情報を取得することができます。GPS機能による位置情報取得の場合、屋内やビルの谷間などの衛星通信が行いにくい場所では取得に失敗したり、精度が低くなる場合があります。

6.録音

音声を録音し、送信します。3分以内の音声を送信可能です。

画像・動画・位置情報・音声データを 表示する

送信された画像、動画、音声データ、位置情報の詳細を表示することができます。また画像は端末内に保存することができます。



①画像

画像を拡大表示します。画面上でピンチアウト操作することにより、さらに拡大することができます。

②位置情報

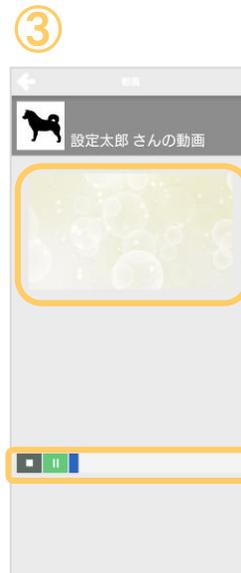
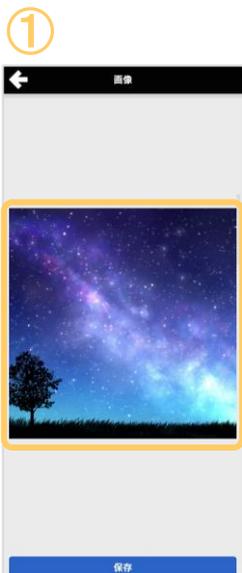
地図上にマーカーを表示します。また下部に住所を表示します。

③動画

動画の再生画面を表示します。再生ボタンを押すと動画が再生されます。

④音声

音声の再生画面を表示します。再生ボタンを押すと音声再生されます。



メッセージをコピー・編集する

メッセージのコピー、または送信した自身のメッセージを編集することができます。

チャットメッセージをコピー&ペーストする

①



- ①コピーするメッセージのふきだし部分の上部にある アイコンをタップすると「編集」「コピー」のメニューを表示します。

②



- ②「コピー」を選択すると、ふきだし内の文章をコピーします。

※自身が送信したテキストメッセージの場合は「編集」と「コピー」、
自分以外が送信したテキストメッセージの場合は、「コピー」のみのメニューを表示します。

③



- ③コピー後、メッセージ入力欄をタップし、長押しすると表示する「貼り付け」をタップすることで、コピーしたメッセージをペーストすることができます。

▶次ページへ続く

メッセージをコピー・編集する

チャットメッセージを編集する

自身が送ったメッセージを編集することができます。

①



- ①自身のメッセージのふきだし部分の上部にある アイコンをタップすると「編集」「コピー」のメニューを表示します。

②



- ②「**編集**」を選択すると、「メッセージの編集」画面を表示します。

※自身が送信したテキストメッセージのみ編集可能です。

③



- ③「メッセージの編集」画面で、メッセージを編集します。
メッセージは、最大1万文字まで入力できます。
編集後、**[保存]**ボタンをタップしてください。

※編集後のメッセージは相手にプッシュ通知されません。

メッセージを検索する

キーワードを入力することで、表示するメッセージを絞り込むことができます。

メッセージをキーワード検索する

①



- ①チャット画面右上にある🔍をタップすると、画面上部に検索欄が表示されます。



②



- ②検索欄にキーワードを入力し、欄内の🔍をタップして検索を実行します。
発言者名またはメッセージ本文にキーワードを含むものだけが表示されるようになります。
(最大100件)

③



- ③チャット画面右上にある🔍をタップすると、検索を終了して全件表示に戻ります。

送信失敗したメッセージを再送する

送信に失敗したメッセージは自動的に下書きとして保存されます。
下書きメッセージは後から再送信することができます。

送信失敗メッセージを再送する



①  アイコンをタップし、メニューを表示します。



②メニューから選択します。

①「送信」

下書きメッセージを再送します。

送信に成功すると、下書きはそのまま反映されます。

②「編集」

下書きメッセージを編集して送信します。

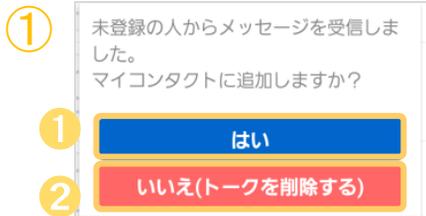
「削除」

下書きメッセージを送信せずに削除します。

受信メッセージから、マイコンタクト 未登録のユーザを追加する

自分のマイコンタクトに登録していないユーザからメッセージを受信すると、トーク画面にマイコンタクト追加のメッセージが表示されます。

未登録のユーザを追加する



- ①マイコンタクトに未登録のメッセージを受信すると、「未登録の人からメッセージを受信しました。マイコンタクトに追加しますか？」のメッセージを表示します。

マイコンタクトに登録する場合は、[はい]を選択します。

①[はい]を選択する

マイコンタクトに登録します。
(マイコンタクトに登録した時点では、相手に何も通知されません。)

②[いいえ]を選択する

マイコンタクトに登録せず、トーク自体を削除することができます。

※同じユーザから再度メッセージを受信した場合、また同じメッセージが表示されます。

グループにチャットをする

グループチャットの使い方は一対一のチャットと同じです。
グループチャットでの発言はグループ内の全メンバーに通知されます。

グループにチャットを送る

参加しているグループ内で、メッセージを送ることができます。
※グループチャットの場合、マイコンタクトに登録していないユーザでも、
同じグループの参加しているユーザーとチャットすることができます。



①「マイコンタクト」の「グループ」欄から、チャットをするグループを選択します。

※すでにトーク履歴のあるグループの場合は、「トーク」の一覧画面から、チャットをするグループを選択し、グループのトーク画面を表示することも可能です。



②グループ選択後、[チャット] をタップし、グループのトーク画面を表示します。

▶次ページへ続く

グループにチャットをする



- ③グループのトーク画面でメッセージを入力後、**[送信]**をタップすると、グループメンバー全員に通知します。

グループ内のメンバーに個別チャットを送る



- ①グループのトーク画面で、個別チャットを送るメンバーのアイコン画像をタップします。



- ②該当メンバーのプロフィール画面を表示し、画面上部の**[チャット]**をタップすることで、該当のメンバーとのトーク画面を表示し、個別チャットを開始することができます。

グループチャットで引用返信する

グループチャットのトークに限り、対象とするメッセージに対して引用した返信が行えます。利用することで、どのやり取りに対しての返信かわかりやすくなります。

メッセージを引用した返信をする

グループチャットのトーク画面を表示します。



- ① トーク画面内で、引用するメッセージの
← アイコンをタップします。



- ② 吹き出しが黄色になり、引用返信モードになります。

引用返信モードを解除したい場合は、再度 ← アイコンをタップすると、通常に戻ります。

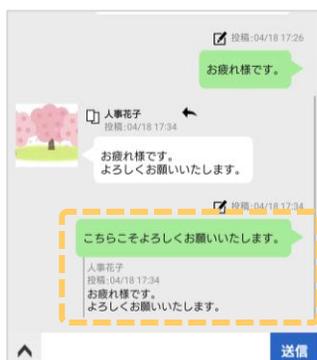


- ③ 返信するメッセージを入力し、[送信]をタップします。

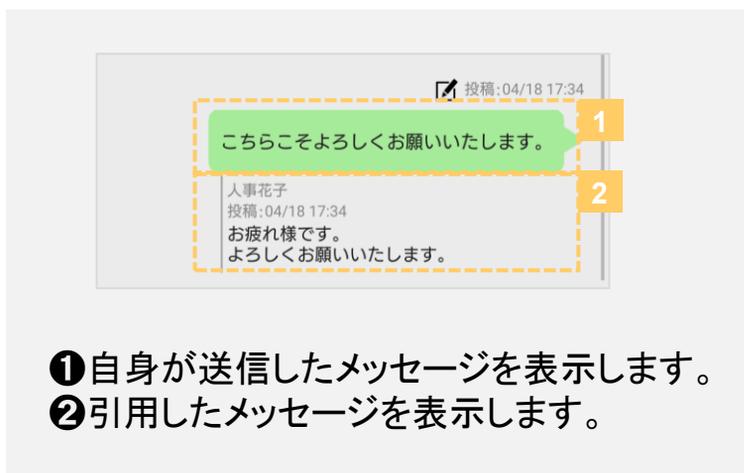
▶ 次ページへ続く

グループチャットで引用返信する

④



④自身が送信したメッセージの下に、前項①で選択した引用対象のメッセージを表示します。

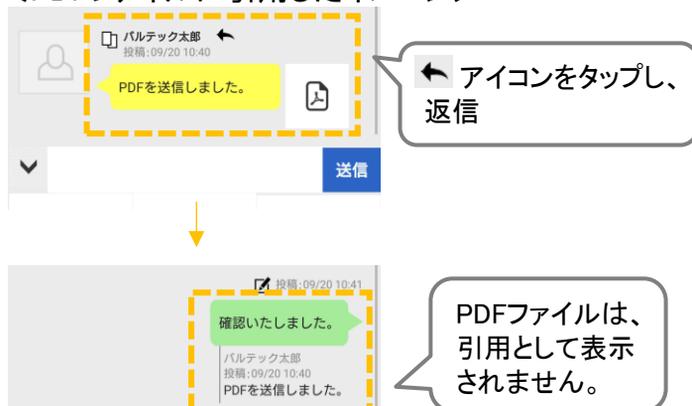


- ①自身が送信したメッセージを表示します。
- ②引用したメッセージを表示します。

注意事項

- 引用返信は、グループチャットのトーク画面で行うことができます。1対1のトーク画面では、引用返信は利用できませんのでご注意ください。
- PDFファイルに引用返信をした場合は、以下のように引用したPDFファイルは表示されません。

＜PDFファイルに引用したイメージ＞



トーク画面を表示する

トーク画面は、自分の個別チャットやグループチャットの履歴を表示します。
新着メッセージがあると、トークタブにバッジが表示されます。

<トーク画面>



個別チャットの履歴や、グループチャットの履歴を表示します。

受信した新着メッセージのトークを開く



- ① 新着メッセージを受信すると、「トーク」に通知バッジを表示します。
通知バッジがついているメンバーをタップし、相手とのトーク画面を開きます。

トーク履歴を削除する

トーク画面は、自分の個別チャットやグループチャットの履歴を表示します。
新着メッセージがあると、トークタブにバッジが表示されます。

トーク履歴を削除する



①削除対象となるメンバーを長押しします。



②長押し後に表示する[削除]をタップします。



③[OK]をタップすると、トーク履歴を削除します。

送信された画像を端末に保存する

チャットで送信された画像を端末内のストレージに保存します。

画像を保存する

①



①チャット画面からサムネイルをタップすると、画像を表示します。

②



②「保存」ボタンをタップすると、端末内に画像を保存します。

チャット画面から電話をかける

チャット画面からMOT/Phone+で発信することができます。

チャット画面からMOT/Phone+で発信する

①



①メッセージ内の電話番号をタップすると、MOT/Phone+の画面が起動し、その番号に発信します。



MOT/FAXの設定を行う

MOT/PBXの機能を利用して、FAXの送受信を行うことができます。

■MOT/FAX利用をするためには・・・

- ・PBXの設定画面で設定が必要です。
MOT/FAX利用の設定が行われている場合、FAX利用メールアドレス情報が弊社から発行されます。
- ・MOT/FAXをMOT/Chaで利用する場合も、FAX専用のMOT/Chaグループを弊社側で設定する必要があります。

「設定」> FAX設定

①



①「MOT/FAX設定」画面で、MOT/FAXが利用するメールアドレス、パスワード(FAX利用メールアドレス情報)を入力します。

※セカンダリアカウントのPBXからFAX送信を行う場合は、「セカンダリPBXを利用」にチェックを入れます。

SMTPサーバとSMTPポートは、初期値のままご利用ください。

- ・SMTPサーバ: smtp.mot-net.com
- ・SMTPポート: 587

FAXを送信する

PDFファイルを、FAX送信することができます。
※FAXの送受信に対応したMOT/PBXのバージョンアップが必要です。

MOT/ChaでFAXを送信する

- 

① チャット画面右上のメニュー  をタップして、メニューから「FAX送信」を選択します。
- 

② FAX送信画面で、送信ファイルを選択します。
送信ファイルの選択方法は、2通りございます。

 - ① 画面中央アイコンをタップし、ファイルを選択。
 - ② 右上のメニューをタップして、メニューから「ファイル選択」を選択後、ファイルを選択。
- 

③ 送信ファイルを選択すると、FAX送信画面に選択したファイルが表示された状態になります。

▶ 次ページへ続く

FAXを送信する



<送信先を選択する>

④ 送信ファイルを選択後、送信先のFAX番号を入力します。

送信先のFAX番号を入力する方法は、以下2通りございます。

① 「FAX番号」欄に、FAX番号を直接入力します。

② 「FAX番号」欄内のアイコンをタップして電話帳を表示し、送信先の連絡先を選択してFAX番号をセットします。

※Android端末の連絡先から選択可能です。共通電話帳の連絡先は選択できません。



<送付状を選択する>

⑤ FAXに送付状をつける場合は、「送付状: 添付なし」の箇所をタップし、送付状選択の画面を表示します。



⑥ 送付状選択の画面で、送信する送付状を選択します。

① 選択ボックスから送付状を選択します。

② サムネイル画像一覧から、送付状を選択します。

※送付状が不要の場合は、初期値の「添付なし」が選択された状態のままにしてください。

▶次ページへ続く

FAXを送信する

⑦



⑦送付状を選択後、画面下部の「設定」をタップします。

※「リスト更新」ボタンをタップすると、PBXに登録済みの最新の送付状情報を取得します。FAX利用設定で選択した（プライマリまたはセカンダリ）PBXで内線が利用可能状態である必要があります。

⑧



⑧送信先の番号入力、送付状の選択後、FAXを送信します。

画面右上の「送信」をタップし、FAXを送信します。



「送信」をタップ後、画面下部に「FAXを送信しました。」のメッセージを表示します。

※この時点では、送信を実行した状態で、送信は完了していません。

<送信結果>



送信が成功すると、FAXの送信レポートが、チャットのメッセージとして届きます。

※何らかの理由により送信ができなかった場合は、「FAXを送信できませんでした。」のエラーメッセージが届きます。

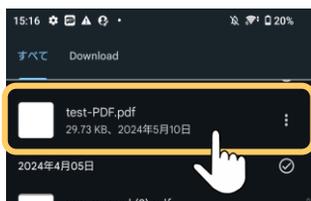
端末に保存されているPDFファイルを
MOT/Phone+からFAX送信する

PDFファイルの表示にMOT/Phoneを選択すると、FAX送信画面を開いてプレビューを表示します。前ページと同じ要領でFAX送信することができます。

選択したPDFファイルを、FAXを送信する

※端末に保存されているPDFファイルの選択→アプリを選択の方法は、ご利用の端末によって異なります。

①

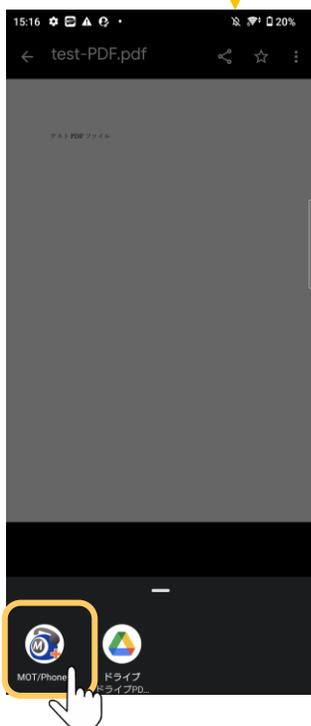


①ファイルエクスプローラーで、端末に保存されているPDFファイルを選択します。

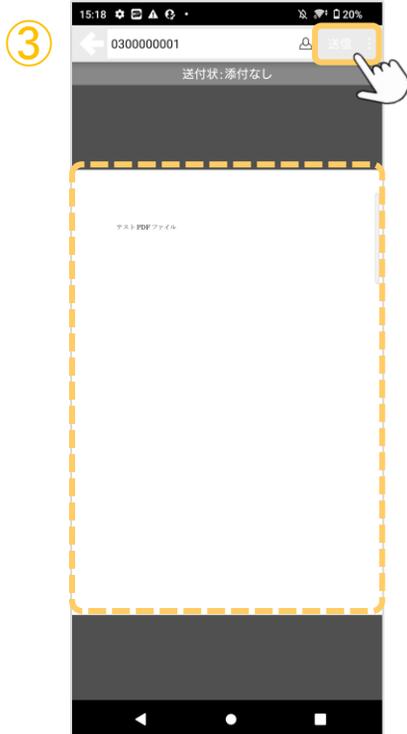
②



②画面右上の **⋮** をタップし、「アプリで開く」>「MOT/Phone+」アプリを選択します。



▶次ページへ続く

端末に保存されているPDFファイルを
MOT/Phone+からFAX送信する

- ③FAX送信画面に、選択したPDFファイルがプレビュー表示されます。
前ページの要領で送信先番号を入力し、
[送信]ボタンをタップするとFAXを送信します。

※「FAXの利用設定」が行われていない場合は、PDFビューアとして機能します。

チャットで送受信したファイルをFAX送信する

チャットで送受信したPDFファイルを、FAXで送信することができます。

選択したPDFファイルを、FAXを送信する

①



①PDFファイルをタップして、チャット画面を開き、投稿されたPDFのコメント横に添付されているPDFアイコンをタップします。

②



②FAX送信画面に、選択したPDFファイルがプレビュー表示します。
前々ページの要領で送信先番号を入力し、
[送信]ボタンをタップするとFAXを送信します。

※「FAXの利用設定」が行われていない場合は、PDFビューアとして機能します。

FAXを転送する

MOT/FAXの受信先としてMOT/Chaを設定すると、MOT/Chaで受信したFAXを確認できます。また、受信FAXを別のFAX番号へ転送することができます。

受信したFAXを転送する

①



① FAX受信用に設定されているグループをタップして、グループを開きます。

②



② 受信したFAXのコメント横に添付されているPDFファイルをタップすると、画面にファイルが表示されます。

③



③ FAX番号を直接入力するか、欄内のアイコンをタップして電話帳を表示し、連絡先を選択して転送先のFAX番号を入力します。

④ 画面右上の[送信]をタップすると表示中のPDFファイルを別の番号へ送信することができます。

FAXで受信したPDFファイルを共有・ 端末保存する

MOT/ChaでFAX受信したPDFファイルを別のアプリケーションで使用することや、端末内に保存することができます。

PDFファイルを共有、保存する



①PDFファイルを共有する

「共有」ボタンをタップすると、別のアプリケーションを使ってPDFファイルを開いたり送信したりすることができます。

②PDFファイルを保存する

「保存」ボタンをタップすると、端末内にPDFファイルを保存します。

別サービスを
チャットで受信する

MOT勤怠管理の申請を受信する

別サービス「**MOT勤怠管理**」をお申込みの方のみ対象です。
承認者は、チャットで申請を受信し、承認/否決をすることができます。

承認者が、MOT勤怠管理の申請を受信する

承認者は、「時間外勤務申請」「有休・特別休暇申請」「時差勤務申請」の申請分をチャットで受信することができます。

※受信のタイミングは、**申請後、即時反映でチャットを受信します**

「MOT勤怠管理」の申請を受信する場合

- ・[MOT/Cha\(MOT/HGアカウント利用\)の設定](#)が必要です。
- ・[MOT/HGアカウント設定](#)が必要です。

①



①受信した申請をタップし、チャット画面を開きます。

②



②対象申請の左上  をタップすることで、画面下部に**[承認]**、**[否決]**ボタンを表示します。

「コメント」を入力し、**[承認]**、**[否決]**いずれかのボタンをタップ後、**[決定]**ボタンをタップしてください。

<チャット画面の更新処理>

承認や却下処理を行った後、30分の単位でチャット画面から消去されます。
(例えば、10:30、11:30、12:30・・・など)

※承認前に、申請者が申請を取り消した承認対象外となった申請書も同タイミングで履歴から消去されます。

別サービスを
チャットで受信する

MOT経費精算の申請を受信する

別サービス「**MOT経費精算**」をお申込みの方のみ対象です。
承認者は、チャットで申請を受信し、承認/却下/差し戻しをすることができます。

承認者が、MOT経費精算の申請を受信する

承認者は、自身が承認すべき全申請分をチャットで受信することができます。
※受信のタイミングは、**30分単位で、チャット受信します**

(即時反映ではありませんので、ご注意ください)

「MOT経費精算」の申請を受信する場合

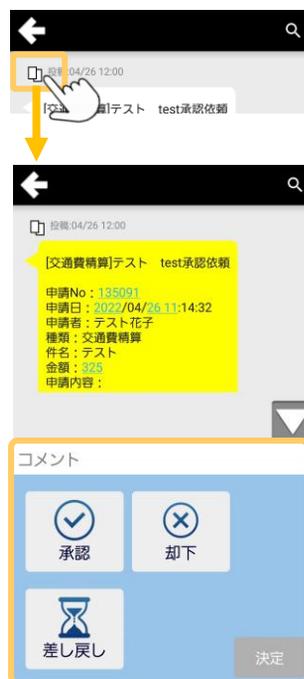
- ・[MOT/Cha\(MOT/HGアカウント利用\)の設定](#)が必要です。
- ・[MOT/HGアカウント設定](#)が必要です。

①



①受信した申請をタップし、チャット画面を開きます。

②



②対象申請の左上をタップすることで、画面下部に[承認]、[却下]、[差し戻し]ボタンを表示します。

「コメント」を入力し、
[承認]、[却下]、[差し戻し]いずれかのボタンを
タップ後、[決定]ボタンをタップしてください。

＜チャット画面の更新処理＞

承認や却下、差し戻し処理を行った後、30分の単位でチャット画面から消去されます。
(例えば、10:30、11:30、12:30・・・など)

※承認前に、申請者が申請を取り消した承認対象外となった申請書も同タイミングで履歴から消去されます。

出退勤機能の設定を行う

別サービス「**MOT勤怠管理**」をお申込みの方のみ対象です。

出退勤機能の設定で、MOT/Phone+で出勤/退勤時の打刻が可能になります。

MOT/Phone+で「MOT勤怠管理」の機能をご利用いただくにあたり、以下の設定です。

ホーム画面に「出退勤」メニューを表示する

①



①ホーム画面に「出退勤」のメニューボタンを表示します。

※ホーム画面に「出退勤」メニューを表示する方法は、[「ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する」](#)ページをご参照ください。

MOT/HGアカウントを設定する

②



②MOT/HGのアカウントを設定します。

設定>MOT/HG設定で、アカウントの設定を行います。

※詳細は「[クラウドサービス「MOT/HG」のアカウント設定を行う](#)」ページをご参照ください。

出退勤の打刻画面

MOT/Phone+で、出勤時や退勤時の打刻を行うことができます。
また、打刻場所の位置情報を保存することも可能です。



「出退勤」メニューをタップすると、
出退勤画面が表示されます。

項目	内容
①現在の状態	現在の出退勤状態を表示します。
②現在の時刻	現在の時刻を表示します。 ※「MOT勤怠管理」で設定したタイムゾーンの時刻が表示されますので、スマートフォン端末の時刻と一致しない場合があります
③出勤・退勤の打刻ボタン	出勤時に[出勤]、退勤時に[退勤]ボタンをタップします。 タップすることで、①の出退勤状況が切り替わります。
④外出の打刻ボタン	①の出退勤状況が「勤務中」の場合、タップが可能です。タップをすると外出時刻を保存します。
⑤現在地	地図上で現在地を表示します。打刻時の現在地を、打刻位置として保存することができます。 ※[設定]>出退勤機能の設定>位置情報登録をオンにする必要があります。 ※無線ネットワークによる位置情報の取得を有効にしてWi-Fi接続を行うことにより、より正確な位置情報を取得することが出来ます。 GPS機能による位置情報取得の場合、屋内やビルの谷間などの衛星通信が行いにくい場所では取得に失敗したり、精度が低くなる場合があります。
⑥「勤務報告書」	タップすると、「勤務報告書」の画面を表示します。

地図を表示し、位置情報を保存する

出退勤画面で、地図が表示されない場合は以下の設定をご確認ください。

「設定」> 出退勤機能の設定 > 位置情報登録

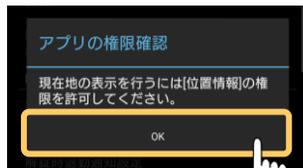
現在地の表示や位置情報の表示が行われない場合は、以下の設定を確認してください。

①



①位置情報登録にチェックをつけます。

②



②「アプリの権限確認」メッセージが表示されたら、「**アプリの使用時のみ**」を選択し、位置情報を許可してください。



※スマートフォン端末の「設定」からも、設定可能です。

スマートフォン端末の「設定」> プライバシー > 位置情報サービス

注意事項

- WiFiがオフの場合は位置情報の精度が悪く、WiFiがオンの場合は位置情報の精度がより正確になります。
- 屋内・ビルの谷間など衛星通信が行いにくい場所では位置情報の精度が悪くなります。

勤務報告書を表示する

勤務報告書は、出退勤記録を表示します。

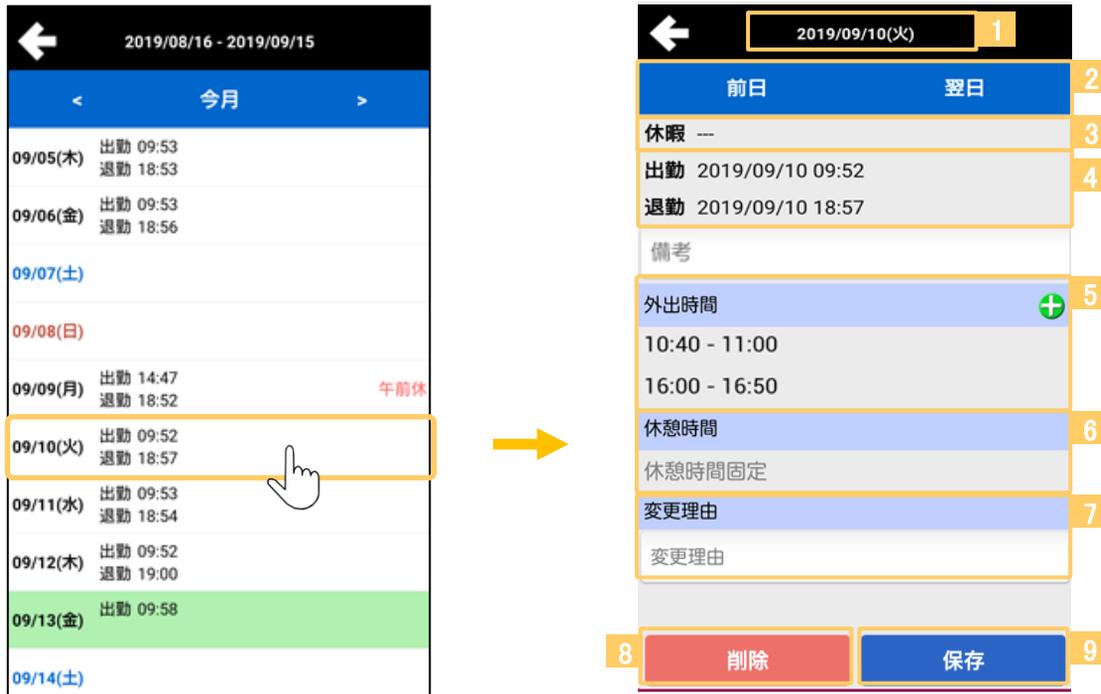


出退勤画面右下の「勤務報告書」をタップすると、勤務報告書画面を表示します。

項目	内容
①表示期間	1か月の期間を表示します。(MOT勤怠管理の設定によって表示期間が決まります)
②前月/翌月、今月の表示	「<」と「>」をタップすると、前月/翌月の勤務報告書に表示を切り替えることができます。「今月」をタップすると、今月の勤務報告書を表示します。
③出勤・退勤時刻	出勤時刻・退勤時刻を表示します。
④休暇取得日	「MOT勤怠管理」側で承認を得た「有休・特別休暇申請」の休暇種類を表示します。また、遅刻や早退なども表示します。
⑤現在日	緑色の行が現在日を表します。

勤務報告書の詳細を表示する

勤務報告書一覧から選択した日付の勤務報告書の詳細を表示します。
また、当該日付における報告書の新規作成、編集、削除を行います。



項目	内容
①日付の表示	勤務報告書の詳細を表示している日付を表示します。
②前日/翌日の表示	タップすると、前日/翌日に表示を切り替えることができます。
③休暇の表示	「MOT勤怠管理」側で承認を得た「有休・特別休暇申請」の休暇種類を表示します。
④出勤・退勤日時	タップすると、出勤・退勤時刻を選択する画面を表示し、編集や登録が可能です。
⑤外出時間	+をタップすると、外出の開始時刻・終了時刻を選択する画面を表示し、編集や登録が可能です。
⑥休憩時間	休憩が都度入力の場合は、タップすると休憩の開始時刻・終了時刻を選択する画面を表示し、修正や登録が可能です。 ※休憩が固定の場合は「休憩時間固定」と表示し、操作不可です。
⑦変更理由	変更理由を入力します。
⑧[削除]ボタン	表示している日付の勤務記録を削除します。
⑨[保存]ボタン	編集や登録した内容を保存します。

出勤・退勤時刻を編集・削除する

勤務報告書では、出退勤記録を閲覧および編集することができます。

出退勤記録を編集する

勤務報告書から、出退勤記録を編集したい日を選択し、勤務報告書の詳細画面を表示します。

①



①編集したい時刻をタップし、時刻選択画面を表示します。

<シフト連携版の「MOT勤怠管理」をご利用の方>
「区分」項目で「編集」を選択した状態で
編集を行ってください。



※区分「申請」については、「[有休・休暇申請](#)」の申請を
[行う](#)」ページをご参照ください。

②



②時刻を上下に動かして、編集したい時刻に合わせ、編集したい時刻を確定したら、[OK]をタップします。

▶次ページへ続く

出勤・退勤時刻を編集・削除する

③



③[保存]をタップすると、編集した内容で保存します。

出退勤記録を編集する

①



①[削除]をタップすると、該当日の記録が削除されます。

注意事項

「MOT勤怠管理」側の設定で、「打刻修正できない」を有効にしている場合、スマホ側でも編集・削除は行えません。

- 出勤、退勤時刻/」外出時間、休憩時間をタップすると、「編集不可になっています。」のメッセージを表示します。



- [削除]、[保存]ボタンは、タップしても動作しません。

「有休・特別休暇申請」の申請を行う

MOT/Phone+アプリで、「有休・特別休暇申請」の申請を行うことができます。
 ※シフト連携版の「MOT勤怠管理」をご利用の方のみ、対象です。

有休を申請する



①「操作」項目で「申請」を選択し、「有休・特別休暇申請」を行います。

※シフト連携版の「MOT勤怠管理」をご利用の方のみ、「区分」項目が表示されます。

MOT/Phone+アプリでの「有休・特別休暇申請」は、簡易的に申請を行えることを目的としております。アプリ側で行えない細かな申請や確認できない部分については、従来通り「MOT勤怠管理」の画面にてご対応いただくようお願いいたします。



②「申請内容」項目で「申請の種類」を選択します。

※「時間休」を選択した場合、以下のように「開始時刻」と「終了時刻」の項目が表示されるので、時間休の「開始時刻」と「取得時間」を選択します。
 「終了時刻」項目は入力不可の項目です。
 「取得時間」、「開始時刻」項目で選択した時間に応じて、自動で終了時刻がされます。



MOT/Phone+アプリの場合、時間休の開始時刻は、00・15・30・45分単位で選択が可能です。開始時刻を9:20~など上記単位以外の時刻を選択したい場合は、アプリではなく、「MOT勤怠管理」の画面から申請を行ってください。

▶次ページへ続く

「有休・特別休暇申請」の申請を行う



③コメントに申請内容を入力したら、「申請」をタップします。



④申請処理が完了すると、勤務報告書一覧に「申請しました。」のメッセージが表示されます。

承認を得た休暇は、勤務報告書一覧、および詳細画面に表示されます。



承認を得た
休暇を表示



承認を得た
休暇を表示

承認日時を
表示

注意事項

申請中のものは、「申請中」などの表示が出ないため、MOT/Phone+アプリでは確認できません。確認する場合は、「MOT勤怠管理」画面からご確認ください。

出退勤機能の応用設定

必要に応じて出退勤機能をご利用ください。

設定 > 出退勤機能の設定 > 自動出勤



①「自動出勤」

■「有効」を選択

ローカルアカウントが登録成功になったとき、自動的に出勤の打刻をします。
自動出勤で出勤する場合、位置情報は付きません。

■無効(通知のみ行う)

ローカルアカウントが登録成功になったとき、「未入社」または「外出中」の場合に通知を行います。
「打刻する」を選択すると、タイムカード画面が開きます。

■無効

自動出勤機能は動作しません。

注意事項

MOT/TELではローカルアカウントを利用しないため、自動出勤の利用はできません。
手動での打刻をご利用ください。

▶次ページへ続く

出退勤機能の応用設定

必要に応じて出退勤機能をご利用ください。



➤ 出退勤機能の設定 ➤ 出勤通知機能



①「出勤通知機能」
チェックをつけると、「通知時刻」と「曜日設定」
で設定した時間・曜日に合わせて通知を行え
ます。

※「出勤通知機能」にチェックをつけると、
「通知時刻」と「曜日設定」項目が操作可能に
なります。



①通知時刻
通知する時刻を
設定します。



②曜日設定
通知する曜日を
選択します。



<出勤通知イメージ>

指定日時に表示される通知をタップすると、打刻画面が起動します。



エントランス解錠との連携を設定する

エントランス解錠と連動した解錠時出退勤通知機能に関する機能を設定します。

「設定」> 出退勤機能の設定 > 解錠時出勤通知設定・解錠時退勤通知設定



①「解錠時出勤通知設定」
未出勤状態でのエントランス解錠画面からの解錠時に出勤通知を表示します。

②「解錠時退勤通知設定」
終業時間後のエントランス解錠画面からの解錠時に退勤通知を表示します。

現バージョンは未対応です

※ホーム画面上の「エントランス解錠」メニューを表示しておく必要があります。
ホーム画面上にメニューを追加する方法は、「[ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する](#)」ページをご参照ください。

※当機能はMOT勤怠管理のご契約プランの有効期になります。

※当機能はエントランス解錠と連動した機能になります。

エントランス解錠の設定については、別紙「MOTPHONE_Android版技術マニュアル」をご参照ください。



MOTインカムの初期設定を行う

別サービス「**MOTインカム**」を別途お申込みの方のみ、対象です。
「MOTインカム」の推奨OS:AndroidOS14～



「MOTインカム」とは、
ホーム画面下部の「**MOTインカム**」メニューをタップ
してご利用いただけるインカム機能です。
(Ver.10.4.0～対応)。

ご利用いただくために、各設定が必要です。

<運用前の設定>

- ①「**MOTインカム**」メニュー画面に表示する。
- ②**アカウント**を設定する。

設定詳細は、各ページをご参照ください。

MOTインカムご利用上の注意事項

- MOTインカムをご利用いただくためには、管理者側であらかじめ以下の処理が必要です。
 - ・MOT/HGで、MOTインカム用の内線番号を登録する。
 - ・MOTインカムのサーバ画面で、各アカウントに操作権限を付与する。
 - ・グループを作成する(サーバ画面/アプリ、どちらでも対応可能)。
 ※詳細は別紙「MOTインカム ユーザマニュアル【管理者向け】」をご参照ください。
- MOT/Phone+の内線とMOTインカムの内線を併用する場合、以下にご注意ください。
 - ・同一の内線番号は利用不可です。併用時はそれぞれ違う内線番号を設定してください。
 - ・MOT/Phoneの内線と、MOTインカムの内線を併用する場合、MOT/Phoneの「設定」> 発信動作設定 > **発信番号選択設定**の機能は、「ダイヤル桁数」は6以上でご利用ください。
- 全体の最大同時通話数の推奨は**20台**です。
推奨台数を超えた場合、音質の低下や正常に動作しない場合がございます。

▶次ページへ続く

インカム機能の
初期設定

MOTインカムの初期設定を行う

MOTインカム機能をご利用するために、「MOTインカム」のメニューをアプリのホーム画面に表示します。

① ホーム画面下部のメニュー欄に「MOTインカム」メニューを表示する



① ホーム画面の「メニュー追加」をタップします。



② 表示されるメニュー追加画面から、「MOTインカム」を選択します。

▶次ページへ続く

MOTインカムの初期設定を行う

③



③画面左上の←で、ホーム画面に戻ります。

④



④ホーム画面に、「MOTインカム」メニューが表示されます。

アプリ終了後、再起動することで、「MOTインカム」メニューが表示されるようになります。

MOTインカム機能は、「MOTインカム」メニューを開いて、利用します。

▶次ページへ続く

MOTインカムの初期設定を行う

MOTインカム機能をご利用するために、「MOTインカム」のアカウントを設定します。

② MOT/HGアカウントを設定する

MOT/HGにログインし、表示する二次元コードを読み取ることで、「MOTインカムのアカウント情報」と「MOT/HGのアカウント情報」を設定することができます。

※あらかじめ、MOT/HG側にMOTインカムの内線情報を設定しておく必要がございます。

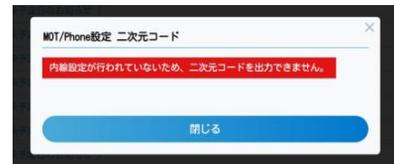
<MOT/HG画面>

MOT/HGにログイン > 画面右上のユーザー名をクリック > **MOT/Phone設定** をクリック



MOT/HGにログインしているユーザーの
アカウント設定用二次元コードを表示します。

※MOT/HG側で、対象ユーザーの内線情報が未設定の場合、右のようなメッセージが出て、二次元コードは表示されません。



次に、表示した二次元を読み取る画面をアプリで表示します。

▶次ページへ続く

MOTインカムの初期設定を行う

<MOT/Phone+アプリ画面>

ホーム画面の「MOTインカム」メニュー>「設定」>「接続設定」>「二次元コード読取」

①



① ホーム画面の「MOTインカム」を選択します。

※MOTインカムの画面を開いた際に、以下のメッセージが表示された場合は、サイレントモードの利用を許可してください。



②



② ⚙️ (設定)をタップします。

▶次ページへ続く

MOTインカムの初期設定を行う

③

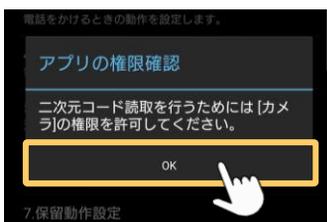
③ **接続設定**を選択します。

④

④ **二次元コード読取**を選択します。

MOT/Phoneの「設定」>接続設定>**「二次元コード読取」**でも、インカム内線の読み取り可能です。

⑤

⑤ 左図のような、アプリの権限確認のメッセージが表示されたら、「**OK**」を選択します。「**アプリの使用時のみ**」を選択します。

※「許可しない」を選択した場合、二次元コードの読み取りが行えません。

▶次ページへ続く

MOTインカムの初期設定を行う

⑥



⑥カメラが起動するので、MOT/HG画面で表示するMOT/Phone設定の二次元コードを読み取ります。

⑦



⑦左図のメッセージが表示されたら、読み取り完了です。「OK」をクリックし、画面を閉じてください。

MOT/Phone+アプリを終了し、再起動することで、アカウント設定が反映します。

アカウント設定後は、画面上部に内線番号と緑アイコンが表示されていることをご確認ください。



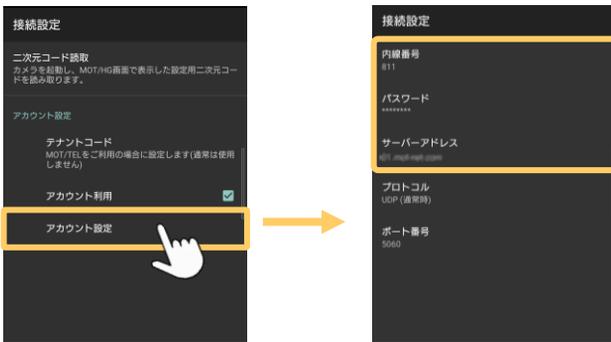
▶次ページへ続く

MOTインカムの初期設定を行う

※手動でアカウント情報を入力する方法でも、設定が可能です。
設定後は、MOT/Phone+アプリを終了し、再起動してください。

◆MOTインカムのアカウント情報を設定する

ホーム画面の「MOTインカム」メニュー > ⚙️(設定) > 「接続設定」 > 「アカウント設定」



ご利用になるMOTインカムの
内線番号・パスワード・
ドメインを入力してください。

◆MOT/HGのアカウント情報を設定する

「設定」 > 「MOT/HG設定」



ご利用になるMOT/HG
の契約顧客コード・ユ
ーザID・パスワードを
入力してください。

上記の「サーバ認証に成功しました。」
の表示が出たら、設定完了です。

以上で、MOTインカムの
初期設定は完了です。

MOTインカムの画面説明

MOT/Phone+アプリのホーム画面にある「MOTインカム」メニューを選択し、MOTインカムの画面を開きます。



機能	内容
①ホーム	タップすると、MOT/Phone+アプリのホーム画面に戻ります。
②内線番号 サーバ登録状態	MOTインカムで設定した内線番号と、サーバ登録状態のアイコンを表示します。 <サーバ登録状態> <ul style="list-style-type: none"> ・緑アイコン: サーバ登録が成功しており、インカム機能をご利用いただける状態です。 ・赤/オレンジアイコン: ネットワーク接続以上やアカウント情報の設定ミスなど何らかの問題が発生しており、インカム機能をご利用いただけない状態です。
③グループ選択	タップすると、ご自身が属しているグループを一覧表示します。 一覧からグループを選択すると、該当グループのインカム通話に参加状態となります。 ※グループ選択画面は、次ページをご参照ください。
④設定ボタン	MOTインカムの設定画面を表示し、以下の設定が行えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・アカウント設定 ・ミュート解除操作の設定 ・インカム制御対応のヘッドセット設定 ・グループ設定 (★権限付与者のみ)

▶次ページへ続く

MOTインカムの画面説明

<インカム通話 画面>



機能	内容
⑤参加可能グループ	<p>・「グループ未選択」をタップすると、ご自身が属しているグループ名とオンラインの人数(現時点で通話に参加している人数)が表示されます。</p> <p>グループ名 — グループ10 オンライン1 — インカム通話に参加中の人数</p> <p>・1サーバにつき、最大同時通話数(オンライン)の推奨は、20台です。 各グループのオンライン人数で、全体の同時通話数をご確認ください。</p> <p>・グループを選択すると、該当グループのインカム通話に参加することができます。</p>
⑥[メンバー一覧]ボタン	インカム通話に参加中のグループに属するメンバーを一覧で表示します。 一覧では、参加中のメンバーと未参加のメンバーを確認することができます。
⑦  ボタン	参加中のインカム通話から退出します。
⑧ミュート中/発話中ボタン	<p>ボタンを押して(*1)、 ミュート中と発話中を切り替えます。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">  ミュート中 </div> <div style="text-align: center;">  発話中 </div> </div>

*1:切り替えの操作方法は、設定により異なります(ボタン長押し or ボタンを押下)。

ミュート解除の方法を設定する

インカム通話中のミュート解除方法は2通りから選択できます。
運用に応じて、どちらか選択してください。

MOTインカムの「設定」>通話操作設定>ミュート解除操作

①



①MOTインカム画面の  をタップします。

②



②**通話オプション設定**を選択します。

▶次ページへ続く

ミュート解除の方法を設定する



③ **ミュート解除操作**を選択し、2通りから、ご利用になる操作方法にチェックをつけます。

- ◆ ボタン長押しの間ミュート解除
- ◆ ボタン押下毎に切替



◆ ボタン長押しの間ミュート解除（初期値）

切り替え方法: 長押し/長押しを離す

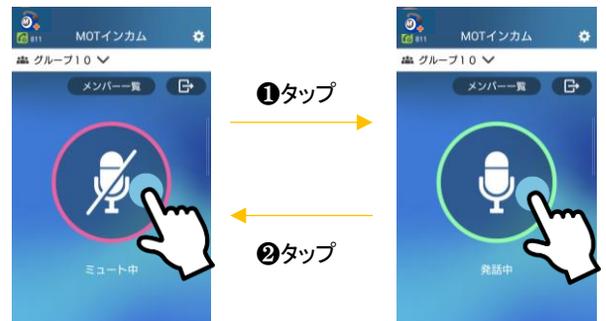


- ① **ミュート中**に長押しすると、長押ししている間はミュートを解除し、**発話中**に切り替わります。
- ② 長押しを離すと、**ミュート中**に切り替わります。

長押しの指を離すと、ミュート中に戻ります。

◆ ボタン押下毎に切替

切り替え方法: ボタンの押下



- ① **ミュート中**にタップすると、ミュートを解除し、**発話中**に切り替わります。
- ② **発話中**にタップすると、**ミュート中**に切り替わります。

ボタンをタップするまで、状態は切り替わりません。

インカム制御対応のヘッドセット利用時
の設定を行う

弊社推奨のヘッドセットをご利用いただく際に設定してください。

MOTインカムの「設定」>通話操作設定>インカム制御対応ヘッドセット利用

①



①MOTインカム画面の  をタップします。

②

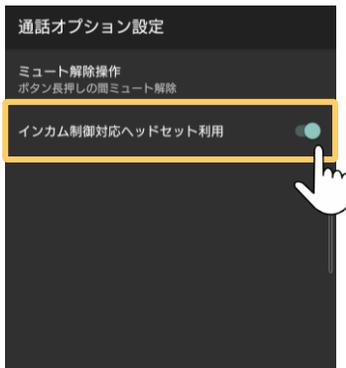


②**通話オプション設定**を選択します。

▶次ページへ続く

インカム制御対応のヘッドセット利用時の設定を行う

③



③ **インカム制御対応ヘッドセット利用**を有効にしてください。

有効にすることで、ヘッドセット側で操作が可能となります。

注意事項

- インカム制御対応のヘッドセットは、以下の弊社推奨製品をご利用ください。

- ・BlueParrott Series C400-XT
- ・Perform 45

※ヘッドセット側で操作せず、アプリ画面上で操作する利用方法の場合は、他のイヤホンマイクでもご利用可能です。

ただし、推奨以外のイヤホンマイクに起因する問題はサポート対象外となります。

- **Android端末の設定 > ユーザー補助 > システム操作 > 「電源ボタンで通話を終了」を無効**

Androidの上記機能を無効にすると、通話中に電源ボタンを押した際、通話を継続したままロック・スリープ状態にすることができます。ヘッドセットやイヤホンマイク利用時に、スマートフォンをポケットに入れて通話する場合など、誤作動を防ぎたい際にご利用ください。

※本機能をご利用の際は、通話が継続できているかご確認のうえ、ご利用ください。

※本機能は、インカム以外の通話中に対しても機能が無効となります。

グループを作成する

★「グループ編集権限」があるアカウントのみ可能な機能です。
グループの名称設定や、グループに属するメンバーを選択することができます。
※MOTインカムのサーバ画面でも、同様の操作が行えます。

MOTインカムの「設定」>グループ設定

①



①MOTインカム画面の  をタップします。

②



②**グループ設定**を選択します。

※「グループ編集権限」がない場合、
タップすると、以下のメッセージが表示され、
利用できません。



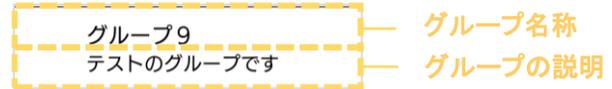
▶次ページへ続く

グループを作成する



③グループ一覧を表示します。

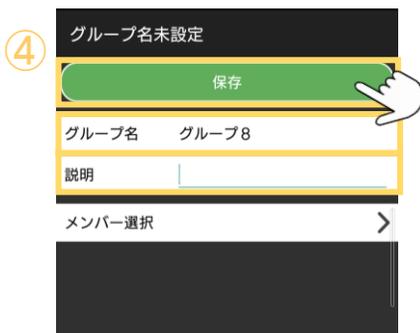
- ①グループ名称未登録の場合、「名称未設定」と表示します。
- ②グループ名称・グループの説明が登録済の場合、登録済の情報を表示します。



新規登録する場合は「名称未設定」をタップ、編集する場合は編集対象のグループ名称をタップし、グループの登録画面を表示します。



◆グループ名称の設定



④グループ名称・説明を入力し、[保存]をタップして、入力した内容を保存します。

機能	内容
グループ名	グループ名を入力します。
説明	グループの説明を入力します(任意)。



「設定を保存しました」のメッセージが出たら、保存完了です。

▶次ページへ続く

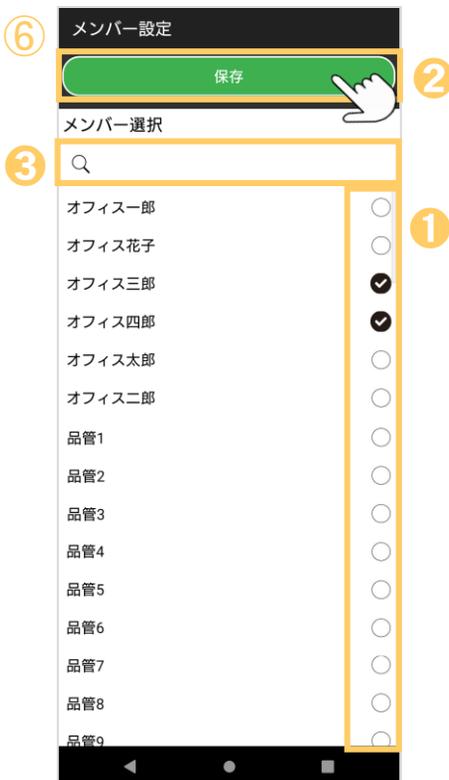
グループを作成する

◆メンバーの追加



⑤次に、グループに対して、メンバーを追加します。

[メンバー選択]をタップします。



⑥「メンバー設定」画面で追加するメンバーを選択します。

- ①追加するメンバーにチェックをつけます。
表示は、フリガナのあいうえお順です
- ②[保存]をタップします。
- ③「検索欄」で、メンバーを検索できます。

※すでにグループに属しているメンバーは、チェックがついている状態です。
グループのメンバーから外す場合は、チェックを外してください。

※「メンバー設定」画面は、MOT/HGの「共通電話帳」から「MOTインカム」区分で登録されている番号を取得して表示します。

▶次ページへ続く

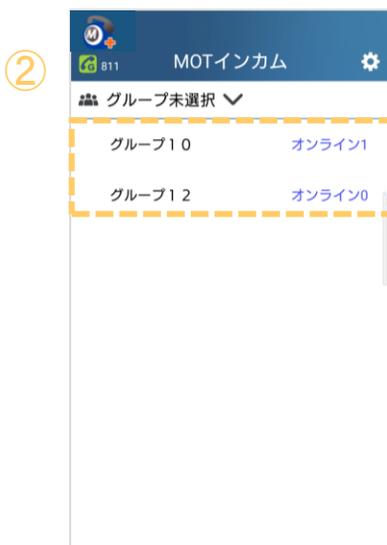
インカム通話を開始する

同じグループ内のメンバーと、インカム通話が行えます。

「グループ未設定」>グループを選択



①[グループ未選択]をタップします。



②自身が属しているグループが一覧で表示されます。

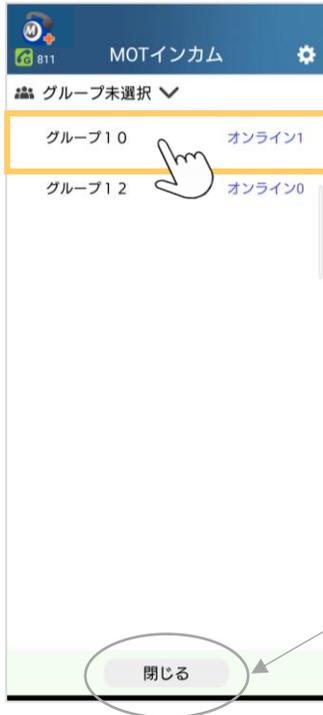


▶次ページへ続く

インカム通話を開始する

同じグループ内のメンバーと、インカム通話が行えます。

③



③インカム通話に参加するグループを
タップします。



グループ一覧を開いている間にグループの追加
や削除などグループの設定が行われた場合、
画面下の[閉じる]をタップし、もう一度グループ
の一覧を開き直すと、画面が最新情報に更新
されます。

<インカム通話中の画面>

④



④インカム通話を開始します。

▶次ページへ続く

インカム通話を開始する

<インカム通話中の画面>

インカム通話に参加後、ミュート中と発話中を切り替えて利用します。

始めは**ミュート中**の状態
で、自分の声は相手に届いて
いません。



発話中の状態
で、自分の声を相手に送る
ことができます。



※ミュート解除の方法は、「[ミュート解除操作](#)」の設定により、操作が異なります。
それぞれの操作方法については、次ページをご参照ください。

▶次ページへ続く

インカム通話を開始する

ミュート解除方法

ミュート解除の方法は、「[ミュート解除操作](#)」の設定により、操作が異なります。それぞれの操作方法については、以下をご確認ください。

◆ボタン長押しの間ミュート解除（初期値）

長押し/長押しを離す で切り替え



- ①ミュート中に長押しすると、長押ししている間はミュートを解除し、**発話中**に切り替わります。
- ②長押しを離すと、**ミュート中**に切り替わります。

長押しの指を離すと、ミュート中に戻ります。

◆ボタン押下時に切替

ボタンの押下で切り替え



- ①ミュート中にタップすると、ミュートを解除し、**発話中**に切り替わります。
- ②**発話中**にタップすると、**ミュート中**に切り替わります。

ボタンをタップするまで、状態は切り替わりません。

注意事項

- MOTインカム通話中に、MOT/Phone+アプリや携帯電話での通話は行えません。電話の発信・通話を行う際は、MOTインカムの通話を終了してから行ってください。

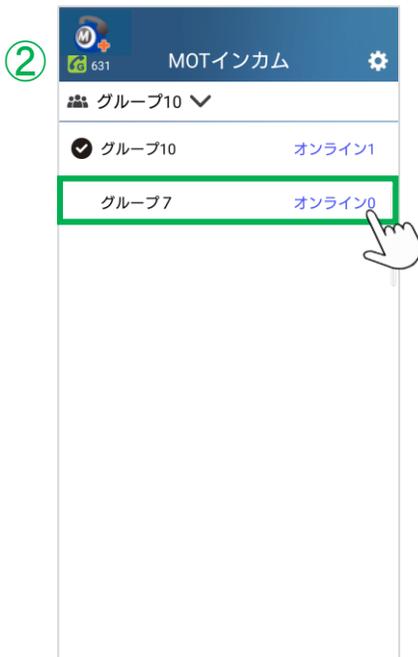
インカム機能の
基本操作インカム通話中に
参加するグループを変更する

インカム通話中に、別のグループの移動することができます。

インカム通話中の画面



- ① インカム通話中の画面で、参加中のグループをタップし、グループ一覧を表示します。



- ② グループ一覧から、インカム通話に参加するグループを選択します。

例) 左図の場合、
現在の参加グループ:「グループ10」
参加したいグループ:「グループ7」

▶次ページへ続く

インカム通話中に
参加するグループを変更する

- ③参加していたグループのインカム通話から抜けて、選択したグループのインカム通話に参加した状態に切り替わります。

例) 左図の場合、
「グループ10」のインカム通話から抜けて、
「グループ7」のインカム通話に参加

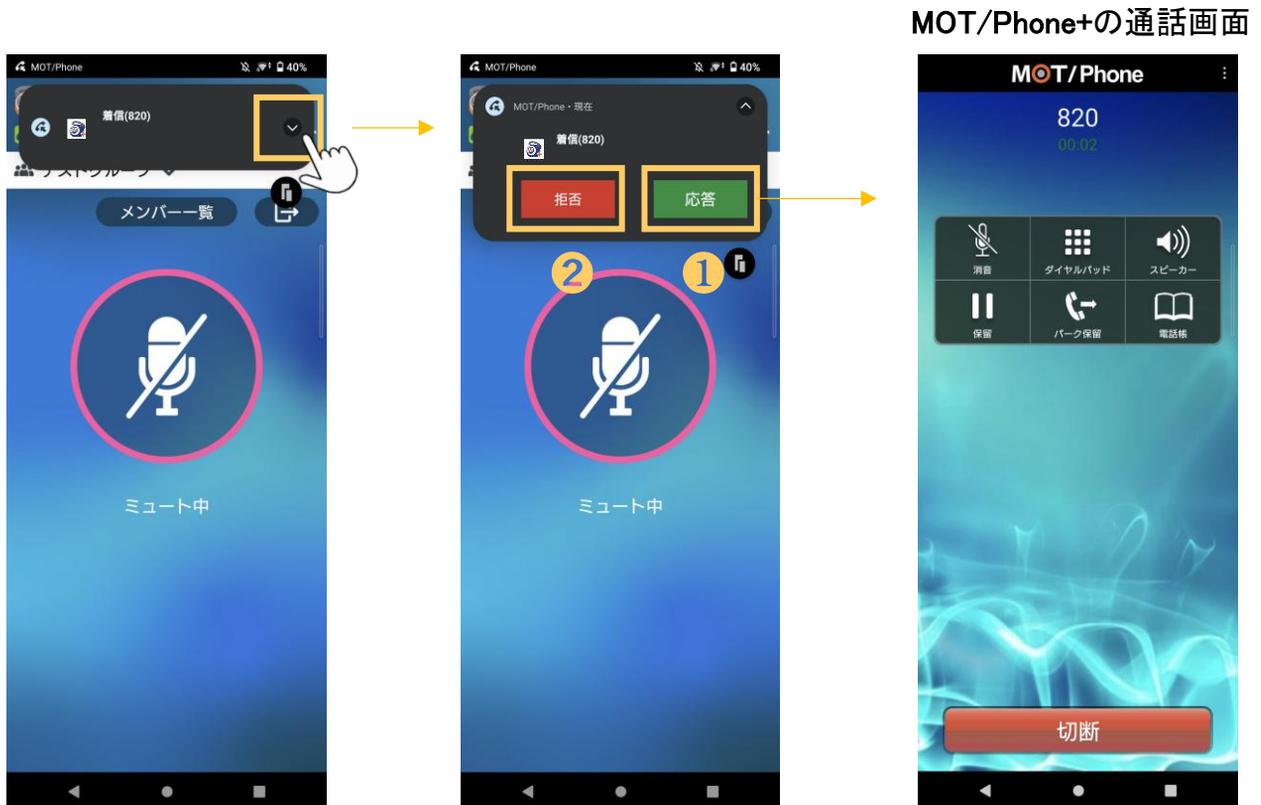
注意事項

- 複数のグループに、同時でインカム通話に参加することはできません。
参加するグループを変更した時点で、それまで参加していたグループのインカム通話は終了します。

インカム通話中の割り込み着信

MOTインカム通話中にMOT/Phone+アプリ、携帯電話に着信があった場合、割り込み着信の画面を表示します。応答/拒否のいずれかを選択できます。

◆MOT/Phone+アプリの割り込み着信



① 「応答」すると、インカムの通話を終了し、MOT/Phone+アプリの通話を開始します。

割り込み着信に応答した場合、MOTインカムの通話は終了します。
MOT/Phone+アプリでの通話を終了後、再度MOTインカムの通話に参加する場合は、グループを選択し、インカム通話に参加し直してください。

② 「拒否」すると、MOT/Phone+アプリの着信を拒否し、インカムの通話を継続します。

インカム通話中の割り込み着信

MOTインカム通話中に携帯電話に着信があった場合、割り込み着信の画面を表示します。応答/拒否のいずれかを選択できます。

◆携帯電話の割り込み着信



- ① 「応答」すると、携帯電話の通話を開始します。
※応答後、インカム通話が終了するか保留になるかなどの動作は、端末やキャリアによって異なります(以下、注意事項ご参照ください)。
- ② 「拒否」すると、携帯電話の着信を拒否し、インカムの通話を継続します。

注意事項

- 割り込み着信の画面は、端末や各携帯SIMキャリア、留守番電話の設定やご契約内容に依存します。そのため、表示するボタンや動作が異なりますので、あらかじめご了承ください。

インカム機能の 基本操作

インカム通話に参加中のメンバーを 確認する

インカム通話に参加中のメンバー、および参加していないメンバーをそれぞれ確認することができます。

インカム通話中の画面>「メンバー一覧」



- ① インカム通話中の画面で[メンバー一覧]をタップします。



- ② 参加中メンバーと参加していないメンバーを確認することができます。

- ① [オンライン]タブと[オフライン]タブをタップし、それぞれの表示を切り替えることができます。

- ・オンライン: 現状参加しているメンバー
- ・オフライン: 現状参加していないメンバー



- ② オンライン/オフライン状態の人数を表示します。

- ③ タップすると最新状態に更新します。

インカム通話を終了する

参加中のインカム通話から抜ける場合、切断します。

インカム通話中の画面



①  をタップします。



②通話を切断し、グループを選択する画面に戻ります。

インカム通話にメンバーを招待する/
参加する

★「通話招待権限」があるアカウントのみ可能な機能です。

グループ内の参加していないメンバーを、インカム通話に招待することができます。

※MOTインカムのサーバ画面でも、同様の操作が行えます。

インカム通話中の画面>「メンバー一覧」

◆招待する



① インカム通話中の画面で[メンバー一覧]をタップします。



② 「オフライン」タブをタップし、参加していないメンバーを表示します。

① 招待するメンバーをチェックします。
(複数選択可)

② [招待]をタップします。

③ [招待]をタップ後に表示する以下の画面で[OK]をタップします。



招待すると、招待したメンバーのスマホが着信し、着信に応答すると、参加した状態になります。

▶次ページへ続く

インカム通話にメンバーを招待する/
参加する

③



③通話中の画面に戻り、画面下部に
「招待しました」のメッセージが表示されます。

[▶次ページへ続く](#)

インカム通話にメンバーを招待する/
参加する

インカム通話に招待されると、着信します。
着信に応答すると参加、拒否すると参加しません。

◆参加する



① 招待されたメンバーのスマホ画面に着信します。



② 着信に応答します。

- ・着信に応答: インカム通話に参加する
- ・着信を拒否: インカム通話に参加しない

▶次ページへ続く

インカム通話にメンバーを招待する/
参加する

③



③着信に応答後、インカム通話に参加した状態になります。

注意事項

- MOT/Phone+アプリや携帯電話で通話中にMOTインカムの招待をされた場合、割り込み着信せず、自動で拒否します(招待の着信画面は表示されません)。
- MOTインカムの招待履歴は、MOT/Phone+の履歴画面に残りません。

インカム通話に参加しているメンバー
を切断する

★「通話切断権限」があるアカウントのみ可能な機能です。

インカム通話に参加中のメンバーに対して、インカム通話を切断することができます。

※MOTインカムのサーバ画面でも、同様の操作が行えます。

インカム通話中の画面で「メンバー一覧」



① インカム通話中の画面で[メンバー一覧]をタップします。



② 「オンライン」タブをタップし、参加中のメンバーを表示します。

① 切断するメンバーをチェックします。
(複数選択可)

② [切断]をタップします。

③ [切断]をタップ後に表示する以下の画面で[OK]をタップします。



▶次ページへ続く

インカム通話に参加しているメンバー
を切断する

③



③通話中の画面に戻り、画面下部に「退室させました。」のメッセージが表示されます。

<切断されたメンバーの画面>

④インカム通話中から自動的に通話切断の状態になります。

④



スマートロック解錠機能

※「スマートロック」をご利用の方のみ、対象です。

スマートロック(ドアコンシェル)を利用するには、MOT/HG契約が必要です。
ご利用の場合は、[MOT/HG\(MOT/Cloud\)のアカウント設定](#)を事前に行ってください。

ホーム画面に「スマートロック」メニューを表示する

①



①ホーム画面に「スマートロック」のメニューボタンを表示します。

※ホーム画面に「スマートロック」メニューを表示する方法は、「[ホーム画面のメニューを追加/削除する](#)」ページをご参照ください。

▶次ページへ続く

スマートロック解錠機能

電子鍵との通信はBluetoothを介して行います。

ホーム画面>「スマートロック」

①



①ホーム画面の「スマートロック」メニューを選択すると、スマートロック画面を表示します。

Bluetoothが有効になっていない場合、以下のダイアログが表示されます。「許可」を選択するとBluetoothが有効となります。



②



②解錠権限のある鍵のみが、一覧表示されます。

※権限を付与する方法は別紙MOT/Cloudのマニュアルをご覧ください。また、Bluetooth通信により検知できた鍵のみ、解錠処理を行うことができます。検知できなかった鍵は背景が暗く表示されます。

①鍵名: 鍵の名称を表示します。

②有効期間(開始日時): この日時以降から鍵が使用可能です。

③有効期間(終了日時): この日時まで鍵を使用できます。(期限がない場合は「期限なし」と表示)

③



③鍵の解錠権限を変更した時や、Bluetooth通信で鍵の検知に失敗した時などは、**リロードボタン**をタップして再度読み込みを行います。

▶次ページへ続く

スマートロック解錠機能

選択した電子鍵のロックを解除します。

スマートロック解錠を行う

①



①「スマートロック」メニューを選択すると、スマートロック画面を表示します。

②



②鍵一覧から解錠する鍵を選択すると、Bluetooth通信により解錠処理を行います。

解錠処理の結果を画面に表示します。

解錠に失敗した場合は、表示されたメッセージと、「[解除エラーコード](#)」ページをご参照のうえ、エラーの内容をご確認ください。

【解錠実行中】



【解錠成功】



【解錠失敗】



注意事項

弊社から販売されるスマートロック(ドアコンシェル)のみで、本機能を利用できます。

▶次ページへ続く

スマートロック解錠機能

スマートロック機能設定よりBluetooth通信による鍵の検知時間の設定ができます。

「設定」> スマートロック機能設定

鍵の検知時間を設定する。

①



①「スマートロック機能設定」を選択します。

②



②「Bluetoothデバイス検出時間」にBluetooth通信による鍵の検知時間(秒)を入力します。

初期設定は10秒です。

▶次ページへ続く

スマートロック解錠機能

〈エラーコード対応表〉

解錠失敗の際、メッセージ欄に「解錠できませんでした。(E-)」と表示された際は、以下のコードを参照して下さい。

エラーコード	状況
E1	プレフィックスの形式が正しくありません。
E2	シリアル番号の形式が正しくありません。
E3	コールバックがありませんでした。
E4	電子錠が要求する通信方式をサポートしていません。
E5	電子錠からの応答が指定した時間内に返ってきませんでした。
E6	ライブラリの内部で不明なエラーが発生しました。
E7	接続に失敗しました。
E8	Service検索中にシステムエラーが発生しました。
E9	Characteristic検索中にシステムエラーが発生しました。
E10	解錠結果通知受信設定中にシステムエラーが発生しました。
E11	指定されたシリアル番号が正しくありません。
E12	指定されたパスワードが正しくありません。
E13	指定された端末識別子が正しくありません。

エントランス解錠機能

エントランス解錠機能を利用するには、この機能に対応したMOT/PBX、電気錠が必要です。

ホーム画面に「エントランス解錠」メニューを表示する

①



①ホーム画面に「エントランス解錠」のメニューボタンを表示します。

※ホーム画面に「エントランス解錠」メニューを表示する方法は、「[ホーム画面のメニューを追加/削除する](#)」ページをご参照ください。

エントランス解錠機能を利用するには、MOT/PBX v5.13.1以降のファームウェアにバージョンアップしてください。

▶次ページへ続く

エントランス解錠機能

エントランス解錠機能設定より設定ができます。

「設定」> エントランス解錠機能設定

①



①「エントランス解錠機能設定」を選択します。

②



②エントランス解錠機能設定の画面で、以下の設定を行います。

①解錠特番

「解錠特番」に管理者より通知されるエントランス共通の解錠に使用される番号を入力します。

②使用アカウント

解錠発信に使用するアカウントを選択します。

③発信履歴を残す

チェックをすると、解錠発信時の履歴を残します。

④名称、内線番号の入力

「名称」にエントランスの名称を入力し、「内線番号」に、管理者より通知されるエントランス固有の識別番号を入力します。

※エントランスは5つまで登録ができます。

エントランス解錠機能

来訪者に対してエントランスを解錠する場合の解錠方法を説明します。

エントランス解錠を行う

①



①「応答」をタップし、エントランス端末からの着信に応答します。

②



②来訪者と通話をし、解錠する場合は画面の「解錠」をタップします。

③



③確認メッセージが表示されるので、「はい」をタップします。

▶次ページへ続く

エントランス解錠機能

④



④解錠発信に使用するアカウントを選択します。

「使用アカウント」を「都度選択」に設定している場合、アカウント選択ダイアログが表示されます。番号登録が成功しているアカウントは後ろに内線番号が表示されます。

「プライマリ」「セカンダリ」に設定している場合は、設定したアカウントで発信を行います。

解錠後、「解錠しました。」のメッセージを表示します。

居住者が帰宅時に、エントランス解錠を行う

居住者が帰宅時にエントランスを解錠する場合の解錠方法を説明します。

①



①「エントランス解錠」メニューを選択すると、エントランス一覧画面を表示します。

②



②解錠したいエントランスを選択し、タップします。

※エントランス一覧に項目が表示されていない場合は、設定 > [エントランス解錠機能設定](#)をご確認ください。

▶次ページへ続く

エントランス解錠機能

③



③解錠確認メッセージが表示されるので、「はい」をタップします。

④



④解錠発信に使用するアカウントを選択します。「使用アカウント」を「都度選択」に設定している場合、アカウント選択ダイアログが表示されます。番号登録が成功しているアカウントは後ろに内線番号が表示されます。「プライマリ」「セカンダリ」に設定している場合は、設定したアカウントで発信を行います。

⑤



⑤選択したエントランスの解錠を実行します。

エントランス解錠の履歴を残さない

エントランス解錠時の発信履歴を、通話履歴画面に残す場合、設定してください。

「設定」> エントランス解錠機能設 > 発信履歴を残す

エントランス解錠時の発信履歴を、通話履歴画面に残す設定が行えます。



①「**発信履歴を残す**」項目は、初期値はチェックなしで、エントランス解錠時の発信履歴が通話履歴に残らない設定になっています。

エントランス解錠時の発信履歴を通話履歴に残したい場合は、「**発信履歴を残す**」にチェックをつけてください。

各外部サービスの情報を入力することで、ホーム画面のメニューボタンから各サービスへ移動することができます。

「設定」> 外部サービス設定

①



① **外部サービス設定**をタップし、各サービスの設定を行います。



「外部サービス設定」では、以下の外部サービスの設定が行えます。

- ・ [社内通知設定](#)
- ・ [二次元コード設定](#)
- ・ [MOT経費精算設定](#)
- ・ [外部URL設定](#)

※ご利用になるサービスは、ホーム画面に各メニューボタンを表示する必要があります。

ホーム画面にメニューを表示する方法は、「[ホーム画面のメニューボタンを追加/削除する](#)」ページをご参照ください。

※他社アプリ連携設定の「PHONE APPLI PEOPLE設定」は、「[PHONE APPLI PEOPLEと連携する](#)」ページをご参照ください。

▶ [次ページへ続く](#)

外部サービス設定を行うことで社内通知システムの画面を表示できます。
※別サービス「MOT通知サーバ」へのお申込みが別途必要です。

「設定」> 外部サービス設定 > 社内通知設定

MOT/Phone+で、「MOT通知サーバ」の一覧を表示、および通知を受ける場合に、本設定を行います。

①



①社内通知設定をタップします。

②



②「MOT通知サーバ」の情報を入力します。

「MOT通知サーバ」のURL、ユーザID、
パスワードを入力します。

▶次ページへ続く

<MOT通知サーバの表示方法>

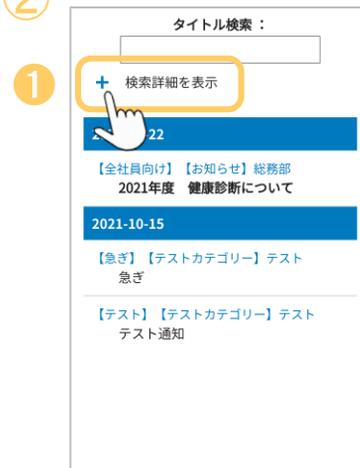
外部サービス設定>「社内通知設定」を設定後、表示可能になります。



- ① ホーム画面上の「社内通知」メニューをタップし、社内通知一覧を表示します。

※ホーム画面上に「社内通知」メニューが無い場合は、「メニュー追加」にて、「社内通知」の[メニューを表示](#)してください。

② <社内通知一覧>



- ② 社内通知を一覧表示、および通知を受けることができます。

① 「+」をタップすると、検索詳細が行えます。

- ② 通知時には、ホーム画面上部に、社内通知のタイトル名が流れます。タイトル名をタップした場合でも、社内通知システムの画面を表示することができます。



外部サービス設定を行うことで出退勤の打刻用、または入退場ゲートを解錠する二次元コードを表示できます。

※ご利用になる機能に応じて、各サービスへのお申込みが別途必要です。

「設定」> 外部サービス設定 > 二次元コード設定

「二次元コード設定」では、2通りの設定が行えます。



① **二次元コード設定**をタップします。



② 利用する「二次元コード種別」を選択します。



① 出退勤

MOT/Phone受付システムをリーダーとし、出退勤の打刻用二次元コードを生成する設定を行う場合に選択します。

※「MOT/HG設定」に設定されたMOT/HGのアカウント情報をもとに、二次元コードを生成します。

そのため、本機能を利用する場合は、「[MOT/HG設定](#)」を必ず行ってください。

※本機能を利用する場合は、「MOT勤怠管理」、「MOT/Phone受付システム」のお申込みが必要です。

▶次ページへ続く



② 手動入力

「入退場ゲート」の開錠用二次元コードを生成生成する設定を行う場合に選択します。

※本機能を利用する場合は、「入退場ゲート」へのお申し込みが必要です。

「手動入力」を選択すると表示する「二次元コード化文字列」をタップし、URLを入力後、[OK]をタップします。

二次元コードのURLを入力

＜二次元コードの表示方法＞

外部サービス設定＞「二次元コード設定」を設定後、表示可能になります。

①



①ホーム画面上の「二次元コード」メニューをタップします。

※ホーム画面上に「二次元コード」メニューが無い場合は、「メニュー追加」にて、二次元コードのメニューを表示してください。

②

＜二次元コード＞

出退勤打刻用二次元コード



ゲート解錠用二次元コード



②二次元コードを表示します。

■出退勤を設定した場合

MOT/Phone受付システムをリーダーする出退勤の打刻用二次元コードを表示します。

■手動入力を設定した場合

入退場ゲートを解錠する際に利用する二次元コードを表示します。

外部サービス設定を行うことで、ホーム画面から自動ログインできます。
※別サービス「MOT経費精算」へのお申込みが別途必要です。

「設定」> 外部サービス設定 > MOT経費精算設定

MOT/Phone+で、「MOT経費精算」を表示する場合に、本設定を行います。

①



① MOT経費精算設定をタップします。

②



② 「MOT経費精算」の情報を入力します。

① デフォルトで弊社サービス「MOT経費精算」が移動先として設定されているため、入力不要です。

② 「MOT経費精算」の契約顧客コード、ユーザーID、パスワードを入力します。

▶ 次ページへ続く

<MOT経費精算の表示方法>

外部サービス設定>「MOT経費精算設定」を設定後、表示可能になります。



- ① ホーム画面上の「MOT経費精算」メニューをタップします。

※ホーム画面上に「MOT経費精算」メニューが無い場合は、「メニュー追加」にて、「MOT経費精算」のメニューを表示してください。

② <MOT経費精算>



- ② ログインした状態で、「MOT経費精算」の画面を表示します。

自動ログイン

外部サービス設定を行うことで、設定した外部サイトを表示することができます。

「設定」> 外部サービス設定 > VALTEC BCP設定

MOT/Phone+で、外部のサイトを表示する場合に、本設定を行います。



①外部URL設定をタップします。



②設定する外部サイトの情報を入力します。

①サイトの名称を入力します。
ここで入力した名称は、「メニュー追加」の画面にメニュー名として表示されます。
※表示イメージは、次ページをご参照ください。

②外部サイトのログイン情報(ID、パスワード)と、外部サイトのURLを入力します。

▶次ページへ続く

<外部サイトの表示方法>

外部サービス設定>「外部URL設定」を設定後、表示可能になります。

①



①ホーム画面上の「メニュー追加」をタップします。

②



②「外部URL設定」>「設定タイトル」で入力したメニュー名称をタップして選択します。

③



③ホーム画面上の追加したメニューをタップすると、ログインした状態で、設定した外部サイトの画面を表示します。

PhoneAppli社の「PHONE APPLI PEOPLE」と連携することができます。
※PhoneAppli社の「PHONE APPLI PEOPLE」ご利用の方のみ、対象です。

「設定」> 外部サービス設定 > PHONE APPLI PEOPLE設定

PhoneAppli社のWeb電話帳、履歴管理アプリ「PHONE APPLI PEOPLE」との連携を行う場合に、本設定を行います。



①PHONE APPLI PEOPLE設定をタップします。



②「PHONE APPLI PEOPLE」の情報を入力します。

①連携する
チェックします。

②ログインID、パスワード、サーバーアドレス、
端末ID
「PHONE APPLI PEOPLE」のアカウント情報
を入力します。

▶次ページへ続く

「PHONE APPLI PEOPLE」との連携について

PhoneAppli社のWeb電話帳、履歴管理アプリ「PHONE APPLI PEOPLE」との連携により、以下を行うことができます。

- ①「PHONE APPLI PEOPLE」スマホアプリ、ブラウザ管理ページでのMOT/Phoneの発着信履歴の共有、確認
- ②PHONE APPLI PEOPLEアプリの電話帳から「MOT/Phone+アプリ」での発信
※本機能を利用する場合は、PHONE APPLI PEOPLE側に以下の設定が必要です。
「PHONE APPLI PEOPLEのブラウザ管理ページ」の管理>企業情報>スマートフォン発信機能の「表示名」に、**MOT/Phoneの表示名**を入力、
「発信起動URLスキーム(URL)」に、**motphone://**と入力
- ③MOT/Phone着信時、端末の電話帳に登録されていない番号でも、「PHONE APPLI PEOPLE」に登録されていれば、その名称を表示
※「PHONE APPLI PEOPLE」で登録した名称は、**自局着信番号の名称には反映されません。**

<画面イメージ>

PHONE APPLI PEOPLE

①



MOT/Phone+

③



PHONE APPLI PEOPLE
で登録されている登録名称
(部署名)

PHONE APPLI PEOPLEに登録されている登録名称(部署名)は、**通話画面、着信画面、履歴画面**に表示されます。
※優先度は、「PHONE APPLI PEOPLE」>「CTI顧客情報」>「端末の電話帳」>「共通電話帳」の順です。

注意事項

- 本ページに記載されている他社の社名および製品は商号および登録商標です。
- この機能を使用するには、別途、PhoneAppli社の「PHONE APPLI PEOPLE」の契約を行ったうえで、本アプリの設定>PHONE APPLI PEOPLE設定にて「PHONE APPLI PEOPLE」のアカウント情報を設定する必要があります。

Bluetoothヘッドセットを利用する

Bluetoothヘッドセットを利用して音声通話を行う事が可能です。

※Bluetooth利用の推奨は、Android OS12以降です。

■利用可能な機能

- ・Bluetoothヘッドセットでの音声通話(送受話)
- ・着信時にBluetoothヘッドセットからの着信音鳴動(設定により本体鳴動に切り替え可)

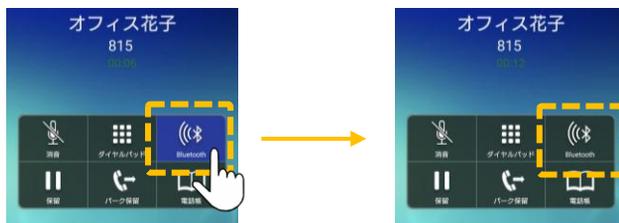
※端末によって利用可能な機能

Bluetoothヘッドセットのボタンを押す事による電話操作

1. 通話時、ボタントップする事による通話切断
2. 着信時、ボタントップする事による通話応答

※Bluetoothヘッドセットによってご利用出来ない場合もございます。
その場合は本体のボタンをご利用して応答切断を実施してください。

- 通話中、[Bluetooth]ボタンをタップすることで、
[Bluetooth]通話⇄[音声]通話への切り替えが可能です。



注意事項

- Bluetoothヘッドセットの機種によってはMOT/Phone+で正常に動作しない場合がございます。
- Bluetooth側の接続状態によってボタン操作がご利用出来なくなったり、音声を通らなくなる場合がございます。その場合は、Bluetoothの再接続を実施してください。

Bluetooth接続時、ヘッドセットから着信音を鳴らす

Bluetoothヘッドセット接続中に着信があった場合に、着信音をヘッドセットから鳴らすことができます。

※Bluetooth利用の推奨は、Android OS12以降です。

「設定」> 着信動作設定 > Bluetooth接続時の着信音



①「Bluetooth接続時の着信音」

Bluetoothヘッドセットから着信音を鳴らす場合、本項目にチェックをつけます。

注意事項

- 一部の端末で、Bluetoothヘッドセットのボタンタップにより、着信に応答した際に、本体から一瞬着信音が流れる場合がございます。
- 本体設定で着信音量が0になっていても、ヘッドセットから着信音が流れます。

Bluetooth接続時、Bluetooth機器で電話操作を行わない

Bluetoothヘッドセットを接続して利用する際、Bluetooth機器のボタンで電話操作を行わない設定ができます。

※Bluetooth利用の推奨は、Android OS12以降です。

「設定」> その他の設定 > デバッグ用設定 > Bluetooth機器設定
> 機器のボタンで電話操作しない / 音声チャンネルを占有



①「機器のボタンで電話動作しない」

初期値はチェックなしで、Bluetooth機器のボタンによる着信応答などの操作を行う設定になっています。

Bluetooth機器のボタンで、着信応答・発信キャンセル・通話終了の操作を行わない場合は、本項目にチェックをつけてください。

ログ送信機能を設定する

本アプリに不具合等が生じた際、弊社から、ログ送信を依頼させていただく場合がございます。その際は、以下の設定が必要となります。

「設定」> その他の設定 > デバッグ用設定 > ログ出力

本機能を利用することで、弊社MOT/Phone+アプリの品質向上・不具合解析のためのログを送信することができます。

ログの送信には、**ログ出力(ログ記録を有効)**および、**ログの手動送信**が必要です。



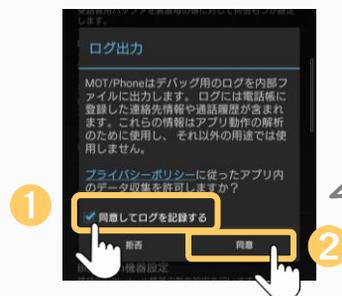
①「ログ出力」

チェックをつけて、ログ記録を有効化します。

※アプリの初期起動時に表示する**ログ取得のダイアログ**で許可している場合は、チェックがついている状態になっています。

チェックがついていない場合は、「ログ出力」をタップし、以下の手順でチェックをつけます。

- ①「同意してログを記録する」にチェックします。
- ②[同意]をタップします。



「同意してログを記録する」にチェックを入れ、[同意]を選択

▶本機能「ログ出力」にチェックがついており、ログが記録されている状態で、次ページの「**ログ送信**」を行ってください。

注意事項

- 「ログ出力」にチェックを入れることで、当アプリのログの記録が開始されます。
チェックがない場合は、ログは記録されておられません。
- アプリ内部にログを保存するため、スマホのストレージを消費します。
消費データ量については通話数などによって異なります。

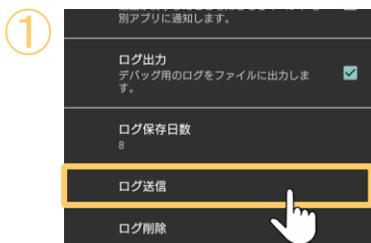
ログを送信する

本アプリに不具合等が生じた際、弊社から、ログ送信を依頼させていただく場合がございます。その際は、以下の設定が必要となります。

「設定」> その他の設定 > デバッグ用設定 > ログ出力

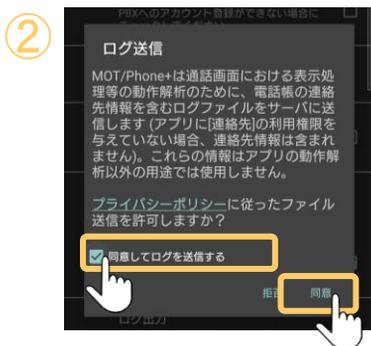
本機能を利用することで、弊社MOT/Phone+アプリの品質向上・不具合解析のためのログを送信することができます。

ログの送信には、[ログ出力\(ログ記録を有効\)](#)および、[ログの手動送信](#)が必要です。



①「ログ送信」

「ログ送信」をタップします。



②「同意してログを送信する」にチェックを入れて、[同意]をタップします。

以下のように、「アップロードが完了しました。」のメッセージが表示されたら、ログ送信は完了です。
※ログ送信の宛先は、弊社サポートチームです。



注意事項

前ページ「ログ出力」にチェックを入れることで、当アプリのログの記録が開始されます。
チェックがない場合は、ログは記録されていないため、「ログ送信」を行っても、送信されません。

通話品質が低下した場合、 警告音またはメッセージで通知する

通話品質が低下した時に警告音、もしくは画面上の表示でお知らせします。

「設定」> その他の設定 > 通話品質警告音



① 通話品質警告音

チェックをつけて有効にすると、通話品質が低下した時に警告音を鳴らします。
警告音は、パケットロス率が6秒間連続で13%以上の場合に鳴り出し、パケットロス率が6秒間連続で13%以下の状態が継続すると鳴りやみます。
※警告音の音量は本体のメディア音量で調整できます。

② 通話品質表示

チェックをつけて有効にすると、パケットロス率を通話画面に表示します。表示は2秒周期で更新します。

パケットロス率が100%(無音)の状態が30秒間続いた場合、通話は自動的に切断されます。

<通話品質表示>

①、②のどちらかを有効にすることで、通話品質が低下した場合に通話画面に警告メッセージを表示します。



Wi-Fi圏外時に、バイブレーションまたはメッセージで通知する

電話機能をWi-Fiで利用している時に、Wi-Fi圏外になり通話ができなくなったことをバイブレーションおよび画面上の表示でお知らせします。

「設定」> その他の設定 > Wi-Fi圏外時にバイブ通知

①



①「Wi-Fi圏外時にバイブ通知」にチェックをつけて有効にすると、Wi-Fi圏外となり着信が出来なくなったときに、メッセージを表示し、バイブレーションで通知します。

(初期値:チェックなし・無効)

<メッセージを表示>

Wi-Fi圏外となり着信が出来なくなった際、以下のようなメッセージを表示します。



注意事項

- 本体設定でバイブ動作が無効に設定されている場合は、メッセージ表示のみとなります。
- 発信専用で利用している場合は通知されません。

エコーキャンセラを無効にする

MOT/Phone+音声に関する設定変更が可能です。
設定ではエコーキャンセラの有効・無効を選択できます。

「設定」> その他の設定 > エコーキャンセラ利用

①



① エコーキャンセラ利用

スマートフォン側で発生するエコー(相手側に反響するエコー:近端エコー)を緩和する事が可能です。
(初期値:チェックあり・有効)

エコーキャンセラを有効にすると装置のCPU利用率があがりますので、無効状態でもエコーが発生しない場合には、有効にする必要はございません。

注意事項

エコーキャンセラーは、受話器から出力された音がマイクに入力された場合にその音を消去する機能のため、背景雑音が多い場所の場合は、出力と入力の声が同一ではないと判断され、エコーが消し切れずに通話相手に送信される場合がありますのでご注意ください。

MOT/PBX、MOT/TELで利用する内線番号の登録が失敗した時に、失敗した理由を画面に表示させることができます。

「設定」> その他の設定 > 番号登録失敗理由を表示

①



①「番号登録失敗理由を表示」にチェックをつけて有効にすると、MOT/PBX、MOT/TELに対する番号登録が失敗した時にその理由を表示します。

<設定イメージ>

番号登録失敗理由を表示します。



アカウント設定を確認して下さい

発信が失敗した理由を表示する

発信が失敗した時に、失敗した理由を画面に表示させることができます。

「設定」> その他の設定 > 発信失敗理由を表示

①



①「発信失敗理由を表示」にチェックをつけて有効にすると、発信が失敗した時にその理由を表示します。

<メッセージを表示>

発信失敗理由を表示します。



エクスポート機能を利用する

ファイルのエクスポート、インポート機能により、アプリ設定の引継ぎが行えます。
アプリを再インストールする際などに利用します。

「設定」> 画面右上メニュー  > 設定エクスポート

①



①「設定」画面の右上のメニュー  をタップし、
メニューから **設定エクスポート** を選択します。

②



②保存先フォルダを選択して**保存**をタップし、
設定ファイルを保存します。
ファイル名は、初期値は“内線番号”が入力されて
いますが、ファイル名の変更も可能です。

保存完了後、以下のようなメッセージを表示します。



※インポートについては「[インポート機能を利用する](#)」
ページをご参照ください。

インポート機能を利用する

エクスポートしたファイルをインポート(設定の引継ぎ)します。

「設定」> 画面右上メニュー  > 設定インポート

①



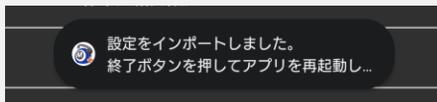
①「設定」画面の右上のメニュー をタップし、メニューから [設定エインポート] を選択します。

②



②「設定エクスポート」にて保存した設定ファイルを選択し、インポートを行います。

インポート後、以下のようなメッセージを表示します。



注意事項

インポート成功後はアプリを再起動してください。

保存した設定ファイルを削除する

設定エクスポートで端末に保存した設定ファイルを削除します。
一般のファイルエクスプローラーでのファイル削除でも、同様のことが行えます。

「設定」> 画面右上メニュー  > 保存ファイル削除

①



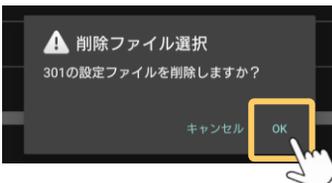
①「設定」画面の右上のメニュー  をタップし、メニューから [保存ファイル削除] を選択します。

②



②「設定エクスポート」にて保存した設定ファイルを選択します。

③



③左図のようなメッセージが表示されるので、「OK」をタップします。

以下のようなメッセージが表示されたら、削除処理は完了です。



通知の設定

各機能の通知をオフにする

MOT/Phone+の機能ごとに、通知のオン/オフの設定や、詳細設定が可能です。不要な機能の通知は必要に応じてオフにしてください。

「設定」> バージョン情報 > アプリケーション情報表示



①「アプリケーション情報表示」

MOT/Phone+のアプリ情報画面へ遷移します。

※端末の「設定」からも、同じ画面を表示できます。
端末の「設定」> アプリ > MOT/Phone+

MOT/Phone+のアプリ情報画面で、「通知」を選択すると、設定対象の通知一覧を表示し、機能ごとに通知のオン/オフや、通知時の音・バイブなどの設定変更が可能です。

※表示される端末の設定画面の項目は、端末によって異なります。下記は一例となります。



通知



通知設定一覧から
設定変更する通知を選択



選択した通知の
詳細設定

注意事項

※「重要度」が設定できる端末の場合
「番号登録失敗」時のバイブ動作について、インストール時の設定が「音」「バイブ」「LED」すべて有効となっているため、音やバイブを停止させる場合は「番号登録失敗」の重要度を「中」に設定してください。
(重要度が「中」以下の場合、LED点滅機能はOFFになります)



▶次ページへ続く

各機能の通知をオフにする

■ 通知を不要にしたい機能は、オフにします。

以下は、MOT/Phone+のアプリ情報画面>「アプリの通知」で、通知を不要にする一例です。

① アプリの状態が切り替わる際の通知をオフにしたい場合



「番号登録状態」
「番号登録失敗」
をオフにします

② Wi-Fi/4Gなどのモバイルデータ通信環境が切り替わる際の通知をオフにしたい場合



「Wi-Fi切断通知」
をオフにします

■ 着信通知を行う場合は、「着信通知」をオンにします。

「着信通知」項目がオフになっている場合、着信を正常にうけることができません。
そのため、必ず「着信通知」項目は、オンにしてご利用ください。



「着信通知」をオンにします。

「着信通知」をタップして詳細を表示し、重要度がある場合は、最高位（音と通知のポップアップ設定）にします。



通知オフの状態、MOT/Phone+の着信のみ可能にする

着信や着信音など、全ての通知を停止している状態で、MOT/Phone+の着信を可能にしたい場合、例外設定を行うことで着信を可能とします。

全ての通知を停止する設定をしている状態で、MOT/Phone+の着信を可能にしたい場合は、例外として設定することで、着信を可能にします。

※設定項目は、Androidの端末やOSにより異なります。

＜設定項目名の一例＞

- ・通知の鳴動制限:通知を制限する機能
- ・サイレントモード:すべての通知検知機能を拒否する機能
- ・高度なマナーモード:着信、着信音、通知音、通知画面表示などを制御する機能
- ・通知をミュート:着信および通知を消音にする

⇒各設定画面で、例外設定を行います。

■ 各通知停止の設定が有効になっている場合、例外設定を行う

※以下は、一例です。

設定項目：
通知の鳴動制限



[例外]の
「通話」>全員から許可

設定項目：
サイレントモード



「人物」>通話>全員

PBXのSSLサーバ証明書を取得する

TLSで通話を行う場合や、HTTPSでPBXとの通信を行う場合に必要となる、SSL/TLSサーバ証明書の更新を行います。

「設定」> その他の設定 > 証明書更新

①



①「証明書更新」

「証明書更新」をタップすると確認ダイアログを表示します。

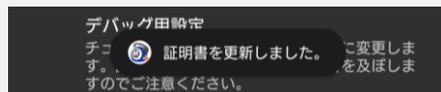
②



②[OK]をタップすると、番号登録が成功している全てのPBXに接続し、最新のSSLサーバ証明書を取得します。

※各アカウント設定の[プロトコル(HTTP)]を「HTTP」に設定して実行してください。「HTTPS」だと取得に失敗する場合があります。

証明書を更新後、以下のメッセージを表示します。



MOT/Phone+アプリのバージョン確認、アンインストールをする

MOT/Phone+のバージョン確認やアンインストールを行うことができます。

「設定」>バージョン情報



①

ソフトウェアバージョン

ver 11.0.0-D6

②

アプリケーション情報表示

本アプリケーションの情報表示、初期起動を解除する事が出来ます。

標準電話アプリ情報表示

標準の電話アプリの情報表示、初期起動を解除する事が出来ます。

設定初期化

設定情報を初期化します。

プライバシーポリシー

①「ソフトウェアバージョン」

ソフトウェアのバージョン情報の確認が行えます。



②「アプリケーション情報表示」

「アプリケーション情報表示」をタップすると、アプリ情報画面を表示します。

アプリ情報画面では、以下の処理が可能です。

①アンインストール

MOT/Phone+を端末から消去する場合に利用します。

アンインストールした場合、これまで設定した内容が消去されると共に、内線電話機能等、MOT/PBX、MOT/TELで提供していた機能がご利用出来なくなります。

②強制停止

MOT/Phone+が異常時に利用します。

③ストレージとキャッシュ>

「ストレージを消去」・「キャッシュを削除」
設定されているデータを削除する場合に利用します。

※端末やOSによって項目名が異なります。
ストレージ>データを消去・キャッシュを消去、など



③

ストレージとキャッシュ

159 MB使用 (内部ストレージ)



プライバシーポリシーを確認する

MOT/Phone+からバルテックホームページにある個人情報保護方針(プライバシーポリシー)の確認を行うことができます。

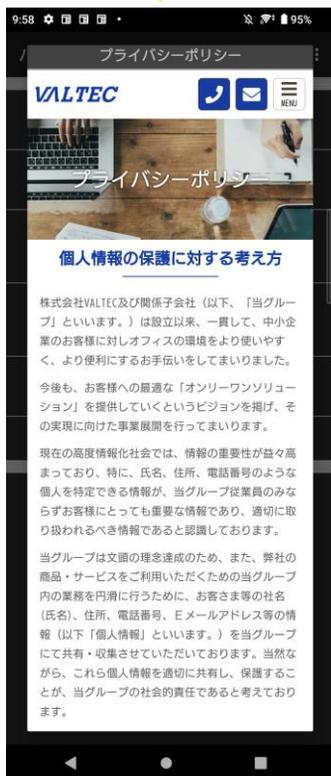
「設定」>バージョン情報 > プライバシーポリシー

①



①「プライバシーポリシー」

個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を表示します。



仕様

項目(機能)	内容	備考
名称	MOT/Phone+ Android版	
動作環境	Android OS10~15	動作保証端末に限る
呼制御方式	SIP(RFC3261) TCP、UDP、またはTLS	
音声コーデック	OPUS(推奨)、SILK、PCMU(G711 μ -Law)	
対応言語	日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)	※本体のロケール設定に依存
DTMF送出	RFC2833	
接続先	MOT/PBX シリーズ、MOT/PRO、MOT/TELサーバ	その他のPBX接続は保証外
保留/転送	通話相手を保留後、取り次ぎ転送が可能	SIP独自方式(SIP REFER/NOTIFY)
パーク保留	1~6のパーク保留ボタンを利用可能	SIP独自方式(SIP SUBSCRIBE/NOTIFY)
同時通話数	同時通話数1 IP通話1通話/PSTN通話1通話(片側保留)	PSTN通話中はIP側着信拒否 IP通話中は応答/拒否切替
音声制御機能	エコーキャンセラ(近端エコー)	設定によって変更可能
着信鳴動音	端末依存のメロディーを選択可能	IP着信で専用設定可能
着信音量変更	スライドバーによる設定変更、本体音量調整に対応	スピーカ
通話中音量変更	側面の音量ボタンで調整。本体のサウンド設定に従う。	
スピーカ	通話中にスピーカ出力に切替可能。	
マイクミュート	通話中にミュート切替可能。	
電話帳	端末標準電話帳および共通電話帳を参照	タップによる発信可能
通話履歴	MOT/Phoneによる通話履歴を独自に保存	タップによる発信可能
外線発信	IP発信/PSTN発信に対応 (MOT/PBX接続による切替通話)	
内線発信	設定した内線番号で通話可能	MOT/PBX側で制御する内線
無線	WiFi /モバイルデータ通信 (WiFi有効時はWiFi接続優先)	※端末によって利用出来ない場合がございます。
Bluetoothヘッドセット	オーディオプロファイル対応 ※Bluetooth端末の応答/切断ボタンは設定によって、利用出来る場合と出来ない場合がございます。(OS11以前)	※利用するBluetoothによって動作しない場合もございますためご注意ください。
アップデート	1. 専用サイトに接続して手動バージョンアップ 2. 最新版自動チェック、アップデート機能	
着信名称表示	以下の順番で優先表示 1. MOT/PBX側顧客POPUP情報表示 2. 携帯端末内の電話帳登録情報	
設定変更	MOT/Phone+アプリ内にて設定。	一部設定は本体設定でも変更可能。

注意事項

■MOT/Phone+ Android版について

- ◆MOT/Phone+は、バルテックが提供するAndroid上で動作するソフトフォンアプリです。
- ◆当社製IP-PBX装置(MOT/PBX)およびMOT/TELサービスによって構築される内線電話網内にて、通話・保留・保留転送・パーク保留機能を提供し、内線電話機として動作する事が可能です。
- ◆WiFi環境化においても無線電話機として、モバイルデータ通信環境ではリモート内線電話機としてご利用が可能です。(全てのスマートフォンで同じ音質、動作であることを保証するものではありませんのでご注意ください。)

■ご利用においてのご注意事項

- ◆当社として、MOT/PBXシリーズまたはMOT/TELサービスとの接続以外で生じた問題は補償の対象外、かつサポートいたしませんのでご注意ください。
- ◆本ソフトは弊社が接続確認を実施した端末以外にインストールした場合の動作は保障いたしませんのでご注意ください。
- ◆弊社が提供しているのは本ソフトのみのため、インストール先の装置本体の動作、仕様、装置本体に起因する問題へのサポートは、対応出来ない場合がございますのでご注意ください。
- ◆LINEなどの他社アプリとMOT/Phone+アプリの併用利用時の動作は動作保証対象外となります。
- ◆本ソフトはWiFi通信とは別に、携帯キャリアが提供するモバイルデータ通信を利用したVoIPを利用することができます。モバイルデータ通信を利用した通信は携帯キャリアによって別途パケット通信料金がかかりますのでご注意ください。
- ◆モバイルデータ通信を利用した通信に起因するトラブルは、弊社としてサポート致しかねますので予めご了承ください。
- ◆モバイルデータ通信は各通信キャリアが管理しているものとなりますため、通信速度の保障等が無い限り、遅延/通信障害等、当社ソフトでは制御出来ない問題が生じる場合がございます。この場合、当社として通話品質等の保証が出来ない場合がございますので予めご了承ください。
- ◆弊社が指定しているマニュアルに記載されているご利用方法以外の使用方法によって生じた問題は品質保証対象外となります。
- ◆弊社が提供した経路以外で本ソフトウェアを入手したと判断した場合、本ソフトウェアに関するお問い合わせにはお答えすることが出来ない場合がございます。

■本書について

本書には本装置を正しくご利用いただくための、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されているため、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。
本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です

改訂履歴

版	対応 ver	改訂日	改訂内容
第1.0版	Ver.1.0.0	2025/06/02	初版
第1.01版	Ver.1.0.0	2025/06/20	軽微な修正
第1.02版	Ver.1.0.0	2025/06/27	電話帳の自動更新のタイミングを修正